

令和 4 年度 (2022 年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和 5 年 8 月



令和4年度(2022年度)
大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

< 目 次 >

< I・調査方法等 >

1. 調査概要	1
2. 表記区分	1
3. 注意事項	2

< II・回収状況 >

回収状況	5
------	---

< III・調査結果 >

1. 学校全体の学生数	7
2. 障害学生数	8
(1) 障害学生数	
(2) 障害学生在籍率	
(3) 障害種別の障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
3. 障害学生在籍学校数	16
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別	
4. 支援障害学生数	18
(1) 支援障害学生数	
(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率	
(3) 障害種別の支援障害学生数	
(4) 障害種別・学科(専攻)別	
ア 大学	
イ 短期大学	
ウ 高等専門学校	
(5) 発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)	
5. 支援障害学生在籍学校数	26
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別	
6. 支援の実施状況	29
(1) 障害種別・学校種別	
(2) 授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別	
ア 授業支援(総表)	
イ 授業以外の支援(総表)	

ウ 授業支援(大学)	
エ 授業以外の支援(大学)	
オ 授業支援(短期大学)	
カ 授業以外の支援(短期大学)	
キ 授業支援(高等専門学校)	
ク 授業以外の支援(高等専門学校)	
(3)主な支援	
ア 視覚障害	
イ 聴覚・言語障害	
ウ 肢体不自由	
エ 病弱・虚弱	
オ 発達障害	
カ 精神障害	
7. 障害学生支援に関する体制等……………	49
(1)障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)	
(2)専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-1)障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)	
(4-3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)	
(5)障害学生の相談受付窓口	
(6)支援の申し出等に関する対応手順	
(7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)	
(8)支援学生(障害学生を支援する学生)在籍学校数(支援学生数別・学校種別)	
8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況……………	59
(1)学校種別・障害学生在籍者数別	
(2)学校種別・内容別	
9. 障害のある生徒の受入れに関する配慮及び入学者数等……………	63
(1)入学者選抜における配慮に関する体制	
(2)入学者選抜において実施可能な配慮	
(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)	
(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)	
(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)	
10. 障害学生の卒業後の進路……………	70
(1)進路状況(学校種別・障害種別)	
11. 発達障害学生支援状況(一部再掲)……………	75
(1)発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)	
(2)発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)	
(3)発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)	
(4)発達障害のある学生への支援(支援内容別)	
(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)	
(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)	
<IV・参考資料>	
調査の手引……………	81
調査票(大学・大学院用)……………	95

< I・調査方法等 >

1.調査概要

- (1) 目的:障害のある学生(以下「障害学生」という。)の今後の修学支援に関する方策を検討する上で、全国の大学、短期大学及び高等専門学校(以下「学校」という。)における障害学生の状況及びその支援状況について把握し、障害学生の修学支援の充実に資する。
- (2) 対象:大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。以下同じ。)、短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。以下同じ。)、高等専門学校(専攻科を含む。以下同じ。)
- (3) 調査方法:悉皆調査
- 各学校が独立行政法人日本学生支援機構のウェブサイトから調査票をダウンロードし、回答を記入後、メール添付で提出する。
- (4) 調査期日:令和4年5月1日現在

2.表記区分

(1)学校種別

学校種別	区 分
大 学	大学(専門職大学、大学院、大学院大学及び専攻科を含む。)
短期大学	短期大学(大学内に短期大学部を有している場合及び専門職短期大学、専攻科を含む。)
高等専門学校	高等専門学校(専攻科を含む。)

(2)課程別

学校種別	課程別	区 分
大 学	学部(通学)	学部生<通学制>
	学部(通信)	学部生<通信制>
	大学院(通学)	大学院生<通学制>
	大学院(通信)	大学院生<通信制>
	専攻科	専攻科生
短期大学	学科(通学)	学科生<通学制>
	学科(通信)	学科生<通信制>
	専攻科	専攻科生
高等専門学校	本科(通学)	本科生
	専攻科	専攻科生

※調査対象には、研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生を含まない。

(3)障害種別

障害種別	区分
視覚障害	盲、弱視
聴覚・言語障害	聾、難聴、言語障害のみ
肢体不自由	上肢機能障害、下肢機能障害、上下肢機能障害、他の機能障害
病弱・虚弱	内部障害等、他の慢性疾患
重複	重複
発達障害 (診断書有)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／ 注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラ ム障害)、発達障害の重複
精神障害	統合失調症等、気分障害、神経症性障害等、摂食障害・睡眠障害等、他 の精神障害
その他の障害	上記に該当しない障害
発達障害(診断書 無・配慮有)	SLD(限局性学習症／限局性学習障害)、ADHD(注意欠如・多動症／ 注意欠如・多動性障害)、ASD(自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラ ム障害)

3.注意事項

(1)本調査における用語の定義

- ①「障害学生」とは、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳を有している学生又は健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
- ②「支援障害学生」とは、学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている(今年度中の支援予定を含む。)障害学生
支援例:ノートテイク、手話通訳、点訳、定期試験の配慮等の授業保障、学内学生生活、キャリア・就職等に関する支援等

③障害種別の内訳区分

【視覚障害】

盲……視覚による教育が不可能又は著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用した教育が必要な程度

弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度(視野障害や、明るいところがまぶしく感じる羞明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む。)

※色覚異常、片目の失明については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明)を記入する。

【聴覚・言語障害】

聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度

難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満又は補聴器を使用すれば通常の話声を解することが可能な程度

言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害（構音障害、音声障害、流暢性の障害、言語発達遅滞、口蓋裂）

【肢体不自由】

上肢機能障害……腕、手、指及び各関節に関する機能障害

下肢機能障害……脚、足指及び各関節に関する機能障害

上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害

他の機能障害……体幹（胴体）に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害及び運動の障害

【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者を指す。

内部障害等（※1）……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の 疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者。

※1：「身体障害者障害程度等級表」又は「小児慢性特定疾病」に該当する者

他の慢性疾患（※2）……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者（てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者 はここに計上する。）。

※2：これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】

以下のとおり障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

※発達障害又は精神障害と他の障害の重複については、ここには計上しない（14、15 ページ、24、25 ページ参照）。

【発達障害（診断書有）】

発達障害に関する医師の診断書がある者

SLD……限局性学習症／限局性学習障害（ILD：学習障害）

ADHD……注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥／多動性障害)

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】

統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害(ICD-10 F20-F29に該当する疾患)

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等(ICD-10 F30-F39に該当する疾患)

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応障害、解離性(転換性)障害、身体表現性障害、神経衰弱等(ICD-10 F40-F48に該当する疾患)

摂食障害・睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等(ICD-10 F50-F59に該当する疾患)

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害(高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トゥレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等)

【その他の障害】

視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者。又は健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者。

※多汗症、原因を特定することができない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。

(2) 発達障害学生数について

発達障害学生数について、医師の診断書がない場合は「障害学生数」に含めていない。しかし、学校における支援の実態等に鑑み、以下の定義により発達障害(診断書無・配慮有)の学生数、支援内容について回答を得ている。

【発達障害(診断書無・配慮有)】

発達障害があるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援(教育上の配慮等)を行なっている者

※何らかの支援(教育上の配慮等)とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものを含まない。

SLD……限局性学習症／限局性学習障害(旧LD：学習障害)

ADHD…注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥／多動性障害)

ASD……自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等：高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

区分不明……上記の3つのいずれに該当するかが不明の者

< Ⅱ・回收状況 >

回収状況

本年度の回収率は100%である。本調査の回収率は、調査を開始した平成17年度が90.5%、平成18年度が93.8%、平成19年度からは平成24年度を除いて回収率100%を達成している。

区 分		対象校数 (校)		回答校数 (校)		回収率 (%)	
大学	国立	86	(86)	86	(86)	100.0	(100.0)
	公立	101	(98)	101	(98)	100.0	(100.0)
	私立	626	(625)	626	(625)	100.0	(100.0)
	小計	813	(809)	813	(809)	100.0	(100.0)
短期大学	国立	—	(—)	—	(—)	—	(—)
	公立	14	(14)	14	(14)	100.0	(100.0)
	私立	290	(296)	290	(296)	100.0	(100.0)
	小計	304	(310)	304	(310)	100.0	(100.0)
高等専門 学校	国立	51	(51)	51	(51)	100.0	(100.0)
	公立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	私立	3	(3)	3	(3)	100.0	(100.0)
	小計	57	(57)	57	(57)	100.0	(100.0)
計		1,174	(1,176)	1,174	(1,176)	100.0	(100.0)

【留意点】

- ①表中の()内は、前年度の調査結果の数値である。
- ②表中の比率(%)については、四捨五入の都合で内訳の和と合計の値が合わない場合がある。

※上記の【留意点】については、次の<Ⅲ・調査結果>においても同様である。

< Ⅲ・調査結果 >

1. 学校全体の学生数

学校からの回答における令和4年5月1日現在の学生数

表1 学校全体の学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		3,246,852 (3,233,301)	2,777,424 (2,774,121)	199,378 (193,515)	259,698 (255,028)	3,542 (3,694)	6,810 (6,943)
国立		635,454 (636,713)	479,596	—	152,647	—	3,211
公立		169,908 (167,552)	152,107	—	17,365	—	436
私立		2,441,490 (2,429,036)	2,145,721	199,378	89,686	3,542	3,163
大学		3,076,995 (3,055,843)	2,632,029 (2,621,783)	180,471 (174,171)	259,698 (255,028)	3,542 (3,694)	1,255 (1,167)
国立		584,320 (585,398)	431,380	—	152,647	—	293
公立		161,026 (158,433)	143,520	—	17,365	—	141
私立		2,331,649 (2,312,012)	2,057,129	180,471	89,686	3,542	821
短期大学		113,204 (120,555)	91,889 (98,624)	18,907 (19,344)	—	—	2,408 (2,587)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		5,102 (5,348)	4,972	—	—	—	130
私立		108,102 (115,207)	86,917	18,907	—	—	2,278
高等専門学校		56,653 (56,903)	53,506 (53,714)	—	—	—	3,147 (3,189)
国立		51,134 (51,315)	48,216	—	—	—	2,918
公立		3,780 (3,771)	3,615	—	—	—	165
私立		1,739 (1,817)	1,675	—	—	—	64

()内は前年度数値

2.障害学生数

(1)障害学生数

○「大学、短期大学及び高等専門学校」の障害学生数は49,672人で、前年度(40,744人)より8,928人の増。

表2-1 障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

	(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		49,672 (40,744)	44,330 (36,246)	2,673 (2,175)	2,553 (2,210)	21 (19)	95 (94)
国立		10,947 (9,577)	9,147	—	1,728	—	72
公立		2,941 (2,515)	2,771	—	167	—	3
私立		35,784 (28,652)	32,412	2,673	658	21	20
			学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
大学		44,448 (36,414)	39,223 (32,013)	2,645 (2,159)	2,553 (2,210)	21 (19)	6 (13)
国立		8,422 (7,358)	6,689	—	1,728	—	5
公立		2,477 (2,113)	2,310	—	167	—	0
私立		33,549 (26,943)	30,224	2,645	658	21	1
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		2,296 (1,780)	2,251 (1,749)	28 (16)	—	—	17 (15)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		170 (155)	170	—	—	—	0
私立		2,126 (1,625)	2,081	28	—	—	17
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		2,928 (2,550)	2,856 (2,484)	—	—	—	72 (66)
国立		2,525 (2,219)	2,458	—	—	—	67
公立		294 (247)	291	—	—	—	3
私立		109 (84)	107	—	—	—	2

()内は前年度数値

(2)障害学生在籍率

○全学生(3,246,852人)に占める障害学生の在籍率は1.53%で、前年度(1.26%)より0.27ポイントの増。

表2-2 障害学生在籍率 [学校種別・設置者別・課程別]

	(%)	全体の在籍率	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計		1.53 (1.26)	1.60 (1.31)	1.34 (1.12)	0.98 (0.87)	0.59 (0.51)	1.40 (1.35)
国立		1.72 (1.50)	1.91	—	1.13	—	2.24
公立		1.73 (1.50)	1.82	—	0.96	—	0.69
私立		1.47 (1.18)	1.51	1.34	0.73	0.59	0.63
			学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
大学		1.44 (1.19)	1.49 (1.22)	1.47 (1.24)	0.98 (0.87)	0.59 (0.51)	0.48 (1.11)
国立		1.44 (1.26)	1.55	—	1.13	—	1.71
公立		1.54 (1.33)	1.61	—	0.96	—	0
私立		1.44 (1.17)	1.47	1.47	0.73	0.59	0.12
			学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学		2.03 (1.48)	2.45 (1.77)	0.15 (0.08)	—	—	0.71 (0.58)
国立		—	—	—	—	—	—
公立		3.33 (2.90)	3.42	—	—	—	0
私立		1.97 (1.41)	2.39	0.15	—	—	0.75
			本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校		5.17 (4.48)	5.34 (4.62)	—	—	—	2.29 (2.07)
国立		4.94 (4.32)	5.10	—	—	—	2.30
公立		7.78 (6.55)	8.05	—	—	—	1.82
私立		6.27 (4.62)	6.39	—	—	—	3.13

()内は前年度数値

図2-1 障害学生数[障害種別]

(3)障害種別の障害学生数

○障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」の15,787人で、前年度(12,228人)より3,559人の増。「病弱・虚弱」の13,529人で、前年度(11,830人)より1,699人の増。「発達障害」の10,288人で、前年度(8,698人)より1,590人の増。

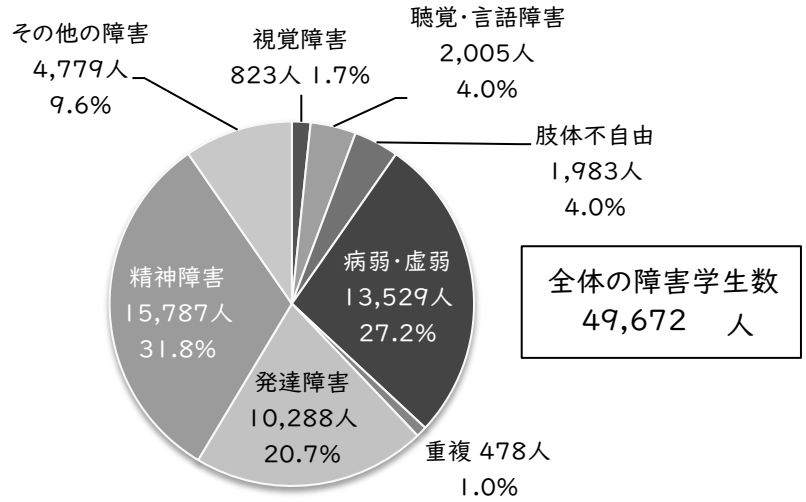


表2-3 障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計		大学		短期大学		高等専門学校	
		(前年度)		(前年度)		(前年度)		(前年度)
計	49,672	(40,744)	44,448	(36,414)	2,296	(1,780)	2,928	(2,550)
視覚障害	823	(789)	766	(752)	22	(10)	35	(27)
盲	141	(130)	141		0		0	
弱視	682	(659)	625		22		35	
聴覚・言語障害	2,005	(1,852)	1,875	(1,733)	61	(46)	69	(73)
聾	443	(504)	435		8		0	
難聴	1,514	(1,300)	1,398		52		64	
言語障害のみ	48	(48)	42		1		5	
肢体不自由	1,983	(1,837)	1,877	(1,726)	54	(61)	52	(50)
上肢機能障害	278	(298)	261		9		8	
下肢機能障害	714	(652)	668		21		25	
上下肢機能障害	574	(570)	547		14		13	
他の機能障害	417	(317)	401		10		6	
病弱・虚弱	13,529	(11,830)	11,848	(10,388)	883	(756)	798	(686)
内部障害等	8,273	(7,548)	7,444		450		379	
他の慢性疾患	5,256	(4,282)	4,404		433		419	
重複	478	(438)	444	(413)	25	(9)	9	(16)
発達障害	10,288	(8,698)	8,811	(7,368)	317	(278)	1,160	(1,052)
SLD	254	(243)	220		13		21	
ADHD	3,421	(2,648)	2,955		105		361	
ASD	4,640	(4,212)	3,911		148		581	
発達障害の重複	1,973	(1,595)	1,725		51		197	
精神障害	15,787	(12,228)	14,903	(11,512)	579	(445)	305	(271)
統合失調症等	780	(751)	754		22		4	
気分障害	4,489	(3,602)	4,310		113		66	
神経症性障害等	5,952	(4,525)	5,638		221		93	
摂食障害・睡眠障害等	1,084	(882)	1,004		49		31	
他の精神障害	3,482	(2,468)	3,197		174		111	
その他の障害	4,779	(3,072)	3,924	(2,522)	355	(175)	500	(375)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別
ア 大学

○大学に在籍している障害学生数(44,448人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」10,030人、「人文科学」9,360人、「工学」6,182人。

表2-4 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別](大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	44,448	9,360	10,030	1,784	6,182	1,646	901	4,360	28	1,199	2,698	2,636	3,624
視覚障害	766	93	197	26	100	10	11	81	2	12	46	30	158
盲	141	16	24	7	13	0	1	13	0	0	2	8	57
弱視	625	77	173	19	87	10	10	68	2	12	44	22	101
聴覚・言語障害	1,875	273	455	69	290	50	32	191	0	37	174	157	147
聾	435	32	97	9	132	0	0	5	0	6	40	73	41
難聴	1,398	231	349	58	150	49	32	182	0	31	131	81	104
言語障害のみ	42	10	9	2	8	1	0	4	0	0	3	3	2
肢体不自由	1,877	382	570	46	154	34	30	154	1	27	121	86	272
上肢機能障害	261	51	73	9	26	10	5	19	0	7	23	11	27
下肢機能障害	668	132	178	16	62	10	15	81	0	7	50	39	78
上下肢機能障害	547	121	204	17	39	9	8	24	1	7	28	19	70
他の機能障害	401	78	115	4	27	5	2	30	0	6	20	17	97
病弱・虚弱	11,848	2,060	2,745	309	1,422	432	287	1,781	1	416	751	587	1,057
内部障害等	7,444	1,330	1,715	180	934	266	195	1,062	1	277	457	393	634
他の慢性疾患	4,404	730	1,030	129	488	166	92	719	0	139	294	194	423
重複	444	92	83	9	100	8	6	41	0	4	30	32	39
発達障害	8,811	2,006	1,863	583	1,723	445	76	366	6	121	376	633	613
SLD	220	43	51	8	36	13	0	9	0	1	16	15	28
ADHD	2,955	688	618	166	526	141	29	150	5	53	175	212	192
ASD	3,911	907	845	267	806	182	38	149	1	48	129	277	262
発達障害の重複	1,725	368	349	142	355	109	9	58	0	19	56	129	131
精神障害	14,903	3,723	3,300	655	1,826	554	353	1,187	18	438	912	859	1,078
統合失調症等	754	174	188	30	87	18	14	50	0	9	36	59	89
気分障害	4,310	1,152	923	181	533	152	101	301	2	112	269	262	322
神経症性障害等	5,638	1,390	1,290	274	659	222	144	460	13	166	342	297	381
摂食障害・睡眠障害等	1,004	218	178	40	121	48	41	102	3	54	59	54	86
他の精神障害	3,197	789	721	130	426	114	53	274	0	97	206	187	200
その他の障害	3,924	731	817	87	567	113	106	559	0	144	288	252	260

(4)障害種別・学科(専攻)別
イ 短期大学

○短期大学に在籍している障害学生数(2,296人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」619人、「家政」409人、「社会」325人。

表2-5 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
計	2,296	292	325	21	45	77	156	409	619	164	188
視覚障害	22	3	5	0	0	0	0	5	5	2	2
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	22	3	5	0	0	0	0	5	5	2	2
聴覚・言語障害	61	8	8	1	2	0	8	15	9	6	4
聾	8	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0
難聴	52	8	8	1	2	0	8	11	7	3	4
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
肢体不自由	54	5	16	0	1	0	1	7	14	2	8
上肢機能障害	9	1	3	0	0	0	0	2	3	0	0
下肢機能障害	21	1	5	0	1	0	0	3	7	1	3
上下肢機能障害	14	2	4	0	0	0	0	0	4	0	4
他の機能障害	10	1	4	0	0	0	1	2	0	1	1
病弱・虚弱	883	74	112	6	12	27	79	177	288	36	72
内部障害等	450	52	54	5	10	12	42	97	133	19	26
他の慢性疾患	433	22	58	1	2	15	37	80	155	17	46
重複	25	3	4	0	0	13	0	1	4	0	0
発達障害	317	53	51	4	15	6	7	67	48	39	27
SLD	13	0	4	0	0	0	0	4	2	1	2
ADHD	105	13	17	2	3	3	6	19	27	12	3
ASD	148	29	23	2	6	2	1	32	15	19	19
発達障害の重複	51	11	7	0	6	1	0	12	4	7	3
精神障害	579	96	81	8	8	13	26	95	151	59	42
統合失調症等	22	4	3	0	0	1	0	6	2	4	2
気分障害	113	15	21	0	1	1	5	16	33	13	8
神経症性障害等	221	46	31	2	1	6	11	36	56	16	16
摂食障害・睡眠障害等	49	8	7	1	2	2	4	8	10	3	4
他の精神障害	174	23	19	5	4	3	6	29	50	23	12
その他の障害	355	50	48	2	7	18	35	42	100	20	33

(4)障害種別・学科(専攻)別
ウ 高等専門学校

○高等専門学校に在籍している障害学生(2,928人)を学科(専攻)別に見ると、ほとんどの障害学生(2,874人)が「工業」に在籍している。

表2-6 障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		2,928	23	2,874	11	20
視覚障害		35	0	34	0	1
	盲	0	0	0	0	0
	弱視	35	0	34	0	1
聴覚・言語障害		69	0	68	0	1
	聾	0	0	0	0	0
	難聴	64	0	63	0	1
	言語障害のみ	5	0	5	0	0
肢体不自由		52	0	52	0	0
	上肢機能障害	8	0	8	0	0
	下肢機能障害	25	0	25	0	0
	上下肢機能障害	13	0	13	0	0
	他の機能障害	6	0	6	0	0
病弱・虚弱		798	16	773	0	9
	内部障害等	379	4	370	0	5
	他の慢性疾患	419	12	403	0	4
重複		9	0	8	0	1
発達障害		1,160	2	1,147	8	3
	SLD	21	0	21	0	0
	ADHD	361	1	356	4	0
	ASD	581	1	578	0	2
	発達障害の重複	197	0	192	4	1
精神障害		305	0	301	2	2
	統合失調症等	4	0	4	0	0
	気分障害	66	0	65	1	0
	神経症性障害等	93	0	91	0	2
	摂食障害・睡眠障害等	31	0	30	1	0
	他の精神障害	111	0	111	0	0
その他の障害		500	5	491	1	3

(5)発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

○発達障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」との重複が476人、「病弱・虚弱」との重複が167人となっている。

○学校種別で見ると、「大学」と「短期大学」では「精神障害」との重複が最も多く、「高等専門学校」では「病弱・虚弱」との重複が最も多くなっている。

表2-7 発達障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

	(人)	大学					発達障害の重複	短期大学			発達障害の重複	高等専門学校			発達障害の重複	
		計	S L D	A D H D	A S D	S L D		A D H D	A S D	S L D		A D H D	A S D			
計	868	792	24	307	336	125	26	2	10	12	2	50	4	21	22	3
視覚障害	11	9	0	1	5	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	9	0	1	5	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	39	36	1	14	17	4	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0
聾	17	17	0	8	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	21	18	0	6	11	1	1	0	1	0	0	2	0	1	1	0
言語障害のみ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	27	25	2	4	13	6	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0
上肢機能障害	4	4	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	10	8	1	3	2	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0
上下肢機能障害	7	7	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	6	6	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	167	141	5	49	54	33	6	1	2	2	1	20	3	8	9	0
内部障害等	95	86	3	34	29	20	3	1	1	0	1	6	0	4	2	0
他の慢性疾患	72	55	2	15	25	13	3	0	1	2	0	14	3	4	7	0
重複	66	66	4	25	30	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	476	450	8	192	193	57	12	1	3	7	1	14	1	6	4	3
統合失調症等	24	22	0	5	15	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
気分障害	161	155	1	83	52	19	2	0	1	1	0	4	0	2	1	1
神経症性障害等	158	153	0	55	80	18	3	1	1	1	0	2	0	1	1	0
摂食障害・睡眠障害等	24	20	0	9	8	3	2	0	1	1	0	2	0	0	1	1
他の精神障害	109	100	7	40	38	15	3	0	0	2	1	6	1	3	1	1
その他の障害	82	65	4	22	24	15	5	0	3	2	0	12	0	5	7	0

○精神障害と他の障害が重複している障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」との重複が936人、「病弱・虚弱」との重複が243人となっている。

○学校種別で見ると、すべての学校種において、「発達障害」との重複が最も多くなっている。

表2-8 精神障害と他の障害が重複している障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学						短期大学				高等専門学校							
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	他の精神障害			
計	1,511	1,417	45	441	407	98	426	69	1	13	22	9	24	25	0	8	6	3	8
視覚障害	15	14	2	0	3	0	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	15	14	2	0	3	0	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	28	26	1	3	8	3	11	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
聾	11	11	0	2	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	17	15	1	1	7	0	6	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	47	44	3	9	7	1	24	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	15	15	1	3	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	18	17	1	1	6	0	9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	12	10	1	4	0	1	4	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	243	223	11	54	44	26	88	16	1	2	5	1	7	4	0	0	1	1	2
内部障害等	158	148	5	39	36	16	52	8	1	0	2	1	4	2	0	0	1	1	0
他の慢性疾患	85	75	6	15	8	10	36	8	0	2	3	0	3	2	0	0	0	0	2
重複	77	76	5	23	20	8	20	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
発達障害	936	884	20	308	267	54	235	36	0	7	11	5	13	16	0	7	3	2	4
SLD	8	8	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	328	308	2	127	92	19	68	11	0	4	2	2	3	9	0	4	2	1	2
ASD	410	385	14	114	127	16	114	18	0	3	7	3	5	7	0	3	1	1	2
発達障害の重複	190	183	4	66	46	18	49	7	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0
その他の障害	165	150	3	44	58	6	39	10	0	2	5	2	1	5	0	1	2	0	2

3. 障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

○障害学生が在籍している学校は970校。

○障害種別の在籍校数は多い順に「精神障害」828校、「発達障害」770校、「病弱・虚弱」763校。

表3-1 障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	970	712	202	56
視覚障害	299	257	20	22
盲	53	53	0	0
弱視	285	243	20	22
聴覚・言語障害	524	448	46	30
聾	100	93	7	0
難聴	497	426	41	30
言語障害のみ	38	35	1	2
肢体不自由	523	452	40	31
上肢機能障害	177	161	9	7
下肢機能障害	309	276	16	17
上下肢機能障害	256	231	14	11
他の機能障害	193	178	10	5
病弱・虚弱	763	582	133	48
内部障害等	717	552	117	48
他の慢性疾患	585	453	94	38
重複	159	143	9	7
発達障害	770	592	124	54
SLD	173	147	12	14
ADHD	603	485	68	50
ASD	643	510	81	52
発達障害の重複	440	362	34	44
精神障害	828	618	157	53
統合失調症等	325	299	22	4
気分障害	591	482	76	33
神経症性障害等	673	527	109	37
摂食障害・睡眠障害等	381	320	42	19
他の精神障害	608	489	79	40
その他の障害	622	476	103	43
全体の学校数	1,174	813	304	57

(2) 学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別

○全学校数(1,174校)に占める障害学生在籍校の割合は82.6%。

○障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」506校、「0人」204校、「2~5人」143校。

○障害学生が在籍する学校を全学生数の規模別で見ると、多い順に「1~499人」245校、「1,000~1,999人」203校、「2,000~4,999人」185校。

表3-2 障害学生在籍学校数 [学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍学校 数 (校)	障害学生 在籍率 (%)	障害学生 21人以 上	障害学生 11~20 人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
計	970	82.6	506	142	120	143	59	204	1,174
大学	712	87.6	432	96	65	85	34	101	813
短期大学	202	66.4	29	41	52	56	24	102	304
高等専門学校	56	98.2	45	5	3	2	1	1	57

表3-3 障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・障害学生在籍者数別]

	障害学生 在籍学校 数 (校)	障害学生 在籍率 (%)	障害学生 21人以 上	障害学生 11~20 人	障害学生 6~10人	障害学生 2~5人	障害学生 1人	障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	69	100.0	68	0	1	0	0	0	69
大学	69	100.0	68	0	1	0	0	0	69
短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
5,000~9,999人	107	99.1	96	7	2	2	0	1	108
大学	106	99.1	96	7	2	1	0	1	107
短期大学	1	100.0	0	0	0	1	0	0	1
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
2,000~4,999人	185	97.9	142	22	12	7	2	4	189
大学	183	98.4	142	21	11	7	2	3	186
短期大学	2	66.7	0	1	1	0	0	1	3
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
1,000~1,999人	203	88.3	100	41	29	28	5	27	230
大学	168	86.6	73	38	27	26	4	26	194
短期大学	4	80.0	1	1	0	1	1	1	5
高等専門学校	31	100.0	26	2	2	1	0	0	31
500~999人	161	81.3	64	27	27	33	10	37	198
大学	98	77.8	35	20	13	23	7	28	126
短期大学	38	80.9	10	4	13	9	2	9	47
高等専門学校	25	100.0	19	3	1	1	1	0	25
1~499人	245	64.5	36	45	49	73	42	135	380
大学	88	67.2	18	10	11	28	21	43	131
短期大学	157	63.3	18	35	38	45	21	91	248
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	1	1

(注) 障害学生在籍率: 障害学生在籍校数 ÷ 全体の学校数 × 100 (%)

4. 支援障害学生数

(1) 支援障害学生数

○障害学生(49,672人)のうち支援障害学生の総数は27,121人で、前年度(21,767人)より5,354人の増。

表4-1 支援障害学生数 [学校種別・設置者別・課程別]

(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
計	27,121 (21,767)	24,441 (19,440)	1,281 (1,124)	1,344 (1,137)	18 (17)	37 (49)
国立	6,474 (5,519)	5,487	—	960	—	27
公立	1,452 (1,256)	1,375	—	74	—	3
私立	19,195 (14,992)	17,579	1,281	310	18	7
(人)	計	学部(通学)	学部(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
大学	24,852 (19,847)	22,215 (17,569)	1,270 (1,113)	1,344 (1,137)	18 (17)	5 (11)
国立	5,440 (4,669)	4,476	—	960	—	4
公立	1,241 (1,052)	1,167	—	74	—	0
私立	18,171 (14,126)	16,572	1,270	310	18	1
(人)	計	学科(通学)	学科(通信)	—	—	専攻科
短期大学	1,044 (887)	1,028 (868)	11 (11)	—	—	5 (8)
国立	—	—	—	—	—	—
公立	64 (68)	64	—	—	—	0
私立	980 (819)	964	11	—	—	5
(人)	計	本科(通学)	—	—	—	専攻科
高等専門学校	1,225 (1,033)	1,198 (1,003)	—	—	—	27 (30)
国立	1,034 (850)	1,011	—	—	—	23
公立	147 (136)	144	—	—	—	3
私立	44 (47)	43	—	—	—	1

()内は前年度数値

(2) 支援障害学生在籍率・障害学生支援率

○全学生(3,246,852人)に占める支援障害学生数の在籍率は0.84%で、前年度(0.67%)より0.17ポイントの増。
 ○障害学生(49,672人)に占める支援障害学生数の割合(障害学生支援率)は54.6%で、前年度(53.4%)より1.2ポイントの増。

表4-2 支援障害学生在籍率・障害学生支援率 [学校種別・設置者別・課程別]

	在籍率(%) 支援率(%)		学部(通学)		学部(通信)		大学院(通学)		大学院(通信)		専攻科	
	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率	在籍率	支援率
計	0.84 (0.67)	54.6 (53.4)	0.88 (0.70)	55.1 (53.6)	0.64 (0.58)	47.9 (51.7)	0.52 (0.45)	52.6 (51.4)	0.51 (0.46)	85.7 (89.5)	0.54 (0.71)	38.9 (52.1)
国立	1.02 (0.87)	59.1 (57.6)	1.14	60.0	—	—	0.63	55.6	—	—	0.84	37.5
公立	0.85 (0.75)	49.4 (49.9)	0.90	49.6	—	—	0.43	44.3	—	—	0.69	100.0
私立	0.79 (0.62)	53.6 (52.3)	0.82	54.2	0.64	47.9	0.35	47.1	0.51	85.7	0.22	35.0
大学	0.81 (0.65)	55.9 (54.5)	0.84 (0.67)	56.6 (54.9)	0.70 (0.64)	48.0 (51.6)	0.52 (0.45)	52.6 (51.4)	0.51 (0.46)	85.7 (89.5)	0.40 (0.94)	83.3 (84.6)
国立	0.93 (0.80)	64.6 (63.5)	1.04	66.9	—	—	0.63	55.6	—	—	1.37	80.0
公立	0.77 (0.66)	50.1 (49.8)	0.81	50.5	—	—	0.43	44.3	—	—	—	—
私立	0.78 (0.61)	54.2 (52.4)	0.81	54.8	0.70	48.0	0.35	47.1	0.51	85.7	0.12	100.0
短期大学	0.92 (0.74)	45.5 (49.8)	1.12 (0.88)	45.7 (49.6)	0.06 (0.06)	39.3 (68.8)	—	—	—	—	0.21 (0.31)	29.4 (53.3)
国立	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公立	1.25 (1.27)	37.6 (43.9)	1.29	37.6	—	—	—	—	—	—	—	—
私立	0.91 (0.71)	46.1 (50.4)	1.11	46.3	0.06	39.3	—	—	—	—	0.22	29.4
高等専門学校	2.16 (1.82)	41.8 (40.5)	2.24 (1.87)	41.9 (40.4)	—	—	—	—	—	—	0.86 (0.94)	37.5 (45.5)
国立	2.02 (1.66)	41.0 (38.3)	2.10	41.1	—	—	—	—	—	—	0.79	34.3
公立	3.89 (3.61)	50.0 (55.1)	3.98	49.5	—	—	—	—	—	—	1.82	100.0
私立	2.53 (2.59)	40.4 (56.0)	2.57	40.2	—	—	—	—	—	—	1.56	50.0

(注1) 支援障害学生在籍率:支援障害学生数÷全体の学生数×100(%)

()内は前年度数値

(注2) 障害学生支援率:支援障害学生数÷障害学生数×100(%)

(3)障害種別の支援障害学生数

○支援障害学生を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」の10,222人で、前年度(7,613人)より2,609人の増。「発達障害」7,164人で、前年度(6,037人)より1,127人の増。「病弱・虚弱」4,191人で、前年度(3,514人)より677人の増。

図4-1 支援障害学生数[障害種別]

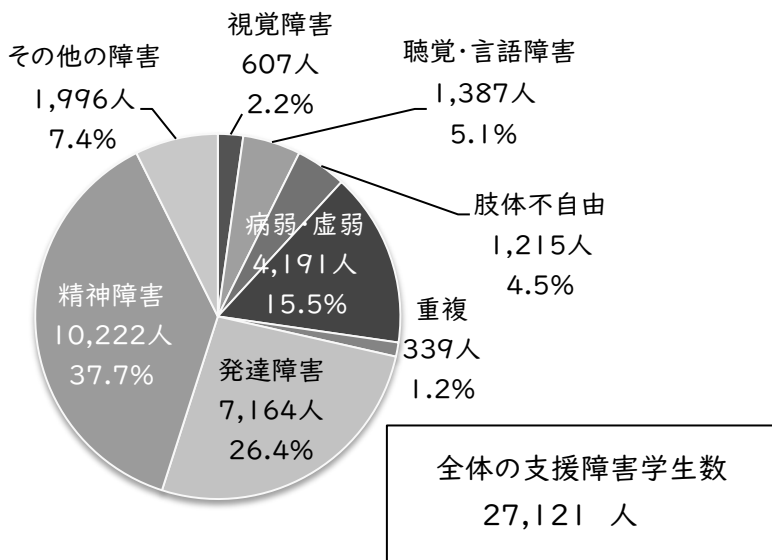


表4-3 支援障害学生数 [障害種別・学校種別]

(人)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	27,121 (21,767)	24,852 (19,847)	1,044 (887)	1,225 (1,033)
視覚障害	607 (611)	581 (593)	13 (6)	13 (12)
盲	132 (122)	132	0	0
弱視	475 (489)	449	13	13
聴覚・言語障害	1,387 (1,334)	1,315 (1,273)	43 (34)	29 (27)
聾	417 (473)	409	8	0
難聴	945 (842)	884	34	27
言語障害のみ	25 (19)	22	1	2
肢体不自由	1,215 (1,112)	1,154 (1,049)	38 (35)	23 (28)
上肢機能障害	136 (132)	128	6	2
下肢機能障害	402 (371)	372	17	13
上下肢機能障害	405 (399)	390	9	6
他の機能障害	272 (210)	264	6	2
病弱・虚弱	4,191 (3,514)	3,580 (2,959)	241 (252)	370 (303)
内部障害等	2,732 (2,426)	2,455	133	144
他の慢性疾患	1,459 (1,088)	1,125	108	226
重複	339 (315)	328 (299)	7 (8)	4 (8)
発達障害	7,164 (6,037)	6,483 (5,434)	220 (189)	461 (414)
SLD	181 (171)	162	7	12
ADHD	2,346 (1,774)	2,161	62	123
ASD	3,151 (2,869)	2,828	110	213
発達障害の重複	1,486 (1,223)	1,332	41	113
精神障害	10,222 (7,613)	9,699 (7,189)	362 (289)	161 (135)
統合失調症等	470 (470)	454	15	1
気分障害	2,962 (2,253)	2,847	74	41
神経症性障害等	3,920 (2,884)	3,716	150	54
摂食障害・睡眠障害等	613 (497)	565	30	18
他の精神障害	2,257 (1,509)	2,117	93	47
その他の障害	1,996 (1,231)	1,712 (1,051)	120 (74)	164 (106)

()内は前年度数値

(4)障害種別・学科(専攻)別

ア 大学

○大学に在籍している支援障害学生(24,852人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「社会科学」5,762人、「人文科学」5,716人、「工学」3,463人。

表4-4 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別](大学)

(人)	計	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健(医・歯学)	保健(医・歯学を除く)	商船	家政	教育	芸術	その他
計	24,852	5,716	5,762	1,132	3,463	1,033	443	1,865	10	685	1,484	1,270	1,989
視覚障害	581	71	134	21	75	7	7	69	1	7	26	27	136
盲	132	14	20	6	13	0	1	11	0	0	2	8	57
弱視	449	57	114	15	62	7	6	58	1	7	24	19	79
聴覚・言語障害	1,315	176	320	49	216	36	24	110	0	23	132	112	117
聾	409	29	84	9	130	0	0	5	0	6	38	68	40
難聴	884	142	231	39	81	35	24	105	0	17	91	43	76
言語障害のみ	22	5	5	1	5	1	0	0	0	0	3	1	1
肢体不自由	1,154	234	364	27	78	20	16	81	0	17	70	30	217
上肢機能障害	128	23	37	4	10	5	4	12	0	3	11	2	17
下肢機能障害	372	66	108	9	27	4	7	47	0	6	23	14	61
上下肢機能障害	390	92	155	11	25	7	3	10	0	5	20	7	55
他の機能障害	264	53	64	3	16	4	2	12	0	3	16	7	84
病弱・虚弱	3,580	658	901	89	443	167	63	451	0	167	224	149	268
内部障害等	2,455	442	629	71	308	115	42	310	0	92	146	101	199
他の慢性疾患	1,125	216	272	18	135	52	21	141	0	75	78	48	69
重複	328	57	51	7	91	5	2	31	0	3	21	30	30
発達障害	6,483	1,564	1,340	465	1,240	356	51	243	3	85	280	382	474
SLD	162	37	39	5	20	10	0	7	0	0	13	8	23
ADHD	2,161	551	435	131	363	114	20	100	2	38	130	135	142
ASD	2,828	687	602	208	580	139	24	96	1	34	97	157	203
発達障害の重複	1,332	289	264	121	277	93	7	40	0	13	40	82	106
精神障害	9,699	2,601	2,249	433	1,086	395	251	700	6	317	589	445	627
統合失調症等	454	111	112	17	50	14	7	28	0	7	17	28	63
気分障害	2,847	814	623	134	330	108	69	174	1	96	176	134	188
神経症性障害等	3,716	988	902	167	386	159	107	279	4	123	224	171	206
摂食障害・睡眠障害等	565	151	113	20	59	30	35	45	1	27	31	20	33
他の精神障害	2,117	537	499	95	261	84	33	174	0	64	141	92	137
その他の障害	1,712	355	403	41	234	47	29	180	0	66	142	95	120

(4)障害種別・学科(専攻)別
イ 短期大学

○短期大学に在籍している支援障害学生(1,044人)を学科(専攻)別に見ると、多い順に「教育」279人、「人文」175人、「家政」158人。

表4-5 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (短期大学)

(人)	計	人 文	社 会	教 養	工 業	農 業	保 健	家 政	教 育	芸 術	そ の 他
計	1,044	175	152	9	37	13	46	158	279	88	87
視覚障害	13	1	3	0	0	0	0	2	5	1	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	13	1	3	0	0	0	0	2	5	1	1
聴覚・言語障害	43	7	5	1	1	0	3	12	7	5	2
聾	8	0	0	0	0	0	0	3	2	3	0
難聴	34	7	5	1	1	0	3	8	5	2	2
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
肢体不自由	38	4	10	0	0	0	1	4	11	2	6
上肢機能障害	6	1	2	0	0	0	0	1	2	0	0
下肢機能障害	17	1	4	0	0	0	0	2	7	1	2
上下肢機能障害	9	1	2	0	0	0	0	0	2	0	4
他の機能障害	6	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0
病弱・虚弱	241	27	21	2	9	1	22	27	106	7	19
内部障害等	133	21	10	2	7	1	15	16	47	4	10
他の慢性疾患	108	6	11	0	2	0	7	11	59	3	9
重複	7	1	1	0	0	2	0	0	3	0	0
発達障害	220	39	39	3	15	4	5	43	28	29	15
SLD	7	0	2	0	0	0	0	2	1	1	1
ADHD	62	5	10	1	3	2	4	13	16	6	2
ASD	110	24	20	2	6	1	1	21	8	16	11
発達障害の重複	41	10	7	0	6	1	0	7	3	6	1
精神障害	362	70	58	2	8	6	7	58	82	36	35
統合失調症等	15	4	2	0	0	0	0	3	2	3	1
気分障害	74	11	15	0	1	1	1	8	20	11	6
神経症性障害等	150	32	22	1	1	3	2	26	39	11	13
摂食障害・睡眠障害等	30	7	4	1	2	2	1	5	5	0	3
他の精神障害	93	16	15	0	4	0	3	16	16	11	12
その他の障害	120	26	15	1	4	0	8	12	37	8	9

(4)障害種別・学科(専攻)別

ウ 高等専門学校

○高等専門学校に在籍している支援障害学生(1,225人)を学科(専攻)別に見ると、障害学生数と同様に、ほとんどの支援障害学生(1,191人)が「工業」に在籍している。

表4-6 支援障害学生数 [障害種別・学科(専攻)別] (高等専門学校)

	(人)	計	社 会	工 業	商 船	芸 術
計		1,225	22	1,191	4	8
視覚障害		13	0	13	0	0
盲		0	0	0	0	0
弱視		13	0	13	0	0
聴覚・言語障害		29	0	29	0	0
聾		0	0	0	0	0
難聴		27	0	27	0	0
言語障害のみ		2	0	2	0	0
肢体不自由		23	0	23	0	0
上肢機能障害		2	0	2	0	0
下肢機能障害		13	0	13	0	0
上下肢機能障害		6	0	6	0	0
他の機能障害		2	0	2	0	0
病弱・虚弱		370	16	350	0	4
内部障害等		144	4	136	0	4
他の慢性疾患		226	12	214	0	0
重複		4	0	4	0	0
発達障害		461	1	456	3	1
SLD		12	0	12	0	0
ADHD		123	0	122	1	0
ASD		213	1	212	0	0
発達障害の重複		113	0	110	2	1
精神障害		161	0	159	1	1
統合失調症等		1	0	1	0	0
気分障害		41	0	40	1	0
神経症性障害等		54	0	53	0	1
摂食障害・睡眠障害等		18	0	18	0	0
他の精神障害		47	0	47	0	0
その他の障害		164	5	157	0	2

(5)発達障害又は精神障害と他の障害の重複(障害種別)

○発達障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「精神障害」388人、「病弱・虚弱」120人となっている。

表4-7 発達障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学			発達障害の重複	短期大学			高等専門学校			発達障害の重複				
		S L D	A D D	A S D		S L D	A D D	A S D	S L D	A D D	A S D					
計	685	631	23	237	269	102	23	2	9	10	2	31	3	10	15	3
視覚障害	11	9	0	1	5	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	9	0	1	5	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	34	32	1	12	15	4	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
聾	16	16	0	7	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	17	15	0	5	9	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0
言語障害のみ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	20	19	2	1	10	6	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上肢機能障害	3	3	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	5	4	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
上下肢機能障害	6	6	1	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	6	6	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	120	99	5	34	38	22	5	1	2	1	1	16	2	6	8	0
内部障害等	68	60	3	22	21	14	3	1	1	0	1	5	0	3	2	0
他の慢性疾患	52	39	2	12	17	8	2	0	1	1	0	11	2	3	6	0
重複	52	52	4	18	25	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神障害	388	369	8	157	156	48	11	1	3	6	1	8	1	2	2	3
統合失調症等	19	17	0	4	11	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
気分障害	133	130	1	67	43	19	2	0	1	1	0	1	0	0	0	1
神経症性障害等	124	119	0	43	62	14	3	1	1	1	0	2	0	1	1	0
摂食障害・睡眠障害等	21	18	0	9	6	3	1	0	1	0	0	2	0	0	1	1
他の精神障害	91	85	7	34	34	10	3	0	0	2	1	3	1	1	0	1
その他の障害	60	51	3	14	20	14	4	0	2	2	0	5	0	1	4	0

○精神障害と他の障害が重複している障害学生のうち、支援障害学生数を障害種別で見ると、多い順に「発達障害」729人、「病弱・虚弱」160人となっている。

表4-8 精神障害と他の障害が重複している支援障害学生数 [障害種別]

(人)	計	大学				短期大学				高等専門学校				他の精神障害					
		統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等		
計	1,145	1,082	33	305	322	72	350	49	1	9	18	8	13	14	0	3	4	2	5
視覚障害	14	13	2	0	3	0	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	14	13	2	0	3	0	8	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	27	25	1	3	7	3	11	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
聾	11	11	0	2	1	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	16	14	1	1	6	0	6	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	42	39	1	7	6	1	24	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	14	14	0	3	1	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	16	15	0	1	5	0	9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	11	9	1	3	0	1	4	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	160	151	7	36	30	15	63	7	1	1	4	1	0	2	0	0	1	0	1
内部障害等	111	107	4	29	25	10	39	3	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0
他の慢性疾患	49	44	3	7	5	5	24	4	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0	1
重複	58	57	3	18	13	7	16	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
発達障害	729	690	17	214	216	43	200	30	0	6	9	5	10	9	0	2	2	2	3
SLD	7	7	0	1	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	256	242	1	91	74	16	60	8	0	3	1	2	2	6	0	1	2	1	2
ASD	319	299	12	75	105	12	95	17	0	3	6	3	5	3	0	1	0	1	1
発達障害の重複	147	142	4	47	35	14	42	5	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0
その他の障害	115	107	2	27	47	3	28	5	0	0	4	1	0	3	0	1	1	0	1

5. 支援障害学生在籍学校数

(1) 障害種別・学校種別

○支援障害学生が在籍している学校は877校。障害種別の支援障害学生の在籍校は、多い順に「精神障害」709校、「発達障害」679校、「病弱・虚弱」596校。

表5-1 支援障害学生在籍学校数 [障害種別・学校種別]

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
計	877	647	174	56
視覚障害	227	205	12	10
盲	49	49	0	0
弱視	210	188	12	10
聴覚・言語障害	414	360	35	19
聾	95	88	7	0
難聴	381	333	29	19
言語障害のみ	21	19	1	1
肢体不自由	398	350	28	20
上肢機能障害	96	88	6	2
下肢機能障害	227	203	13	11
上下肢機能障害	195	180	9	6
他の機能障害	124	116	6	2
病弱・虚弱	596	468	89	39
内部障害等	543	437	68	38
他の慢性疾患	398	325	49	24
重複	121	113	6	2
発達障害	679	527	100	52
SLD	138	120	7	11
ADHD	494	412	43	39
ASD	548	437	65	46
発達障害の重複	376	309	28	39
精神障害	709	545	122	42
統合失調症等	240	224	15	1
気分障害	473	400	52	21
神経症性障害等	564	458	82	24
摂食障害・睡眠障害等	270	233	27	10
他の精神障害	487	401	59	27
その他の障害	484	383	66	35
全体の学校数	1,174	813	304	57

(2) 学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別

○全学校数(1,174校)に占める支援障害学生在籍校(877校)の割合は74.7%。支援障害学生在籍者数別で見ると、多い順に「21人以上」337校、「0人」297校、「2~5人」182校。

表5-2 支援障害学生在籍学校数 [学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校) 学校数	支援障害 学生在籍 率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11~20人	支援 障害学生 6~10人	支援 障害学生 2~5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
計	877	74.7	337	143	129	182	86	297	1,174
大学	647	79.6	312	110	73	102	50	166	813
短期大学	174	57.2	7	19	44	70	34	130	304
高等専門学校	56	98.2	18	14	12	10	2	1	57

表5-3 支援障害学生在籍学校数 [学生数別・学校種別・支援障害学生在籍者数別]

	支援障害 学生在籍 (校) 学校数	支援障害 学生在籍 率(%)	支援 障害学生 21人以上	支援 障害学生 11~20人	支援 障害学生 6~10人	支援 障害学生 2~5人	支援 障害学生 1人	支援 障害学生 0人	全体の 学校数
10,000人以上	66	95.7	64	1	0	1	0	3	69
大学	66	95.7	64	1	0	1	0	3	69
短期大学	0	-	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
5,000~9,999人	103	95.4	86	11	2	2	2	5	108
大学	102	95.3	86	11	2	2	1	5	107
短期大学	1	100.0	0	0	0	0	1	0	1
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
2,000~4,999人	172	91.0	100	39	17	13	3	17	189
大学	172	92.5	100	39	17	13	3	14	186
短期大学	0	0.0	0	0	0	0	0	3	3
高等専門学校	0	-	0	0	0	0	0	0	0
1,000~1,999人	191	83.0	54	47	34	40	16	39	230
大学	156	80.4	41	38	27	36	14	38	194
短期大学	4	80.0	1	1	0	1	1	1	5
高等専門学校	31	100.0	12	8	7	3	1	0	31
500~999人	145	73.2	23	26	38	43	15	53	198
大学	86	68.3	14	16	20	26	10	40	126
短期大学	34	72.3	3	4	13	10	4	13	47
高等専門学校	25	100.0	6	6	5	7	1	0	25
1~499人	200	52.6	10	19	38	83	50	180	380
大学	65	49.6	7	5	7	24	22	66	131
短期大学	135	54.4	3	14	31	59	28	113	248
高等専門学校	0	0.0	0	0	0	0	0	1	1

(注1) 支援障害学生在籍校:支援障害学生が在籍している学校数

(注2) 支援障害学生在籍率:支援障害学生在籍学校数÷全体の学校数×100(%)

6. 支援の実施状況

(1) 障害種別・学校種別

○障害学生への授業に関する支援を実施している学校は852校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「精神障害」663校、「発達障害」629校、「病弱・虚弱」552校。

○障害学生への授業以外の支援を実施している学校は701校で、支援実施状況を障害種別に見ると、多い順に「発達障害」530校、「精神障害」523校、「病弱・虚弱」401校。

表6-1 授業支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		852	637	161	54
視覚障害		216	196	11	9
聴覚・言語障害		396	345	32	19
肢体不自由		371	332	21	18
病弱・虚弱		552	441	79	32
重複		114	107	5	2
発達障害		629	498	84	47
精神障害		663	516	112	35
その他の障害		441	356	55	30

(注) 複数回答あり

表6-2 授業以外の支援実施状況 [障害種別・学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
実施校数		701	535	115	51
視覚障害		111	106	2	3
聴覚・言語障害		186	165	14	7
肢体不自由		270	242	18	10
病弱・虚弱		401	328	44	29
重複		88	84	2	2
発達障害		530	422	62	46
精神障害		523	422	68	33
その他の障害		295	239	33	23

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
ア 授業支援(総表)

表6-3 授業支援実施状況[支援内容別・障害種別](総表)

	1 実施 校数	2 点 訳・ 墨 訳	3 教 材 の テ キ ス ト デ ー タ 化	4 教 材 の 拡 大	5 ガ イ ド ヘ ル プ	6 リ ー デ ィ ン グ サ ー ビ ス	7 手 話 通 訳	8 ノ ー ト テ ィ ク	9 パ ソ コ ン テ ィ ク	10 ビ デ オ 教 材 字 幕 付 け ・ 文 字 起 こ し	11 グ ・ ア シ ス タ ン ト の 活 用	12 テ ィ チ ン	13 試 験 時 間 延 長 ・ 別 室 受 験	14 解 答 方 法 配 慮	15 パ ソ コ ン の 持 込 使 用 許 可	16 注 意 事 項 等 文 書 伝 達
計	852	33	149	197	38	19	55	143	113	129	90	376	249	252	358	
視覚障害	216	31	81	109	22	13	0	10	5	4	18	99	69	71	31	
盲	47	26	38	6	17	9	0	3	2	3	12	27	28	25	7	
弱視	196	5	57	107	9	7	0	7	3	1	6	82	47	56	25	
聴覚・言語障害	396	—	27	1	2	1	55	113	98	119	17	32	36	35	149	
聾	90	—	7	1	1	1	30	52	44	49	8	1	9	11	48	
難聴	364	—	21	1	2	0	34	82	73	95	12	30	26	27	128	
言語障害のみ	17	—	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0	
肢体不自由	371	—	17	26	12	1	—	26	8	2	15	121	80	71	31	
上肢機能障害	80	—	2	3	1	0	—	2	0	0	1	20	16	11	3	
下肢機能障害	201	—	1	4	2	0	—	0	0	0	3	19	5	8	8	
上下肢機能障害	183	—	13	14	7	1	—	20	7	2	7	78	48	44	17	
他の機能障害	110	—	7	11	5	0	—	8	1	0	6	40	24	20	6	
病弱・虚弱	552	—	22	21	6	1	—	17	3	6	16	102	36	40	69	
内部障害等	498	—	17	17	6	1	—	12	1	5	13	85	27	35	54	
他の慢性疾患	342	—	5	5	0	0	—	5	2	1	5	29	14	8	30	
重複	114	3	11	18	4	0	3	12	8	11	12	34	25	18	17	
発達障害	629	—	34	52	2	3	—	15	11	9	40	176	129	134	260	
SLD	128	—	11	16	1	1	—	2	3	1	4	40	36	37	11	
ADHD	435	—	13	5	1	0	—	5	6	3	22	59	33	42	142	
ASD	497	—	12	17	0	1	—	4	3	4	27	103	53	58	186	
発達障害の重複	333	—	14	19	1	1	—	9	3	2	14	78	54	67	126	
精神障害	663	—	16	8	3	1	—	8	4	8	24	199	57	35	129	
統合失調症等	194	—	1	1	1	0	—	0	0	2	5	17	4	6	23	
気分障害	411	—	7	2	1	0	—	3	2	0	8	60	11	7	43	
神経症性障害等	519	—	4	3	1	0	—	1	1	2	8	118	22	10	62	
摂食障害・睡眠障害等	209	—	0	0	0	0	—	0	0	0	3	11	4	4	16	
他の精神障害	433	—	8	6	3	1	—	4	1	4	11	92	37	21	77	
その他の障害	441	—	5	21	0	1	—	5	3	4	4	82	23	18	41	

(注) 複数回答あり

	15 実施校数	15 使用教室 配慮	16 実技・実習 配慮	17 教室内座席 配慮	18 FM補聴器・ マイク使用	19 専用机・イス・ スペース確保	20 読み上げソフト・ 音声認識ソフト 使用	21 講義に関する 配慮	22 配慮依頼文書の 配付	23 出席に関する 配慮	24 学習指導	25 授業内容の代替、 提出期限延長等	26 履修支援	27 学外実習・ フィールドワーク 配慮	28 その他
(校)															
計	852	255	440	607	214	223	150	446	600	584	344	479	289	270	432
視覚障害	216	19	58	120	—	21	40	103	162	27	17	41	39	20	86
盲	47	6	12	15	—	7	24	16	33	7	7	17	21	5	16
弱視	196	15	48	110	—	17	21	93	145	20	10	30	21	16	80
聴覚・言語障害	396	27	91	239	210	13	101	98	285	22	20	57	38	46	133
聾	90	9	20	50	36	4	46	18	67	2	6	18	11	11	21
難聴	364	22	74	215	190	10	75	87	258	18	15	40	31	38	123
言語障害のみ	17	0	2	3	0	0	1	1	15	2	0	4	0	0	5
肢体不自由	371	124	169	219	—	157	6	104	269	159	16	89	37	76	91
上肢機能障害	80	5	38	15	—	5	1	11	57	10	1	16	3	10	12
下肢機能障害	201	61	81	105	—	70	2	15	130	78	4	23	9	31	39
上下肢機能障害	183	66	66	117	—	85	2	71	143	89	9	45	19	41	41
他の機能障害	110	24	31	47	—	38	1	30	83	45	3	25	11	15	32
病弱・虚弱	552	70	214	221	—	64	12	105	412	365	84	218	67	108	207
内部障害等	498	57	183	197	—	49	10	83	370	332	65	186	59	86	173
他の慢性疾患	342	18	78	78	—	18	2	37	261	165	26	91	26	40	115
重複	114	21	40	57	12	26	9	36	94	58	9	41	13	21	42
発達障害	629	44	156	264	—	14	22	320	476	331	251	344	207	81	284
SLD	128	3	8	13	—	1	6	45	89	6	16	27	7	3	30
ADHD	435	12	44	90	—	4	7	168	336	208	122	230	111	26	155
ASD	497	27	102	179	—	4	8	210	398	234	160	251	147	47	205
発達障害の重複	333	12	65	101	—	6	6	149	259	142	96	165	93	24	136
精神障害	663	53	168	342	—	17	11	196	485	448	177	346	151	123	312
統合失調症等	194	5	12	40	—	1	1	26	162	114	26	97	36	9	61
気分障害	411	17	52	106	—	4	1	69	316	279	81	239	70	48	158
神経症性障害等	519	25	100	263	—	9	4	93	395	336	95	250	85	64	219
摂食障害・睡眠障害等	209	1	23	28	—	1	0	24	162	125	21	94	19	8	65
他の精神障害	433	19	68	145	—	4	8	111	319	240	72	201	65	37	194
その他の障害	441	17	97	228	—	17	6	59	320	255	46	155	39	48	173

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 イ 授業以外の支援 (総表)

表6-4 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (総表)

	実施校数	学生生活支援	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援	社会的スキル指導	5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	保健管理・生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	進路・就職指導	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の提供、支援機	17 インターシップ先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援	その他
計	701	429	234	215	150	171	379	303	264	130	590	483	282	93	306	50	129	340	204	189	267	93	218	254
視覚障害	111	50	20	9	23	21	8	6	5	3	36	19	5	1	11	0	9	54	21	32	37	13	26	25
盲	34	22	8	4	11	11	2	2	2	2	11	3	1	0	2	0	8	16	4	9	11	4	6	5
弱視	98	33	13	6	13	12	7	5	4	2	27	17	5	1	9	0	2	51	19	30	34	12	23	22
聴覚・言語障害	186	58	18	7	27	17	21	14	9	5	73	59	6	0	10	0	7	95	53	52	71	25	50	37
聾	47	14	7	1	7	4	6	5	3	1	12	9	1	0	2	0	1	35	19	22	26	12	17	13
難聴	164	49	14	6	24	14	16	10	7	5	63	49	6	0	8	0	7	78	40	40	58	18	39	28
言語障害のみ	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	6	4	0	0	1	0	1	3	2	2	2	0	1	1
肢体不自由	270	167	41	145	32	14	33	13	9	16	145	48	13	10	63	36	78	109	53	70	77	22	57	80
上肢機能障害	49	13	4	6	4	1	2	2	1	1	14	9	1	0	1	0	3	23	6	18	13	5	10	7
下肢機能障害	151	85	10	75	11	2	7	2	3	2	46	19	5	6	17	4	17	50	22	31	39	9	23	38
上下肢機能障害	143	80	19	67	17	10	16	6	4	8	82	20	3	5	34	23	47	67	34	45	51	13	31	42
他の機能障害	79	41	14	34	7	2	10	3	2	5	42	14	4	0	17	12	26	30	17	21	23	11	18	19
病弱・虚弱	401	140	44	78	32	23	73	44	37	22	310	169	84	61	152	14	38	117	52	61	86	28	75	134
内部障害等	356	123	34	72	26	17	51	30	25	12	267	134	63	47	127	14	36	101	45	55	74	23	61	112
他の慢性疾患	226	54	16	19	18	8	34	22	16	14	152	84	42	18	58	2	7	57	22	28	42	15	33	72
重複	88	34	8	19	14	11	17	11	11	4	65	36	10	7	18	6	16	34	12	23	27	10	13	20
発達障害	530	253	140	13	85	123	321	266	220	80	421	387	154	13	118	0	10	250	152	125	199	58	141	117
SLD	64	13	3	1	8	2	19	14	7	3	36	32	9	0	3	0	1	25	11	11	15	4	12	2
ADHD	370	117	58	3	36	50	207	184	91	41	284	262	86	6	41	0	1	131	77	60	94	28	67	64
ASD	426	187	103	9	60	85	235	178	164	44	334	304	100	7	84	0	8	195	119	97	159	37	99	97
発達障害の重複	290	113	57	2	32	59	162	129	101	35	229	212	67	6	39	0	2	113	72	50	88	23	53	44
精神障害	523	200	134	27	50	61	202	139	139	68	456	390	200	14	148	0	20	180	106	70	133	35	104	130
統合失調症等	176	37	21	4	8	11	44	24	27	15	138	115	49	3	27	0	3	55	26	21	36	10	24	36
気分障害	342	92	56	10	19	32	114	78	71	44	292	265	109	6	52	0	3	104	60	37	70	20	53	62
神経症性障害等	396	106	66	12	25	29	123	81	81	34	342	296	114	6	90	0	9	106	56	38	72	17	61	64
摂食障害・睡眠障害等	160	27	17	3	5	5	33	21	8	15	139	120	52	0	23	0	0	39	16	17	26	7	19	29
他の精神障害	320	89	52	8	25	19	103	69	62	28	258	217	91	1	59	0	10	99	53	43	73	21	51	75
その他の障害	295	73	36	22	15	11	57	38	21	14	211	163	40	3	61	0	2	71	26	36	45	16	41	66

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 ウ 授業支援(大学)

表6-5 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (大学)

	実施校数	1 点 訳 ・ 墨 訳	2 教 材 の テ キ ス ト デ ー タ 化	3 教 材 の 拡 大	4 ガ イ ド ヘ ル プ	5 リ ー デ ィ ン グ サ ー ビ ス	6 手 話 通 訳	7 ノ ー ト テ ィ ク	8 パ ソ コ ン テ ィ ク	9 ビ デ オ 教 材 字 幕 付 け ・ 文 字 起 こ し	10 チ ュ ー ア シ ス タ ー 又 は テ ィ ー チ ン の 活 用	11 試 験 時 間 延 長 ・ 別 室 受 験	12 解 答 方 法 配 慮	13 パ ソ コ ン の 持 込 使 用 許 可	14 注 意 事 項 等 文 書 伝 達	
(校)																
計	637	33	140	179	38	18	53	138	107	124	80	323	226	231	310	
視覚障害	196	31	78	104	22	13	0	9	4	4	17	97	68	69	31	
盲	47	26	38	6	17	9	0	3	2	3	12	27	28	25	7	
弱視	176	5	54	102	9	7	0	6	2	1	5	80	46	54	25	
聴覚・言語障害	345	—	25	1	2	1	53	110	94	115	16	30	34	32	141	
聾	83	—	6	1	1	1	28	51	42	47	8	1	9	10	45	
難聴	319	—	20	1	2	0	32	80	71	93	11	29	25	26	123	
言語障害のみ	15	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
肢体不自由	332	—	17	26	12	1	—	25	8	2	12	113	77	67	28	
上肢機能障害	75	—	2	3	1	0	—	2	0	0	1	19	16	11	2	
下肢機能障害	180	—	1	4	2	0	—	0	0	0	2	19	4	8	7	
上下肢機能障害	170	—	13	14	7	1	—	19	7	2	5	72	47	41	16	
他の機能障害	103	—	7	11	5	0	—	8	1	0	6	38	23	19	6	
病弱・虚弱	441	—	21	18	6	1	—	17	3	6	15	91	34	38	59	
内部障害等	409	—	17	15	6	1	—	12	1	5	12	76	26	33	49	
他の慢性疾患	286	—	4	4	0	0	—	5	2	1	4	27	12	7	23	
重複	107	3	10	18	4	0	3	12	8	10	12	34	25	17	16	
発達障害	498	—	31	44	2	2	—	15	10	9	35	152	114	123	225	
SLD	113	—	10	14	1	1	—	2	3	1	2	36	32	34	9	
ADHD	372	—	12	5	1	0	—	5	6	3	20	54	31	39	131	
ASD	401	—	11	14	0	1	—	4	2	4	23	86	48	52	162	
発達障害の重複	282	—	13	15	1	0	—	9	3	2	12	69	49	61	116	
精神障害	516	—	16	6	3	1	—	7	3	8	22	175	54	32	120	
統合失調症等	180	—	1	1	1	0	—	0	0	2	5	17	4	6	19	
気分障害	351	—	7	2	1	0	—	3	2	0	7	55	11	6	40	
神経症性障害等	429	—	4	3	1	0	—	1	1	2	6	107	22	9	59	
摂食障害・睡眠障害等	188	—	0	0	0	0	—	0	0	0	2	10	4	3	16	
他の精神障害	364	—	8	4	3	1	—	3	0	4	10	83	34	18	71	
その他の障害	356	—	5	19	0	1	—	5	3	4	3	71	22	17	38	

(注) 複数回答あり

	15 実施校数	15 使用教室 配慮	16 実技・実習 配慮	17 教室内座席 配慮	18 FM補聴器・ マイク使用	19 専用机・イス・ スペース確保	20 読み上げソフト・ 音声認識ソフト 使用	21 講義に関する 配慮	22 配慮依頼文書の 配付	23 出席に関する 配慮	24 学習指導	25 授業内容の代替、 提出期限延長 等	26 履修支援	27 学外実習・ フィールドワーク 配慮	28 その他
(校)															
計	637	217	350	468	195	207	141	382	482	474	277	397	257	226	353
視覚障害	196	17	51	106	—	21	39	101	153	26	17	41	39	17	79
盲	47	6	12	15	—	7	24	16	33	7	7	17	21	5	16
弱視	176	13	41	96	—	17	20	91	136	19	10	30	21	13	73
聴覚・言語障害	345	24	77	204	192	13	94	94	261	19	19	52	37	40	122
聾	83	7	18	45	35	4	41	17	63	2	6	17	10	10	20
難聴	319	20	62	183	173	10	71	84	237	15	14	36	31	33	113
言語障害のみ	15	0	1	3	0	0	1	1	14	2	0	4	0	0	4
肢体不自由	332	115	147	200	—	146	6	98	252	149	12	84	36	69	86
上肢機能障害	75	4	35	14	—	5	1	11	55	10	1	16	3	10	12
下肢機能障害	180	57	69	97	—	66	2	15	124	74	2	22	9	29	37
上下肢機能障害	170	64	59	112	—	80	2	67	135	86	8	44	18	38	39
他の機能障害	103	21	28	42	—	36	1	28	78	41	2	22	11	13	31
病弱・虚弱	441	61	172	193	—	60	12	96	356	311	67	199	60	87	191
内部障害等	409	49	148	175	—	46	10	78	328	289	55	172	54	70	163
他の慢性疾患	286	16	59	69	—	17	2	33	234	150	19	84	21	30	106
重複	107	21	38	54	11	26	9	36	89	57	9	41	13	19	40
発達障害	498	35	120	215	—	12	21	282	404	299	203	303	189	73	236
SLD	113	1	4	9	—	1	6	43	82	6	14	23	6	1	25
ADHD	372	10	30	75	—	3	7	157	308	199	104	217	108	25	135
ASD	401	21	82	147	—	4	8	187	340	213	130	222	134	41	182
発達障害の重複	282	8	54	88	—	5	5	139	235	133	80	153	89	21	117
精神障害	516	41	144	282	—	17	11	176	414	379	150	307	137	103	264
統合失調症等	180	5	12	37	—	1	1	25	151	109	23	93	33	9	57
気分障害	351	15	47	93	—	4	1	62	288	253	74	221	68	45	144
神経症性障害等	429	18	91	224	—	9	4	88	345	292	88	230	81	54	189
摂食障害・睡眠障害等	188	0	17	26	—	1	0	22	153	118	19	89	19	5	58
他の精神障害	364	15	57	127	—	4	8	104	292	219	59	188	58	30	173
その他の障害	356	14	73	193	—	17	6	53	285	226	34	134	36	38	149

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

エ 授業以外の支援(大学)

表6-6 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別](大学)

	実施校数	学生生活支援	1居場所の確保	2通学支援	3個別支援情報の収集	4情報取得支援	社会的スキル指導	5自己管理指導	6対人関係配慮	7日常生活支援	保健管理・生活支援	8専門家によるカウンセリング	9医療機関との連携	10医療機器、薬剤の保管等	11休憩室・治療室の確保等	12生活介助	13介助者の入構、入室許可	進路・就職指導	14キャリア教育	15障害学生向け求人情報の提供	16就職支援情報の提供、支援	17インターシップ先の開拓	18就職先の開拓、就職活動支援	その他
(校)																								
計	535	359	192	201	120	151	303	255	212	104	470	388	237	78	252	48	122	277	176	167	228	81	181	206
視覚障害	106	49	20	9	22	21	7	6	4	3	33	17	4	1	11	0	9	53	21	32	37	12	26	23
盲	34	22	8	4	11	11	2	2	2	2	11	3	1	0	2	0	8	16	4	9	11	4	6	5
弱視	93	32	13	6	12	12	6	5	3	2	24	15	4	1	9	0	2	50	19	30	34	11	23	20
聴覚・言語障害	165	51	17	6	23	15	20	14	9	4	67	53	6	0	10	0	7	85	46	48	66	22	43	35
聾	44	12	7	0	6	3	6	5	3	1	12	9	1	0	2	0	1	33	18	21	25	11	16	13
難聴	146	44	13	6	21	13	15	10	7	4	58	44	6	0	8	0	7	70	35	37	53	16	33	26
言語障害のみ	7	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	1	0	1	2	1	1	2	0	1	0
肢体不自由	242	157	37	136	29	14	29	13	9	12	134	44	11	9	58	34	73	100	50	64	71	21	50	70
上肢機能障害	45	12	3	6	3	1	2	2	1	1	13	8	1	0	1	0	3	20	6	16	12	5	8	7
下肢機能障害	140	81	9	71	11	2	5	2	3	0	42	17	5	5	15	4	15	48	21	29	37	9	22	33
上下肢機能障害	135	78	18	65	16	10	15	6	4	7	79	19	2	5	33	22	45	63	32	43	48	12	27	39
他の機能障害	72	38	13	31	6	2	9	3	2	4	38	14	3	0	15	11	25	30	17	21	23	11	18	17
病弱・虚弱	328	120	34	74	23	22	58	36	29	19	261	147	68	52	128	14	38	106	47	58	79	27	68	110
内部障害等	297	108	26	69	20	17	42	27	19	12	228	117	51	40	108	14	36	91	41	52	67	22	54	93
他の慢性疾患	188	46	14	18	13	7	27	17	13	11	130	76	35	14	49	2	7	55	21	27	41	15	33	57
重複	84	33	8	18	14	11	17	11	11	4	62	34	9	6	18	6	16	33	12	23	27	10	12	18
発達障害	422	210	115	13	67	109	264	227	177	67	345	318	134	9	98	0	9	209	133	113	174	51	119	99
SLD	53	11	3	1	6	2	17	13	6	3	26	24	6	0	1	0	1	24	10	11	15	4	12	2
ADHD	315	105	52	3	30	48	183	164	78	38	242	223	77	4	34	0	1	121	73	59	90	26	61	57
ASD	342	156	83	9	51	74	192	149	134	38	279	253	86	5	67	0	7	163	104	85	139	32	83	82
発達障害の重複	241	96	48	2	22	56	139	113	87	30	187	173	57	4	31	0	2	99	64	49	80	22	49	38
精神障害	422	169	108	26	42	57	178	129	123	59	376	322	174	12	123	0	19	161	97	67	124	35	94	110
統合失調症等	165	34	19	4	8	10	40	22	25	13	129	107	46	2	26	0	3	54	26	21	35	10	24	34
気分障害	300	85	49	10	19	32	107	76	68	42	259	234	97	6	47	0	3	99	57	37	69	20	51	55
神経症性障害等	333	92	54	11	23	27	114	79	76	31	291	253	103	6	73	0	8	95	50	37	68	17	55	59
摂食障害・睡眠障害等	136	22	14	3	4	4	28	20	6	12	120	105	47	0	18	0	0	37	15	17	26	7	18	25
他の精神障害	273	77	43	8	19	19	92	62	54	26	224	188	84	0	47	0	10	90	48	40	69	21	48	65
その他の障害	239	59	27	22	10	8	44	30	18	10	172	133	27	3	52	0	2	61	22	30	38	15	35	57

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 オ 授業支援(短期大学)

表6-7 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	実施校数	1 点 訳 ・ 墨 訳	2 教 材 の テ キ ス ト デ ー タ 化	3 教 材 の 拡 大	4 ガ イ ド ヘ ル プ	5 リ ー デ ィ ン グ サ ー ビ ス	6 手 話 通 訳	7 ノ ー ト テ ィ ク	8 パ ソ コ ン テ ィ ク	9 ビ デ オ 教 材 字 幕 付 け ・ 文 字 起 こ し	10 チ ュ ー ア ー 又 は テ ィ ー チ ン グ ・ ア シ ス タ ン ト の 活 用	11 試 験 時 間 延 長 ・ 別 室 受 験	12 解 答 方 法 配 慮	13 パ ソ コ ン の 持 込 使 用 許 可	14 注 意 事 項 等 文 書 伝 達
(校)															
計	161	0	8	10	0	0	2	5	5	5	6	26	10	13	32
視覚障害	11	0	2	3	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	0	2	3	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	0
聴覚・言語障害	32	—	2	0	0	0	2	3	4	4	1	1	1	3	7
聾	7	—	1	0	0	0	2	1	2	2	0	0	0	1	3
難聴	26	—	1	0	0	0	2	2	2	2	1	0	0	1	4
言語障害のみ	1	—	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	1	0
肢体不自由	21	—	0	0	0	0	—	1	0	0	2	5	0	2	2
上肢機能障害	4	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	1	0	0	1
下肢機能障害	10	—	0	0	0	0	—	0	0	0	1	0	0	0	1
上下肢機能障害	8	—	0	0	0	0	—	1	0	0	1	4	0	2	0
他の機能障害	5	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	1	0	0	0
病弱・虚弱	79	—	1	2	0	0	—	0	0	0	0	6	1	1	6
内部障害等	57	—	0	1	0	0	—	0	0	0	0	4	0	1	2
他の慢性疾患	41	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	2	1	0	5
重複	5	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
発達障害	84	—	3	3	0	0	—	0	0	0	2	10	6	5	22
SLD	6	—	1	2	0	0	—	0	0	0	0	1	2	1	1
ADHD	31	—	1	0	0	0	—	0	0	0	1	0	0	0	6
ASD	57	—	1	1	0	0	—	0	0	0	1	9	4	3	16
発達障害の重複	22	—	1	1	0	0	—	0	0	0	0	1	0	2	5
精神障害	112	—	0	2	0	0	—	1	1	0	0	8	2	2	9
統合失調症等	13	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	4
気分障害	47	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	1	0	0	3
神経症性障害等	73	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	4	0	0	3
摂食障害・睡眠障害等	15	—	0	0	0	0	—	0	0	0	0	1	0	0	0
他の精神障害	48	—	0	2	0	0	—	1	1	0	0	3	2	2	6
その他の障害	55	—	0	1	0	0	—	0	0	0	0	4	0	0	1

(注) 複数回答あり

	15 使用教室 配慮 実施 校数	16 実技・実習 配慮	17 教室内 座席 配慮	18 FM 補聴器・ マイク 使用	19 専用機・ イス・ スぺース 確保	20 読み上げ ソフト・ 音声認識 ソフト 使用	21 講義に 関する 配慮	22 配慮 依頼 文書の 配付	23 出席に 関する 配慮	24 学習 指導	25 授業 内容の 代替、 提出 期限 延	26 履修 支援	27 学外 実習・ フィー ルド ワー ク 配慮	28 その 他	
(校)															
計	161	24	56	95	8	8	7	45	88	80	34	50	29	32	51
視覚障害	11	2	3	5	—	0	0	1	7	1	0	0	0	2	4
盲	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	11	2	3	5	—	0	0	1	7	1	0	0	0	2	4
聴覚・言語障害	32	2	8	23	7	0	7	3	20	3	1	5	1	4	8
聾	7	2	2	5	1	0	5	1	4	0	0	1	1	1	1
難聴	26	1	6	20	6	0	4	2	17	3	1	4	0	3	7
言語障害のみ	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	21	5	8	9	—	5	0	3	11	5	0	3	1	2	4
上肢機能障害	4	1	2	1	—	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	10	3	5	2	—	1	0	0	4	1	0	0	0	0	1
上下肢機能障害	8	1	2	3	—	3	0	3	5	2	0	1	1	1	2
他の機能障害	5	1	1	3	—	1	0	0	4	3	0	2	0	1	1
病弱・虚弱	79	4	23	19	—	3	0	9	43	37	9	11	6	15	9
内部障害等	57	3	17	13	—	3	0	5	33	28	5	7	4	11	5
他の慢性疾患	41	1	13	7	—	0	0	4	19	11	4	5	4	7	6
重複	5	0	1	2	1	0	0	0	4	1	0	0	0	2	1
発達障害	84	3	16	30	—	1	0	26	46	19	21	20	16	5	29
SLD	6	0	2	1	—	0	0	2	2	0	1	2	1	1	1
ADHD	31	0	8	7	—	1	0	6	15	4	8	3	3	0	10
ASD	57	2	8	19	—	0	0	17	36	14	11	13	12	4	16
発達障害の重複	22	1	3	4	—	0	0	5	10	6	3	4	3	0	9
精神障害	112	10	19	49	—	0	0	14	59	54	19	27	13	17	34
統合失調症等	13	0	0	3	—	0	0	1	10	5	3	4	3	0	4
気分障害	47	2	5	10	—	0	0	5	24	22	3	13	2	2	12
神経症性障害等	73	5	7	32	—	0	0	4	45	35	3	12	3	8	22
摂食障害・睡眠障害等	15	0	5	1	—	0	0	2	6	7	1	2	0	2	4
他の精神障害	48	3	7	15	—	0	0	4	19	15	10	8	7	5	13
その他の障害	55	1	14	20	—	0	0	4	26	19	3	9	2	8	12

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別
 カ 授業以外の支援(短期大学)

表6-8 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (短期大学)

	実施校数	学生生活支援	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援	社会的スキル指導	5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	保健管理・生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	進路・就職指導	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の提供、支援機	17 インターネット先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援	その他
計	115	42	23	9	16	11	40	21	25	16	76	55	22	4	30	1	4	45	21	17	29	9	26	27
視覚障害	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
聴覚・言語障害	14	3	0	1	1	2	1	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	10	7	4	5	3	7	0
聾	3	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	0
難聴	11	1	0	0	0	1	1	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	8	5	3	5	2	6	0
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0
肢体不自由	18	7	2	6	3	0	2	0	0	2	5	0	1	1	2	1	2	7	2	5	4	1	5	5
上肢機能障害	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0	2	0
下肢機能障害	6	3	0	3	0	0	1	0	0	1	2	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1
上下肢機能障害	5	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3	1	2	2	1	3	2	2
他の機能障害	6	2	1	2	1	0	1	0	0	1	3	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
病弱・虚弱	44	11	6	3	4	1	10	4	6	3	25	9	8	1	14	0	0	10	5	3	6	1	6	7
内部障害等	34	8	5	3	2	0	6	1	5	0	18	7	5	1	9	0	0	9	4	3	6	1	6	5
他の慢性疾患	18	4	1	0	2	1	5	3	2	3	10	4	3	0	6	0	0	2	1	1	1	0	0	3
重複	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
発達障害	62	18	8	0	5	6	23	13	18	6	37	32	4	1	7	0	1	26	12	8	18	4	15	9
SLD	4	1	0	0	1	0	1	0	1	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ADHD	23	3	3	0	0	0	6	4	3	2	14	12	1	0	2	0	0	5	3	1	2	1	4	1
ASD	44	12	6	0	1	6	16	9	13	3	24	21	3	1	5	0	1	20	9	8	14	3	10	8
発達障害の重複	16	5	1	0	3	1	4	1	3	2	12	10	1	0	3	0	0	4	2	0	3	0	2	1
精神障害	68	21	16	1	6	4	18	8	11	7	50	41	12	1	16	0	1	17	8	3	9	0	9	10
統合失調症等	10	3	2	0	0	1	4	2	2	2	8	7	2	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
気分障害	21	5	5	0	0	0	4	2	1	1	14	13	4	0	3	0	0	4	2	0	1	0	2	3
神経症性障害等	43	9	7	1	2	2	8	2	4	3	33	26	4	0	11	0	1	9	5	1	4	0	5	2
摂食障害・睡眠障害等	17	5	3	0	1	1	3	0	2	2	13	11	2	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	3
他の精神障害	30	8	5	0	4	0	8	5	6	2	20	16	3	0	8	0	0	8	4	3	4	0	3	3
その他の障害	33	8	6	0	1	1	7	5	1	2	18	13	4	0	4	0	0	9	3	6	7	1	6	3

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

キ 授業支援(高等専門学校)

表6-9 授業支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	1 実施校数	2 点訳・墨訳	3 教材の拡大	4 教材の拡大	5 ガイドヘルプ	6 リーディングサービス	7 手話通訳	8 ノートテイク	9 パソコンテイク	10 ビデオ教材字幕付け・文字起こし	11 オーディオ教材字幕付け・文字起こし	12 試験時間延長・別室受験	13 解答方法配慮	14 パソコンの持込使用許可	15 注意事項等文書伝達
(校)															
計	54	0	1	8	0	1	0	0	1	0	4	27	13	8	16
視覚障害	9	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	9	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
聴覚・言語障害	19	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
聾	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	19	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1
言語障害のみ	1	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	18	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	3	3	2	1
上肢機能障害	1	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	11	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	1	0	0
上下肢機能障害	5	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	2	1	1	1
他の機能障害	2	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	1	1	1	0
病弱・虚弱	32	-	0	1	0	0	-	0	0	0	1	5	1	1	4
内部障害等	32	-	0	1	0	0	-	0	0	0	1	5	1	1	3
他の慢性疾患	15	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	1	1	2
重複	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
発達障害	47	-	0	5	0	1	-	0	1	0	3	14	9	6	13
SLD	9	-	0	0	0	0	-	0	0	0	2	3	2	2	1
ADHD	32	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	5	2	3	5
ASD	39	-	0	2	0	0	-	0	1	0	3	8	1	3	8
発達障害の重複	29	-	0	3	0	1	-	0	0	0	2	8	5	4	5
精神障害	35	-	0	0	0	0	-	0	0	0	2	16	1	1	0
統合失調症等	1	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0	0	0	0
気分障害	13	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	4	0	1	0
神経症性障害等	17	-	0	0	0	0	-	0	0	0	2	7	0	1	0
摂食障害・睡眠障害等	6	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	0	0	1	0
他の精神障害	21	-	0	0	0	0	-	0	0	0	1	6	1	1	0
その他の障害	30	-	0	1	0	0	-	0	0	0	1	7	1	1	2

(注) 複数回答あり

	15 実施校数	15 使用教室 配慮	16 実技・実習 配慮	17 教室内座席 配慮	18 FM補聴器・ マイク使用	19 専用機・イス・ スペース確保	20 読み上げソフ ト・音声認識ソ	21 講義に関する 配慮	22 配慮依頼文書の 配付	23 出席に関する 配慮	24 学習指導	25 授業内容の代替、 提出期限延 長等	26 履修支援	27 学外実習・フイ ールドワーク 配慮	28 その他
(校)															
計	54	14	34	44	11	8	2	19	30	30	33	32	3	12	28
視覚障害	9	0	4	9	—	0	1	1	2	0	0	0	0	1	3
盲	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	9	0	4	9	—	0	1	1	2	0	0	0	0	1	3
聴覚・言語障害	19	1	6	12	11	0	0	1	4	0	0	0	0	2	3
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	19	1	6	12	11	0	0	1	4	0	0	0	0	2	3
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
肢体不自由	18	4	14	10	—	6	0	3	6	5	4	2	0	5	1
上肢機能障害	1	0	1	0	—	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	11	1	7	6	—	3	0	0	2	3	2	1	0	2	1
上下肢機能障害	5	1	5	2	—	2	0	1	3	1	1	0	0	2	0
他の機能障害	2	2	2	2	—	1	0	2	1	1	1	1	0	1	0
病弱・虚弱	32	5	19	9	—	1	0	0	13	17	8	8	1	6	7
内部障害等	32	5	18	9	—	0	0	0	9	15	5	7	1	5	5
他の慢性疾患	15	1	6	2	—	1	0	0	8	4	3	2	1	3	3
重複	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
発達障害	47	6	20	19	—	1	1	12	26	13	27	21	2	3	19
SLD	9	2	2	3	—	0	0	0	5	0	1	2	0	1	4
ADHD	32	2	6	8	—	0	0	5	13	5	10	10	0	1	10
ASD	39	4	12	13	—	0	0	6	22	7	19	16	1	2	7
発達障害の重複	29	3	8	9	—	1	1	5	14	3	13	8	1	3	10
精神障害	35	2	5	11	—	0	0	6	12	15	8	12	1	3	14
統合失調症等	1	0	0	0	—	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
気分障害	13	0	0	3	—	0	0	2	4	4	4	5	0	1	2
神経症性障害等	17	2	2	7	—	0	0	1	5	9	4	8	1	2	8
摂食障害・睡眠障害等	6	1	1	1	—	0	0	0	3	0	1	3	0	1	3
他の精神障害	21	1	4	3	—	0	0	3	8	6	3	5	0	2	8
その他の障害	30	2	10	15	—	0	0	2	9	10	9	12	1	2	12

(注) 複数回答あり

(2)授業支援と授業以外の支援 内容別・障害種別

ク 授業以外の支援 (高等専門学校)

表6-10 授業以外の支援実施状況 [支援内容別・障害種別] (高等専門学校)

	実施校数	学生生活支援	1 居場所の確保	2 通学支援	3 個別支援情報の収集	4 情報取得支援	社会的スキル指導	5 自己管理指導	6 対人関係配慮	7 日常生活支援	保健管理・生活支援	8 専門家によるカウンセリング	9 医療機関との連携	10 医療機器、薬剤の保管等	11 休憩室・治療室の確保等	12 生活介助	13 介助者の入構、入室許可	進路・就職指導	14 キャリア教育	15 障害学生向け求人情報の提供	16 就職支援情報の提供、支援機関の紹介	17 インターンシップ先の開拓	18 就職先の開拓、就職活動支援	その他
計	51	28	19	5	14	9	36	27	27	10	44	40	23	11	24	1	3	18	7	5	10	3	11	21
視覚障害	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	3	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
聴覚・言語障害	7	4	1	0	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	7	4	1	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
言語障害のみ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
肢体不自由	10	3	2	3	0	0	2	0	0	2	6	4	1	0	3	1	3	2	1	1	2	0	2	5
上肢機能障害	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	5	1	1	1	0	0	1	0	0	1	2	2	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0	4
上下肢機能障害	3	1	1	1	0	0	1	0	0	1	2	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1
他の機能障害	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	29	9	4	1	5	0	5	4	2	0	24	13	8	8	10	0	0	1	0	0	1	0	1	17
内部障害等	25	7	3	0	4	0	3	2	1	0	21	10	7	6	10	0	0	1	0	0	1	0	1	14
他の慢性疾患	20	4	1	1	3	0	2	2	1	0	12	4	4	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	12
重複	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
発達障害	46	25	17	0	13	8	34	26	25	7	39	37	16	3	13	0	0	15	7	4	7	3	7	9
SLD	7	1	0	0	1	0	1	1	0	0	7	6	3	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0
ADHD	32	9	3	0	6	2	18	16	10	1	28	27	8	2	5	0	0	5	1	0	2	1	2	6
ASD	40	19	14	0	8	5	27	20	17	3	31	30	11	1	12	0	0	12	6	4	6	2	6	7
発達障害の重複	33	12	8	0	7	2	19	15	11	3	30	29	9	2	5	0	0	10	6	1	5	1	2	5
精神障害	33	10	10	0	2	0	6	2	5	2	30	27	14	1	9	0	0	2	1	0	0	0	1	10
統合失調症等	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
気分障害	21	2	2	0	0	0	3	0	2	1	19	18	8	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	4
神経症性障害等	20	5	5	0	0	0	1	0	1	0	18	17	7	0	6	0	0	2	1	0	0	0	1	3
摂食障害・睡眠障害等	7	0	0	0	0	0	2	1	0	1	6	4	3	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1
他の精神障害	17	4	4	0	2	0	3	2	2	0	14	13	4	1	4	0	0	1	1	0	0	0	0	7
その他の障害	23	6	3	0	4	2	6	3	2	2	21	17	9	0	5	0	0	1	1	0	0	0	0	6

(注) 複数回答あり

(3)主な支援

ア 視覚障害

図6-1-1 主な授業支援

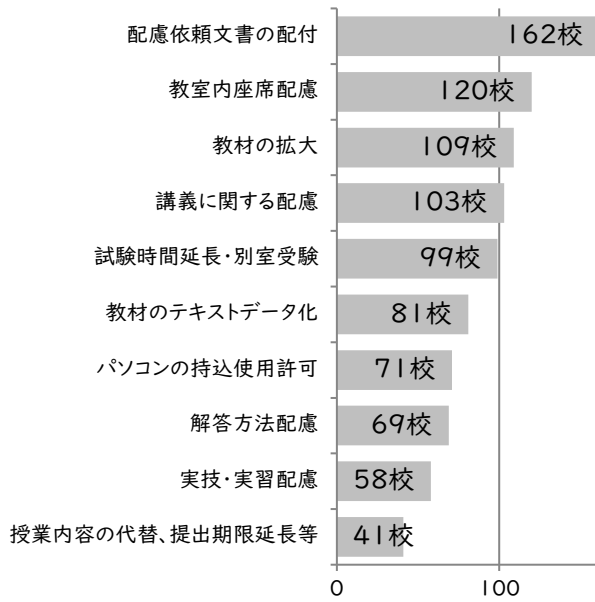
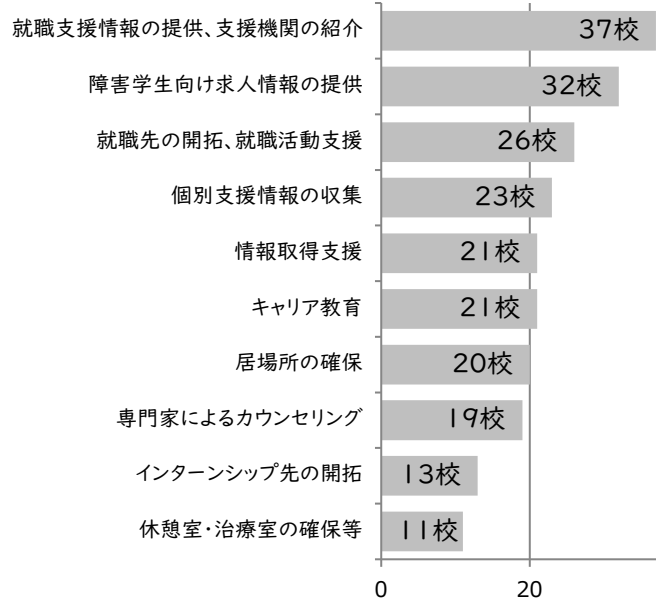


図6-1-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

イ 聴覚・言語障害

図6-2-1 主な授業支援

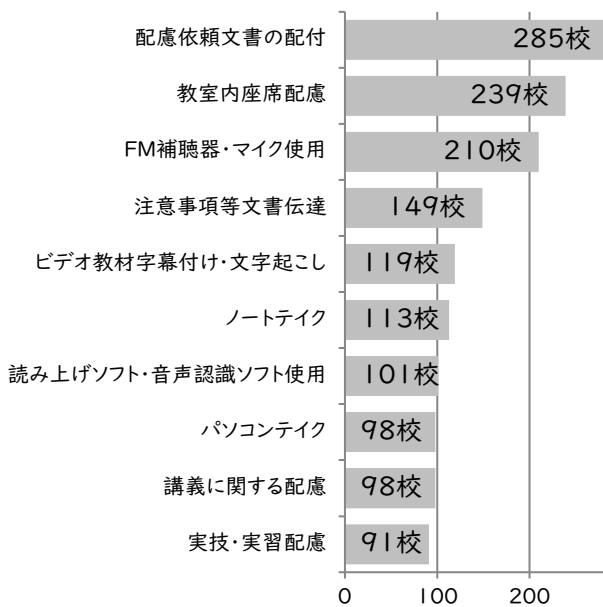
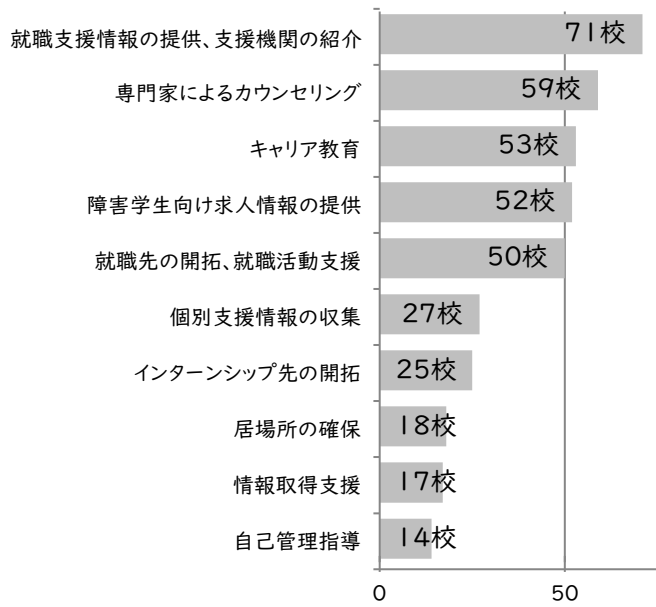


図6-2-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

ウ 肢体不自由

図6-3-1 主な授業支援

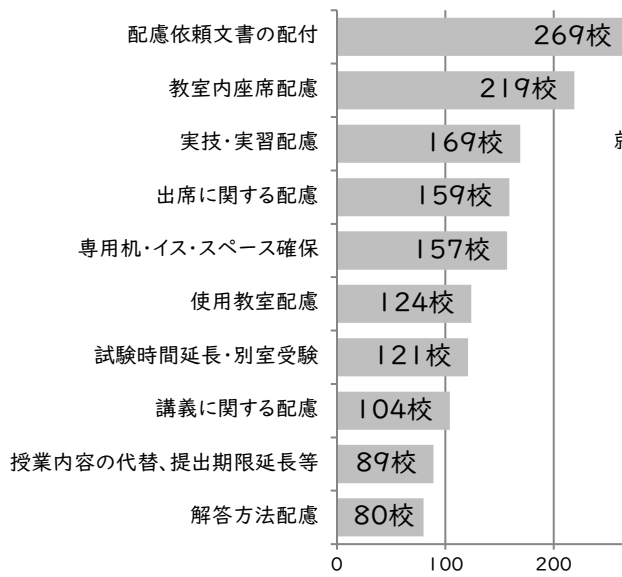
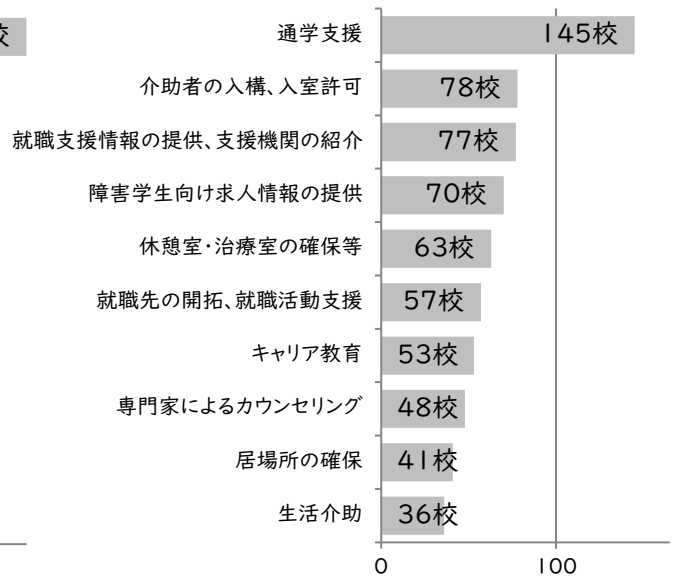


図6-3-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

エ 病弱・虚弱

図6-4-1 主な授業支援

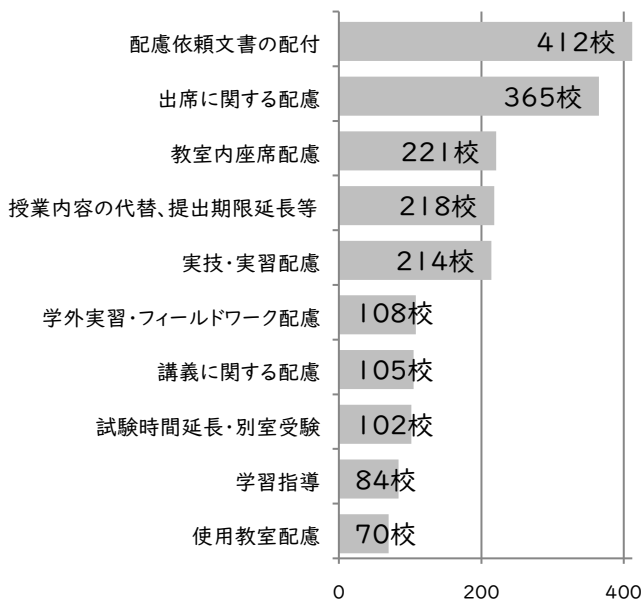
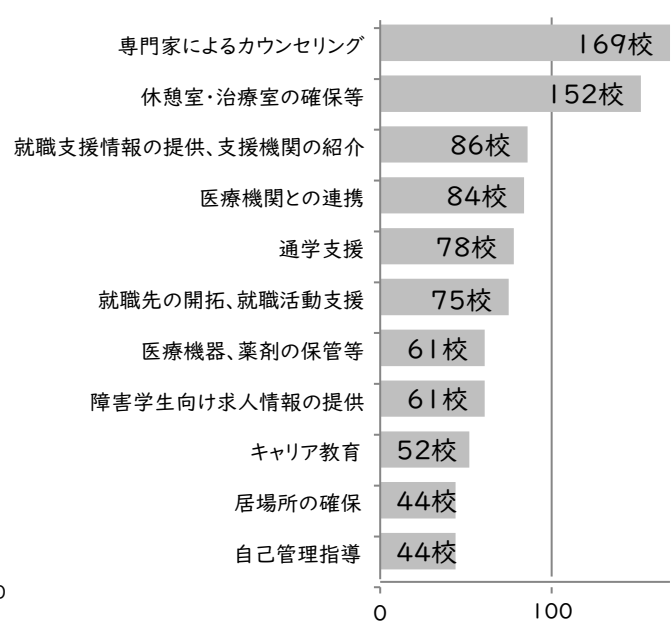


図6-4-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

オ 発達障害

図6-5-1 主な授業支援

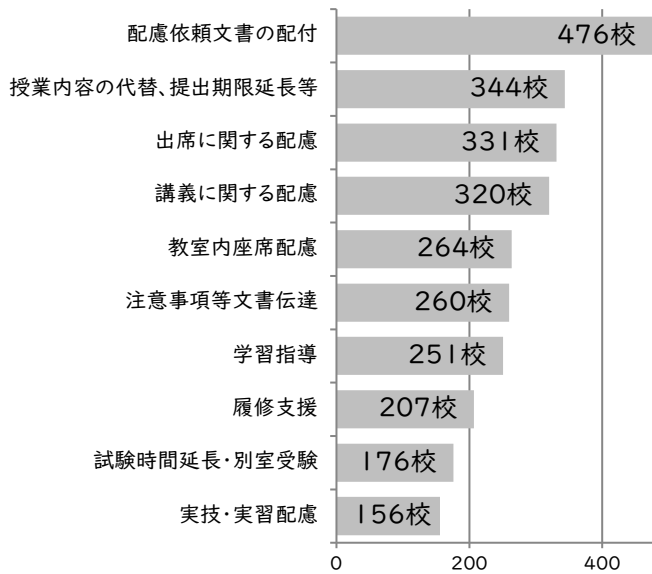
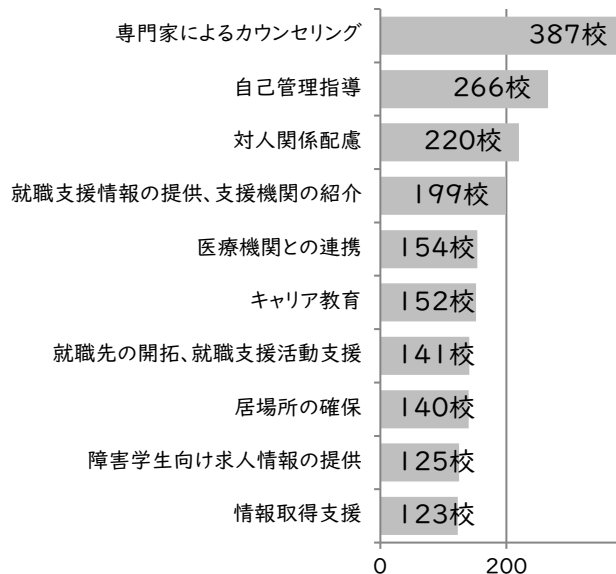


図6-5-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

カ 精神障害

図6-6-1 主な授業支援

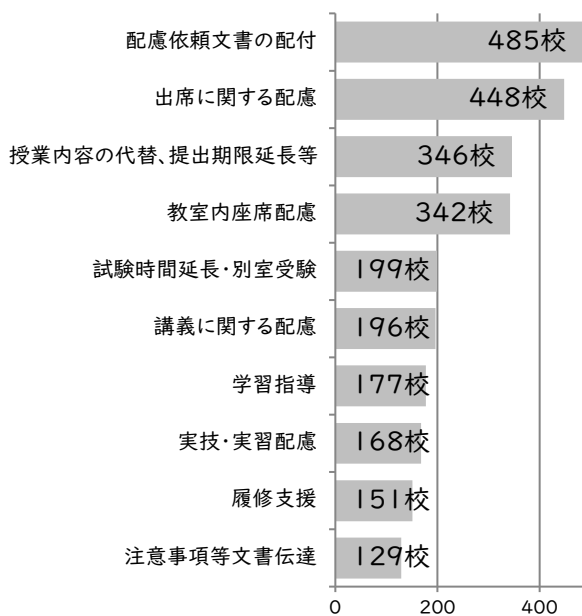
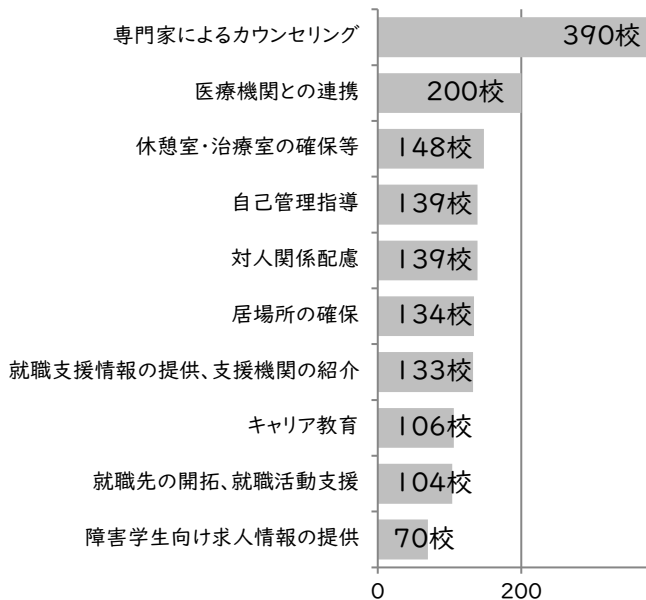


図6-6-2 主な授業以外の支援



(注) 複数回答あり

7. 障害学生支援に関する体制等

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等(障害学生数別・学校種別)

○障害者差別解消法に関する対応要領等の設置状況を見ると、「対応要領又は基本方針、規程等がある」学校は886校で、全学校数(1,174校)の75.5%。「令和4年度中に策定予定」である学校49校を合わせると935校であり、全学校数(1,174校)の79.6%。「対応要領又は基本方針、規則等はない」学校は239校で全学校数(1,174校)の20.4%。

表7-1 障害者差別解消法に関する対応要領等 [学校種別]

	全体の学校数			令和4年度中に策定予定			対応要領又は基本方針			
	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	
	(校)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障害学 生在籍校	
計	1,174	886	75.5	751	49	4.2	27	239	20.4	99
大学	813	632	77.7	554	28	3.4	18	153	18.8	75
短期大学	304	200	65.8	144	19	6.3	7	85	28.0	23
高等専門学校	57	54	94.7	53	2	3.5	2	1	1.8	1

表7-2 障害者差別解消法に関する対応要領等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の学校数			令和4年度中に策定予定			対応要領又は基本方針			
	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	対応要領又は基本方針 規程等がある	規程等がない	規程等はない	
	(校)	(%)	支援障害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障 害学生 在籍校	(%)	支援障害学 生在籍校	
障害学生21人以上	506	455	89.9	441	9	1.8	8	42	8.3	35
大学	432	391	90.5	378	8	1.9	7	33	7.6	27
短期大学	29	20	69.0	19	0	0.0	0	9	31.0	8
高等専門学校	45	44	97.8	44	1	2.2	1	0	0.0	0
障害学生11~20人	142	120	84.5	109	3	2.1	3	19	13.4	16
大学	96	80	83.3	74	2	2.1	2	14	14.6	12
短期大学	41	35	85.4	30	1	2.4	1	5	12.2	4
高等専門学校	5	5	100.0	5	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生6~10人	120	80	66.7	76	9	7.5	6	31	25.8	24
大学	65	35	53.8	34	7	10.8	5	23	35.4	18
短期大学	52	43	82.7	40	2	3.8	1	7	13.5	5
高等専門学校	3	2	66.7	2	0	0.0	0	1	33.3	1
障害学生2~5人	143	104	72.7	90	11	7.7	8	28	19.6	16
大学	85	61	71.8	51	6	7.1	4	18	21.2	12
短期大学	56	42	75.0	38	4	7.1	3	10	17.9	4
高等専門学校	2	1	50.0	1	1	50.0	1	0	0.0	0
障害学生1人	59	38	64.4	35	3	5.1	2	18	30.5	8
大学	34	19	55.9	17	0	0.0	0	15	44.1	6
短期大学	24	18	75.0	17	3	12.5	2	3	12.5	2
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	204	89	43.6	0	14	6.9	0	101	49.5	0
大学	101	46	45.5	0	5	5.0	0	50	49.5	0
短期大学	102	42	41.2	0	9	8.8	0	51	50.0	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

(2) 専門委員会等の設置状況(障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援に関する専門委員会の設置状況を見てみると、「専門委員会を設置」している学校は533校で、全学校数(1,174校)の45.4%。「他の委員会が対応」する学校は555校で、全学校数(1,174校)の47.3%。これらを合わせた「対応する委員会がある」学校は1,088校で、全学校数(1,174校)の92.7%。

表7-3 障害学生支援に関する専門委員会等 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置		他の委員会が対応		専門委員会を設置		他の委員会が対応				
			支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	
計	1,174	1,088	837	92.7	533	45.4	471	555	47.3	366	86	7.3	40
大学	813	756	618	93.0	382	47.0	352	374	46.0	266	57	7.0	29
短期大学	304	277	165	91.1	115	37.8	84	162	53.3	81	27	8.9	9
高等専門学校	57	55	54	96.5	36	63.2	35	19	33.3	19	2	3.5	2

表7-4 障害学生支援に関する専門委員会等 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する委員会がある				対応する委員会はない						
	(校)	(%)	専門委員会を設置		他の委員会が対応		専門委員会を設置		他の委員会が対応				
			支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	
障害学生21人以上	506	488	470	96.4	304	60.1	295	184	36.4	175	18	3.6	14
大学	432	417	401	96.5	265	61.3	257	152	35.2	144	15	3.5	11
短期大学	29	28	26	96.6	11	37.9	10	17	58.6	16	1	3.4	1
高等専門学校	45	43	43	95.6	28	62.2	28	15	33.3	15	2	4.4	2
障害学生11~20人	142	131	119	92.3	71	50.0	66	60	42.3	53	11	7.7	9
大学	96	88	81	91.7	46	47.9	43	42	43.8	38	8	8.3	7
短期大学	41	38	33	92.7	23	56.1	21	15	36.6	12	3	7.3	2
高等専門学校	5	5	5	100.0	2	40.0	2	3	60.0	3	0	0.0	0
障害学生6~10人	120	113	101	94.2	51	42.5	47	62	51.7	54	7	5.8	5
大学	65	61	55	93.8	24	36.9	22	37	56.9	33	4	6.2	2
短期大学	52	49	43	94.2	25	48.1	23	24	46.2	20	3	5.8	3
高等専門学校	3	3	3	100.0	2	66.7	2	1	33.3	1	0	0.0	0
障害学生2~5人	143	134	106	93.7	57	39.9	48	77	53.8	58	9	6.3	8
大学	85	79	62	92.9	29	34.1	25	50	58.8	37	6	7.1	5
短期大学	56	53	42	94.6	26	46.4	21	27	48.2	21	3	5.4	3
高等専門学校	2	2	2	100.0	2	100.0	2	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生1人	59	53	41	89.8	18	30.5	15	35	59.3	26	6	10.2	4
大学	34	28	19	82.4	7	20.6	5	21	61.8	14	6	17.6	4
短期大学	24	24	21	100.0	10	41.7	9	14	58.3	12	0	0.0	0
高等専門学校	1	1	1	100.0	1	100.0	1	0	0.0	0	0	0.0	0
障害学生0人	204	169	0	82.8	32	15.7	0	137	67.2	0	35	17.2	0
大学	101	83	0	82.2	11	10.9	0	72	71.3	0	18	17.8	0
短期大学	102	85	0	83.3	20	19.6	0	65	63.7	0	17	16.7	0
高等専門学校	1	1	0	100.0	1	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0

(3)紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況(障害学生数別・学校種別)

○紛争の防止、解決等に関する調整機関の設置状況を見ると、「第三者視点で調査を行なう機関がある」学校87校と「他の機関が対応している」学校527校を合わせた614校で組織的な対応をしており、全学校数(1,174校)の52.3%。

○「第三者的視点で調整を行なう機関はない」学校は560校で、全学校数(1,174校)の47.7%。

表7-5 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する機関がある				第三者的視点で調整を 行なう機関はない						
	(校)	(%)	第三者的視点で調整を 行なう機関がある		他の機関で対応している		(校)	(%)	支援障害 学生 在籍 校	(校)	(%)	支援障害 学生 在籍 校	
			支援障害 学生 在籍 校	(%)	支援障害 学生 在籍 校	(%)							
計	1,174	614	52.3	492	87	7.4	79	527	44.9	413	560	47.7	385
大学	813	448	55.1	374	72	8.9	67	376	46.2	307	365	44.9	273
短期大学	304	136	44.7	88	12	3.9	9	124	40.8	79	168	55.3	86
高等専門学校	57	30	52.6	30	3	5.3	3	27	47.4	27	27	47.4	26

表7-6 紛争の防止、解決等に関する調整機関 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する機関がある				第三者的視点で調整を 行なう機関はない						
	(校)	(%)	第三者的視点で調整を 行なう機関がある		他の機関で対応している		(校)	(%)	支援障害 学生 在籍 校	(校)	(%)	支援障害 学生 在籍 校	
			支援障害 学生 在籍 校	(%)	支援障害 学生 在籍 校	(%)							
障害学生21人以上	506	299	59.1	291	58	11.5	56	241	47.6	235	207	40.9	193
大学	432	262	60.6	254	54	12.5	52	208	48.1	202	170	39.4	158
短期大学	29	13	44.8	13	1	3.4	1	12	41.4	12	16	55.2	14
高等専門学校	45	24	53.3	24	3	6.7	3	21	46.7	21	21	46.7	21
障害学生11~20人	142	65	45.8	58	10	7.0	8	55	38.7	50	77	54.2	70
大学	96	42	43.8	37	8	8.3	7	34	35.4	30	54	56.3	51
短期大学	41	19	46.3	17	2	4.9	1	17	41.5	16	22	53.7	18
高等専門学校	5	4	80.0	4	0	0.0	0	4	80.0	4	1	20.0	1
障害学生6~10人	120	70	58.3	63	8	6.7	8	62	51.7	55	50	41.7	43
大学	65	39	60.0	35	4	6.2	4	35	53.8	31	26	40.0	22
短期大学	52	29	55.8	26	4	7.7	4	25	48.1	22	23	44.2	20
高等専門学校	3	2	66.7	2	0	0.0	0	2	66.7	2	1	33.3	1
障害学生2~5人	143	67	46.9	52	5	3.5	4	62	43.4	48	76	53.1	62
大学	85	43	50.6	33	3	3.5	2	40	47.1	31	42	49.4	34
短期大学	56	24	42.9	19	2	3.6	2	22	39.3	17	32	57.1	26
高等専門学校	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	100.0	2
障害学生1人	59	32	54.2	28	3	5.1	3	29	49.2	25	27	45.8	17
大学	34	18	52.9	15	2	5.9	2	16	47.1	13	16	47.1	8
短期大学	24	14	58.3	13	1	4.2	1	13	54.2	12	10	41.7	8
高等専門学校	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	1
障害学生0人	204	81	39.7	0	3	1.5	0	78	38.2	0	123	60.3	0
大学	101	44	43.6	0	1	1.0	0	43	42.6	0	57	56.4	0
短期大学	102	37	36.3	0	2	2.0	0	35	34.3	0	65	63.7	0
高等専門学校	1	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0

(4-1) 障害学生支援担当部署の設置状況(障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援担当部署の設置状況を見ると、「専門部署・機関を設置」している学校306校と「他の部署・機関が対応」する学校835校を合わせた1,141校で組織的な対応をしており、全学校数(1,174校)の97.2%。

○「対応する部署・機関はない」学校は33校で、全学校数(1,174校)の2.8%。

表7-7 障害学生支援担当部署 [学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある				対応する部署・機関はない						
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置		他の部署・機関が対応		支援障害 学生在籍 校		支援障害 学生在籍 校				
			支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	
計	1,174	1,141	97.2	866	306	26.1	284	835	71.1	582	33	2.8	11
大学	813	792	97.4	638	235	28.9	226	557	68.5	412	21	2.6	9
短期大学	304	292	96.1	172	56	18.4	43	236	77.6	129	12	3.9	2
高等専門学校	57	57	100.0	56	15	26.3	15	42	73.7	41	0	0.0	0

表7-8 障害学生支援担当部署 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		対応する部署・機関がある				対応する部署・機関はない						
	(校)	(%)	専門部署・機関を設置		他の部署・機関が対応		支援障害 学生在籍 校		支援障害 学生在籍 校				
			支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	支援障害 学生在籍 校	(%)	
障害学生21人以上	506	504	99.6	482	201	39.7	199	303	59.9	283	2	0.4	2
大学	432	430	99.5	410	182	42.1	180	248	57.4	230	2	0.5	2
短期大学	29	29	100.0	27	6	20.7	6	23	79.3	21	0	0.0	0
高等専門学校	45	45	100.0	45	13	28.9	13	32	71.1	32	0	0.0	0
障害学生11~20人	142	140	98.6	126	41	28.9	39	99	69.7	87	2	1.4	2
大学	96	94	97.9	86	29	30.2	28	65	67.7	58	2	2.1	2
短期大学	41	41	100.0	35	11	26.8	10	30	73.2	25	0	0.0	0
高等専門学校	5	5	100.0	5	1	20.0	1	4	80.0	4	0	0.0	0
障害学生6~10人	120	116	96.7	103	21	17.5	20	95	79.2	83	4	3.3	3
大学	65	63	96.9	55	11	16.9	11	52	80.0	44	2	3.1	2
短期大学	52	50	96.2	45	9	17.3	8	41	78.8	37	2	3.8	1
高等専門学校	3	3	100.0	3	1	33.3	1	2	66.7	2	0	0.0	0
障害学生2~5人	143	140	97.9	111	21	14.7	19	119	83.2	92	3	2.1	3
大学	85	83	97.6	65	7	8.2	6	76	89.4	59	2	2.4	2
短期大学	56	55	98.2	44	14	25.0	13	41	73.2	31	1	1.8	1
高等専門学校	2	2	100.0	2	0	0.0	0	2	100.0	2	0	0.0	0
障害学生1人	59	58	98.3	44	8	13.6	7	50	84.7	37	1	1.7	1
大学	34	33	97.1	22	2	5.9	1	31	91.2	21	1	2.9	1
短期大学	24	24	100.0	21	6	25.0	6	18	75.0	15	0	0.0	0
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	0	0.0	0
障害学生0人	204	183	89.7	0	14	6.9	0	169	82.8	0	21	10.3	0
大学	101	89	88.1	0	4	4.0	0	85	84.2	0	12	11.9	0
短期大学	102	93	91.2	0	10	9.8	0	83	81.4	0	9	8.8	0
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0	0

(4-2)障害学生支援担当者の配置状況(障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援担当者の配置状況を見てみると、「専任」を配置している学校266校と「兼任」を配置している学校874校を合わせた1,140校で支援担当者を配置しており、全学校数(1,174校)の97.1%。

表7-9 障害学生支援担当者 [学校種別]

	全体の 学校数		支援担当者を配置				外部委託					
	(校)	(%)	専任	兼任	専任	兼任	(校)	(%)				
			支援障害学 生在籍校	支援障害学 生在籍校	(%)	(%)	支援障害学 生在籍校	支援障害学 生在籍校	(%)	(%)		
計	1,174	1,140	97.1	869	266	22.7	240	874	74.4	629	510	43.4
大学	813	789	97.0	640	216	26.6	206	573	70.5	434	348	42.8
短期大学	304	294	96.7	173	44	14.5	28	250	82.2	145	120	39.5
高等専門学校	57	57	100.0	56	6	10.5	6	51	89.5	50	42	73.7

表7-10 障害学生支援担当者 [障害学生数別・学校種別]

	全体の 学校数		支援担当者を配置				外部委託					
	(校)	(%)	専任	兼任	専任	兼任	(校)	(%)				
			支援障害学 生在籍校	支援障害学 生在籍校	(%)	(%)	支援障害学 生在籍校	支援障害学 生在籍校	(%)	(%)		
障害学生21人以上	506	503	99.4	484	185	36.6	184	318	62.8	300	256	50.6
大学	432	429	99.3	412	177	41.0	176	252	58.3	236	211	48.8
短期大学	29	29	100.0	27	5	17.2	5	24	82.8	22	11	37.9
高等専門学校	45	45	100.0	45	3	6.7	3	42	93.3	42	34	75.6
障害学生11~20人	142	140	98.6	126	27	19.0	25	113	79.6	101	69	48.6
大学	96	94	97.9	86	18	18.8	18	76	79.2	68	43	44.8
短期大学	41	41	100.0	35	9	22.0	7	32	78.0	28	21	51.2
高等専門学校	5	5	100.0	5	0	0.0	0	5	100.0	5	5	100.0
障害学生6~10人	120	117	97.5	104	17	14.2	15	100	83.3	89	50	41.7
大学	65	63	96.9	55	9	13.8	8	54	83.1	47	24	36.9
短期大学	52	51	98.1	46	6	11.5	5	45	86.5	41	25	48.1
高等専門学校	3	3	100.0	3	2	66.7	2	1	33.3	1	1	33.3
障害学生2~5人	143	140	97.9	112	13	9.1	10	127	88.8	102	58	40.6
大学	85	82	96.5	65	4	4.7	2	78	91.8	63	34	40.0
短期大学	56	56	100.0	45	8	14.3	7	48	85.7	38	23	41.1
高等専門学校	2	2	100.0	2	1	50.0	1	1	50.0	1	1	50.0
障害学生1人	59	56	94.9	43	7	11.9	6	49	83.1	37	20	33.9
大学	34	32	94.1	22	3	8.8	2	29	85.3	20	7	20.6
短期大学	24	23	95.8	20	4	16.7	4	19	79.2	16	12	50.0
高等専門学校	1	1	100.0	1	0	0.0	0	1	100.0	1	1	100.0
障害学生0人	204	184	90.2	0	17	8.3	0	167	81.9	0	57	27.9
大学	101	89	88.1	0	5	5.0	0	84	83.2	0	29	28.7
短期大学	102	94	92.2	0	12	11.8	0	82	80.4	0	28	27.5
高等専門学校	1	1	100.0	0	0	0.0	0	1	100.0	0	0	0.0

(注1) 複数回答あり

(注2) 専任担当者と兼任担当者の両方が配置されている学校については、専任配置校とした。

(4-3)障害学生支援担当者の職種(職種別・障害学生数別・学校種別)

○障害学生支援担当者別の配置校数を職種別に多い順に並べると、専任スタッフで最も多いのが「コーディネーター」134校。次いで「職員」118校、「教員」64校。兼任スタッフで最も多いのが「職員」992校。次いで「教員」681校、「カウンセラー」400校。

表7-11 障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

(校)	全体の 学校数	専任スタッフ								兼任スタッフ								外部委託			
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他		
計	1,174	266	134	41	5	9	118	64	46	1,103	123	400	181	15	992	681	69	510	463	44	39
大学	813	216	115	32	5	8	101	53	37	768	89	291	156	11	694	445	52	348	311	37	22
短期大学	304	44	16	6	0	1	17	11	8	279	27	95	22	3	246	183	13	120	110	7	9
高等専門学校	57	6	3	3	0	0	0	0	1	56	7	14	3	1	52	53	4	42	42	0	8

表7-12 障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	計	専任スタッフ								兼任スタッフ								外部委託			
		コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	支援技術を持つ教職員	職員	教員	その他	外部委託	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他		
障害学生21人以上	506	185	108	27	5	7	91	45	29	490	66	225	112	7	444	295	32	256	224	33	25
大学	432	177	103	24	5	7	88	44	29	419	55	202	106	6	377	238	28	211	180	33	18
短期大学	29	5	3	1	0	0	3	1	0	27	4	11	3	0	25	16	1	11	10	0	1
高等専門学校	45	3	2	2	0	0	0	0	0	44	7	12	3	1	42	41	3	34	34	0	6
障害学生11~20人	142	27	11	7	0	1	8	5	3	133	22	46	20	1	122	80	9	69	65	2	5
大学	96	18	8	6	0	1	4	2	2	90	18	30	15	1	81	49	8	43	42	1	0
短期大学	41	9	3	1	0	0	4	3	1	38	4	16	5	0	36	26	1	21	18	1	3
高等専門学校	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	5	0	5	5	0	2
障害学生6~10人	120	17	6	4	0	0	7	3	3	115	13	42	14	2	107	69	6	50	49	1	2
大学	65	9	2	2	0	0	5	2	2	61	5	21	11	1	58	35	3	24	23	1	1
短期大学	52	6	3	1	0	0	2	1	1	51	8	21	3	1	48	31	3	25	25	0	1
高等専門学校	3	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	3	0	1	1	0	0
障害学生2~5人	143	13	4	0	0	1	6	4	4	134	17	39	14	1	117	99	9	58	53	3	4
大学	85	4	0	0	0	0	3	3	0	81	9	16	9	1	71	57	6	34	31	2	1
短期大学	56	8	4	0	0	1	3	1	3	51	8	22	5	0	44	40	2	23	21	1	3
高等専門学校	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	2	1	1	1	0	0
障害学生1人	59	7	2	0	0	0	1	3	1	54	3	14	6	0	52	41	3	20	19	3	0
大学	34	3	1	0	0	0	0	1	1	31	1	7	4	0	31	20	1	7	7	0	0
短期大学	24	4	1	0	0	0	1	2	0	22	2	7	2	0	20	20	2	12	11	3	0
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
障害学生0人	204	17	3	3	0	0	5	4	6	177	2	34	15	4	150	97	10	57	53	2	3
大学	101	5	1	0	0	0	1	1	3	86	1	15	11	2	76	46	6	29	28	0	2
短期大学	102	12	2	3	0	0	4	3	3	90	1	18	4	2	73	50	4	28	25	2	1
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0

(注1) 複数回答あり

(注2) 兼任スタッフがいる校数については、専任スタッフと兼任スタッフの両方が配置されている学校も含めている。

表7-13 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・学校種別]

(校)	支援障害学生 在籍校	専任スタッフ		支援技術を持つ教職員		兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員		外部委託		医師・カウンセラー等		その他						
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
計	877	240	130	35	5	9	108	57	40	841	113	345	158	10	764	533	52	420	379	41	35
大学	647	206	114	31	5	8	97	50	34	623	84	264	140	9	563	364	39	294	260	36	19
短期大学	174	28	13	1	0	1	11	7	5	163	22	68	15	0	150	117	9	84	77	5	8
高等専門学校	56	6	3	3	0	0	0	0	1	55	7	13	3	1	51	52	4	42	42	0	8

表7-14 支援障害学生在籍校における障害学生支援担当者 [職種別・障害学生数別・学校種別]

(校)	支援障害学生 在籍校	専任スタッフ		支援技術を持つ教職員		兼任スタッフ			支援技術を持つ教職員		外部委託		医師・カウンセラー等		その他						
		コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	コーディネーター	カウンセラー	医師	職員	教員	その他	医師・カウンセラー等	専門技能者	その他					
障害学生21人以上	484	184	108	27	5	7	90	45	29	471	66	220	110	7	426	284	29	245	214	32	25
大学	412	176	103	24	5	7	87	44	29	402	55	197	104	6	361	228	25	200	170	32	18
短期大学	27	5	3	1	0	0	3	1	0	25	4	11	3	0	23	15	1	11	10	0	1
高等専門学校	45	3	2	2	0	0	0	0	0	44	7	12	3	1	42	41	3	34	34	0	6
障害学生11~20人	128	25	11	6	0	1	6	4	3	120	18	41	17	1	110	72	8	65	61	2	5
大学	88	18	8	6	0	1	4	2	2	82	16	27	13	1	73	43	7	39	38	1	0
短期大学	35	7	3	0	0	0	2	2	1	33	2	14	4	0	32	24	1	21	18	1	3
高等専門学校	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5	5	0	5	5	0	2
障害学生6~10人	106	15	6	2	0	0	7	3	3	102	12	39	13	1	95	63	5	46	45	1	2
大学	57	8	2	1	0	0	5	2	2	53	5	20	11	1	51	31	2	23	22	1	1
短期大学	46	5	3	0	0	0	2	1	1	46	7	19	2	0	43	29	3	22	22	0	1
高等専門学校	3	2	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	3	0	1	1	0	0
障害学生2~5人	114	10	3	0	0	1	4	3	4	106	14	32	12	1	93	79	7	48	44	3	3
大学	67	2	0	0	0	0	1	2	0	64	7	13	8	1	56	46	4	29	27	2	0
短期大学	45	7	3	0	0	1	3	1	3	40	7	18	4	0	35	31	2	18	16	1	3
高等専門学校	2	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	2	2	1	1	1	0	0
障害学生1人	45	6	2	0	0	0	1	2	1	42	3	13	6	0	40	35	3	16	15	3	0
大学	23	2	1	0	0	0	0	0	1	22	1	7	4	0	22	16	1	3	3	0	0
短期大学	21	4	1	0	0	0	1	2	0	19	2	6	2	0	17	18	2	12	11	3	0
高等専門学校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0
障害学生0人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
短期大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高等専門学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注1) 複数回答あり

(注2) 兼任スタッフがいる校数については、専任スタッフと兼任スタッフの両方が配置されている学校も含めている。

(5)障害学生の相談受付窓口

○障害学生の支援の申し出等に対応する窓口の設置状況を見ると、「支援の申し出等の相談に対応する窓口がある」学校は989校で、全学校数(1,174校)の84.2%。このうち、「窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している」学校は828校。

表7-15 障害学生の相談受付窓口の設置状況

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
支援の申し出等の相談に対応する窓口がある	989	695	240	54
窓口について、要覧、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している	828	596	184	48
窓口は設けているが、特に周知はしていない	161	99	56	6
支援の申し出等の相談に対応する窓口はない	185	118	64	3
特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している	125	81	41	3
窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない	60	37	23	0

(6)支援の申し出等に関する対応手順

○支援の申し出等に関する対応手順の整備状況を見ると、「対応手順を規定した文書がある」学校は418校。「対応要領等に対応手順が記載されている」学校307校と合わせると725校で、全学校数(1,174校)の61.8%。

表7-16 支援の申し出等に関する対応手順

(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
対応手順を規定した文書がある	418	298	92	28
対応要領等に対応手順が記載されている	307	222	71	14
対応手順を規定する文書はない	449	293	141	15

(7)施設・設備の整備状況(学校種別・内容別)

○大学、短期大学及び高等専門学校の全てにおいて、学内全体に整備されているものの中で、屋外は「道路の舗装、段差の解消等」、「専用駐車場」などが多く、屋内は「エレベーター」、「障害者用トイレ」などが多い。支援機器については、現在必要な箇所に整備されているものの中で、「車椅子、簡易ベッド等」が多い。

表7-17 施設・設備の整備状況

		(校)	学内全体に整備	現在必要な箇所に整備	部分的に整備しているが不十分	整備中又は年度内に整備予定	未整備
大学							
屋外	道路の舗装、段差の解消等		166	353	252	1	40
	手すり、スロープ、階段昇降機等		95	406	272	0	39
	点字ブロック、標識シール等		48	187	279	3	295
	専用駐車場		168	406	120	0	118
屋内	自動扉等出入り口の整備		148	321	262	3	79
	エレベーター		223	363	215	1	11
	手すり、スロープ、階段昇降機等		112	371	295	0	35
	車椅子移動等に必要なスペース確保		178	327	250	0	58
	点字プレート等教室表示		23	89	110	6	585
	聴覚障害者用屋内信号装置		1	10	17	4	781
	障害者用トイレ		201	414	185	1	12
	自習室、独習室		65	267	186	5	290
	磁気誘導ループ		0	4	10	5	794
	点字プリンタ		—	70	24	3	716
支援機器	立体コピー機		—	33	11	3	766
	拡大読書機		—	106	57	2	648
	点字携帯端末		—	29	7	1	776
	筆談器等		—	142	109	2	560
	車椅子、簡易ベッド等		—	544	231	2	36
その他		12	86	12	0	—	
短期大学							
屋外	道路の舗装、段差の解消等		44	117	112	1	30
	手すり、スロープ、階段昇降機等		18	128	122	0	36
	点字ブロック、標識シール等		7	45	73	2	177
	専用駐車場		48	134	40	1	81
屋内	自動扉等出入り口の整備		33	107	92	1	71
	エレベーター		59	118	79	1	47
	手すり、スロープ、階段昇降機等		30	115	129	0	30
	車椅子移動等に必要なスペース確保		40	118	102	0	44
	点字プレート等教室表示		0	14	31	4	255
	聴覚障害者用屋内信号装置		0	1	2	2	299
	障害者用トイレ		53	138	84	1	28
	自習室、独習室		11	80	54	3	156
	磁気誘導ループ		0	0	2	2	300
	点字プリンタ		—	7	3	0	294
支援機器	立体コピー機		—	4	3	0	297
	拡大読書機		—	11	7	0	286
	点字携帯端末		—	3	0	0	301
	筆談器等		—	23	22	1	258
	車椅子、簡易ベッド等		—	179	99	0	26
その他		4	11	2	0	—	
高等専門学校							
屋外	道路の舗装、段差の解消等		10	23	23	1	0
	手すり、スロープ、階段昇降機等		6	28	22	1	0
	点字ブロック、標識シール等		0	4	18	0	35
	専用駐車場		9	31	11	0	6
屋内	自動扉等出入り口の整備		7	24	22	1	3
	エレベーター		9	22	25	0	1
	手すり、スロープ、階段昇降機等		6	23	26	1	1
	車椅子移動等に必要なスペース確保		6	19	27	1	4
	点字プレート等教室表示		0	0	4	0	53
	聴覚障害者用屋内信号装置		0	0	0	0	57
	障害者用トイレ		12	21	23	0	1
	自習室、独習室		2	15	13	0	27
	磁気誘導ループ		0	0	0	0	57
	点字プリンタ		—	0	0	0	57
支援機器	立体コピー機		—	1	1	0	55
	拡大読書機		—	1	2	0	54
	点字携帯端末		—	0	0	0	57
	筆談器等		—	2	4	0	51
	車椅子、簡易ベッド等		—	37	20	0	0
その他		2	2	0	0	—	

(8) 支援学生（障害学生を支援する学生）在籍学校数（支援学生数別・学校種別）

○支援学生在籍学校数の状況を見ると、「①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる」学校が218校であり、支援学生在籍校242校の90.1%となっている。

表7-18 支援学生在籍学校数 [支援学生数別・学校種別]

(校)	支援学生がいる																
	①学校が運営する組織に登録する支援学生がいる					②①以外の支援学生がいる											
	有償	無償	その他			i) 学生が運営			ii) 他校より派遣			iii) その他					
	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他	有償	無償	その他		
計	242	218	202	23	7	8	4	3	1	4	4	0	0	21	15	4	2
大学	213	194	179	21	7	7	4	3	0	2	2	0	0	17	14	2	1
短期大学	23	20	19	2	0	1	0	0	1	2	2	0	0	1	0	0	1
高等専門学校	6	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0
51人以上	53	52	49	6	4	1	0	1	0	1	1	0	0	2	1	0	1
大学	52	51	48	6	4	1	0	1	0	1	1	0	0	2	1	0	1
短期大学	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41～50人	13	13	13	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	9	9	9	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31～40人	14	14	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学	14	14	12	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21～30人	32	31	29	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0
大学	29	28	26	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0
短期大学	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11～20人	38	35	30	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0
大学	33	31	26	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
短期大学	4	3	3	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6～10人	39	34	33	2	0	2	2	0	0	1	1	0	0	3	2	1	0
大学	33	29	28	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0
短期大学	4	3	3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
高等専門学校	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
1～5人	53	39	36	3	0	3	1	2	0	2	2	0	0	11	8	2	1
大学	43	32	30	2	0	3	1	2	0	1	1	0	0	8	7	1	0
短期大学	7	6	5	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1
高等専門学校	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0
支援学生はいない	932																
大学	600																
短期大学	281																
高等専門学校	51																

(注)①②は複数回答あり

8. 障害学生支援に関する活動や取組実施状況

(1) 学校種別・障害学生在籍者数別

○障害学生支援に関する活動や取組を実施している学校は1,100校であり、そのうち支援障害学生が在籍する学校は858校である。

表8-1 活動・取組実施状況 [学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
計	1,174	1,100	858
大学	813	770	631
短期大学	304	273	171
高等専門学校	57	57	56

表8-2 活動・取組実施状況 [障害学生数別・学校種別]

(校)	全体の学校数	実施校数	支援障害 学生在籍校
障害学生21人以上	506	498	476
大学	432	425	405
短期大学	29	28	26
高等専門学校	45	45	45
障害学生11~20人	142	139	125
大学	96	94	86
短期大学	41	40	34
高等専門学校	5	5	5
障害学生6~10人	120	116	104
大学	65	63	55
短期大学	52	50	46
高等専門学校	3	3	3
障害学生2~5人	143	137	109
大学	85	80	63
短期大学	56	55	44
高等専門学校	2	2	2
障害学生1人	59	53	44
大学	34	29	22
短期大学	24	23	21
高等専門学校	1	1	1
障害学生0人	204	157	0
大学	101	79	0
短期大学	102	77	0
高等専門学校	1	1	0

(2)学校種別・内容別

○障害学生支援に関する活動や取組を内容別に見ると、多い順に「4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援」798校（前年度785校）、「3 支援情報の公開」772校（同742校）、「1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組」766校（同730校）。

表8-3 活動・取組実施状況 [学校種別・内容別]

	(校) 実施校数	大学	短期大学	高等	1,100校 中の実施 率 (%)	1,174校 中の実施 率 (%)
				専門学校		
1 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組	766 (730)	542 (519)	176 (168)	48 (43)	69.6 (68.4)	65.2 (62.1)
2 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組	673 (610)	483 (435)	148 (133)	42 (42)	61.2 (57.1)	57.3 (51.9)
3 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)	772 (742)	575 (552)	146 (142)	51 (48)	70.2 (69.5)	65.8 (63.1)
4 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援	798 (785)	571 (562)	191 (186)	36 (37)	72.5 (73.5)	68.0 (66.8)
5 他大学等との連携	294 (278)	230 (217)	45 (45)	19 (16)	26.7 (26.0)	25.0 (23.6)
6 学外機関との連携	508 (483)	367 (354)	107 (102)	34 (27)	46.2 (45.2)	43.3 (41.1)
7 相談対応・懇親会等(障害学生・支援スタッフ向け)	344 (350)	255 (257)	67 (72)	22 (21)	31.3 (32.8)	29.3 (29.8)
8 障害学生支援に関する(学内)研修	465 (384)	342 (280)	101 (81)	22 (23)	42.3 (36.0)	39.6 (32.7)
1) 教員向け各種研修(FD等)	429 (350)	315 (254)	92 (73)	22 (23)	39.0 (32.8)	36.5 (29.8)
2) 職員向け各種研修(SD等)	358 (312)	265 (224)	84 (73)	9 (15)	32.5 (29.2)	30.5 (26.5)
9 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣	448 (386)	320 (268)	91 (82)	37 (36)	40.7 (36.1)	38.2 (32.8)
10 障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイク・養成等)	186 (172)	160 (147)	24 (24)	2 (1)	16.9 (16.1)	15.8 (14.6)
11 支援マニュアル、パンフレット等の配布	295 (279)	241 (226)	47 (50)	7 (3)	26.8 (26.1)	25.1 (23.7)
12 オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供	356 (338)	275 (261)	64 (61)	17 (16)	32.4 (31.6)	30.3 (28.7)
13 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知	327 (303)	247 (230)	64 (58)	16 (15)	29.7 (28.4)	27.9 (25.8)
14 障害学生支援に関する講座講演等イベント	133 (118)	110 (100)	21 (17)	2 (1)	12.1 (11.0)	11.3 (10.0)
15 障害学生支援又は障害者支援に関する講義(ボランティア論等)	457 (441)	355 (340)	101 (100)	1 (1)	41.5 (41.3)	38.9 (37.5)

(注) 複数回答あり

()内は前年度数値

図8-1 活動・取組実施状況(内容別)

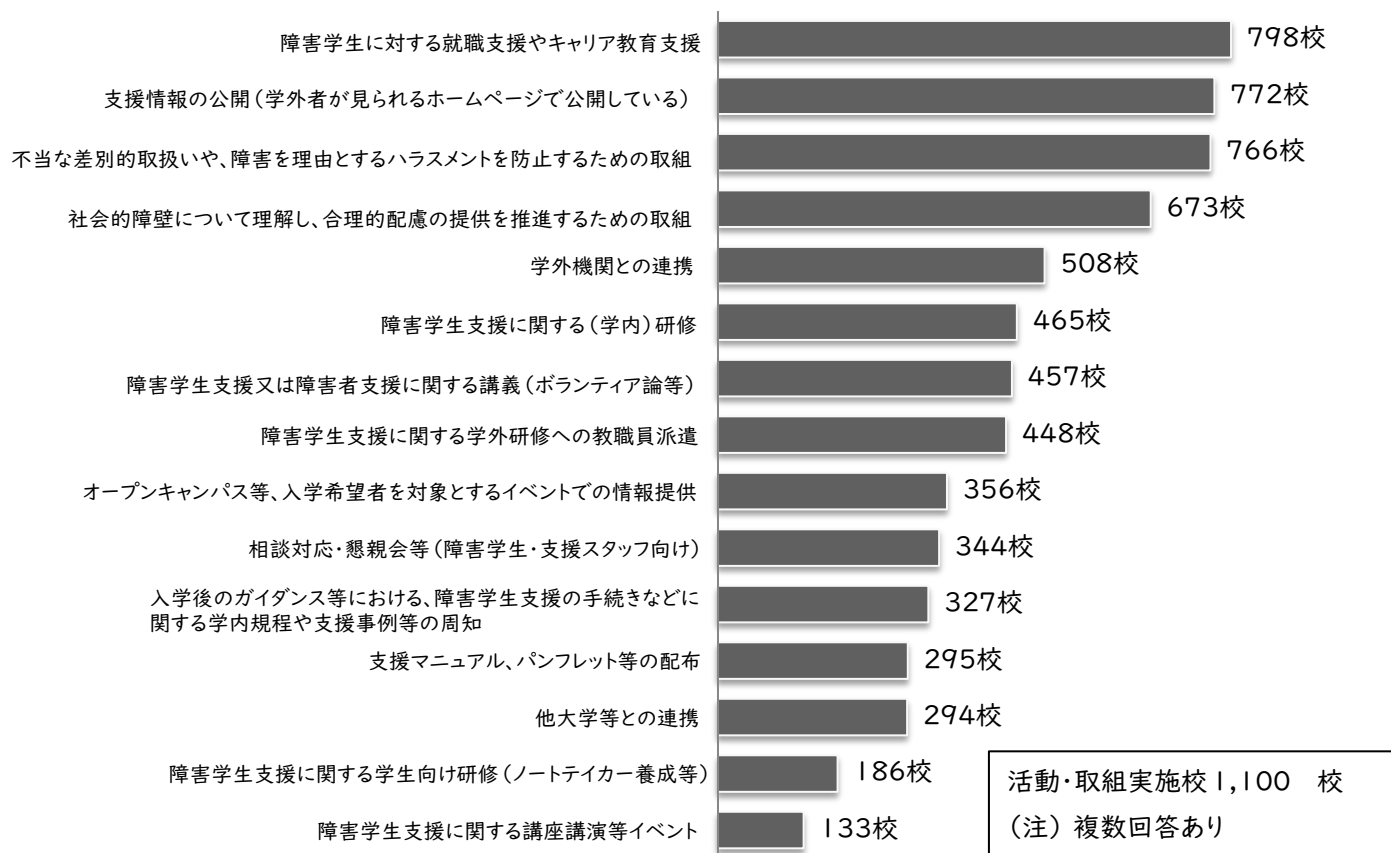


図8-2 不当な差別的取扱いや障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

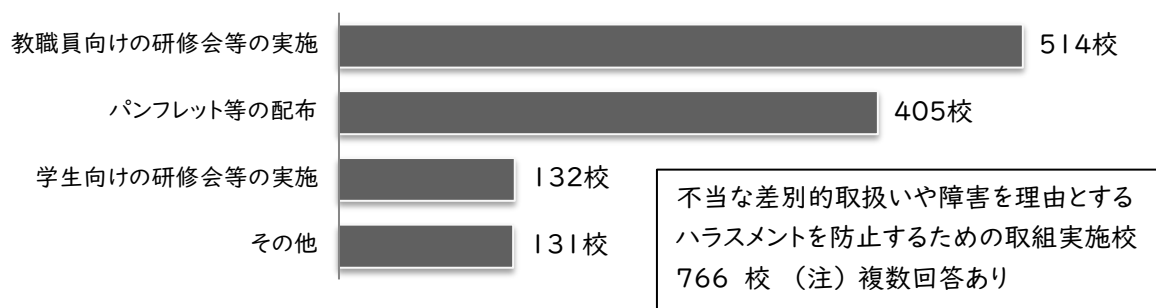


図8-3 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

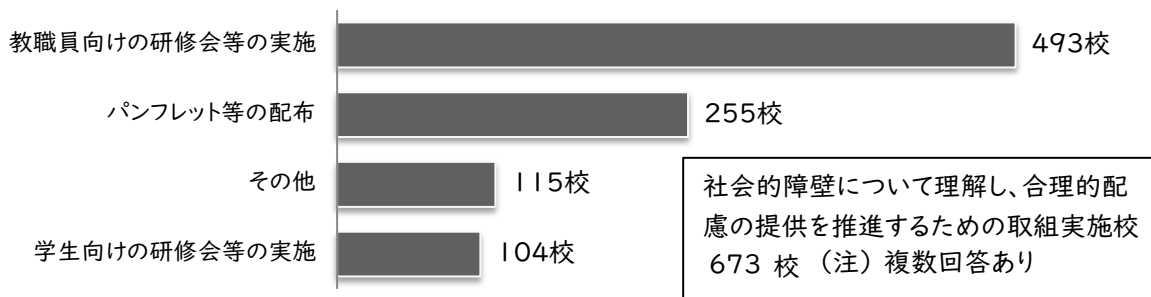


図8-4 支援情報の公開(学外者が見られるホームページで公開している)

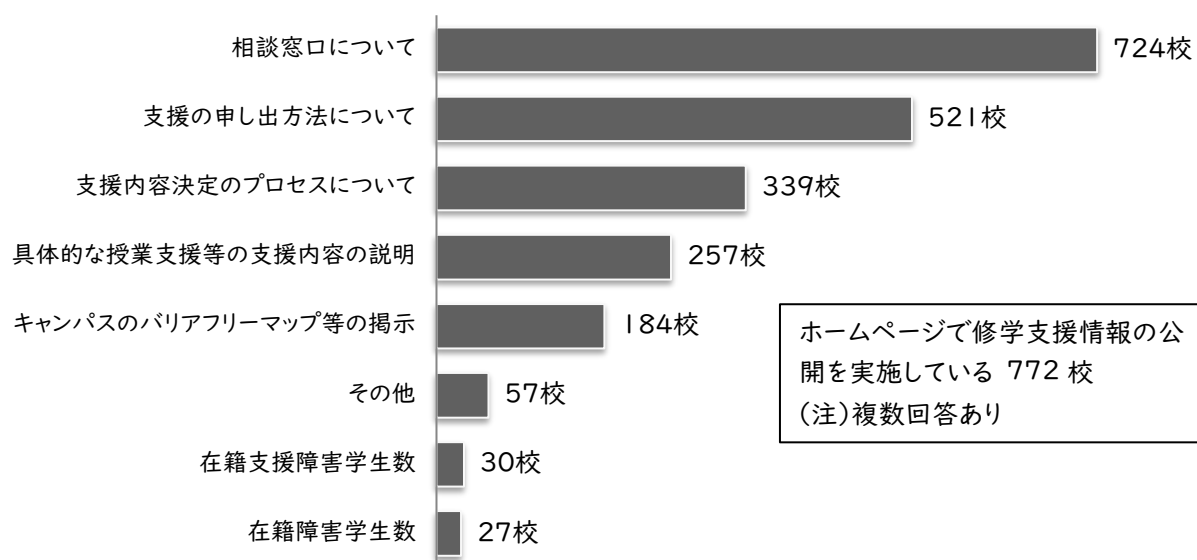
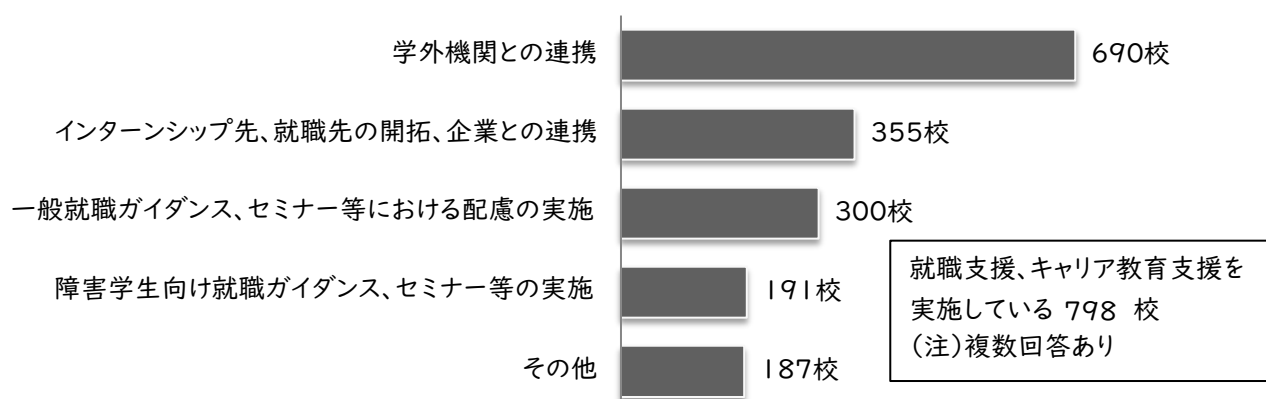


図8-5 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援



9.障害のある生徒の受入れに関する配慮及び入学者数等

(1)入学者選抜における配慮に関する体制

- 令和4年度入学者選抜において、入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況については、「入試要項（紙）及びホームページに記載」している学校が917校である。
- 入学選抜における配慮についての事前相談の受付方法については、「全学共通のルールで期間を設けている」学校が603校である。

表9-1 入試要項等への障害学生配慮に関する記載状況

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
入試要項（紙）及びホームページに記載		917	677	189	51
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		899	664	184	51
個々の困難に応じた配慮内容を記載		21	18	3	0
その他		21	17	4	0
入試要項（紙）のみに記載		124	77	43	4
「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載		115	74	37	4
個々の困難に応じた配慮内容を記載		3	2	1	0
その他		8	3	5	0
入試要項（紙）にもホームページにも記載していない		111	47	62	2

(注1) 複数回答あり

(注2) 無回答あり

表9-2 入学者選抜における配慮についての事前相談の受付方法

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
随時受け付けている		385	242	124	19
全学共通のルールで期間を設けている		603	455	114	34
出願受付締め切りまで		89	61	19	9
試験前日まで		4	2	1	1
その他		510	392	94	24
学部、学科等や入試形態によって違う		47	43	2	2
特に告知はしていないが、相談があれば対応する		135	71	62	2

(注) 無回答あり

(2) 入学者選抜において実施可能な配慮

○令和4年度入学者選抜における実施可能な配慮について、多い順に「別室を設定」が970校、「車椅子等の持参使用」が964校、「松葉杖の持参使用」が962校。

表9-3 入学者選抜において実施可能な配慮

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
点字問題を点字で解答		146	134	9	3
拡大文字問題の準備		655	493	134	28
拡大解答用紙の準備		630	476	130	24
音声で出題し音声で解答		67	55	10	2
マークシートに替えて文字で解答		172	147	19	6
チェック解答		220	187	26	7
試験時間の延長		711	540	135	36
照明器具の準備		441	321	92	28
特製機の使用		440	361	59	20
拡大鏡等の持参使用		766	569	158	39
補聴器の持参使用		892	650	196	46
車椅子等の持参使用		964	692	222	50
松葉杖の持参使用		962	687	224	51
パソコン等の持参使用		218	171	39	8
手話通訳者の付与		142	117	23	2
文書による伝達		697	524	143	30
窓側の明るい席の指定		891	637	207	47
トイレに近接する試験室に指定		916	667	203	46
別室を設定		970	692	230	48
試験室を一階に設定		688	489	160	39
介助者の付与		387	300	76	11
試験場への車での入構許可		913	656	211	46
その他		257	220	25	12

(注1) 複数回答あり

(注2) 過去に実施した実績がなく、実施可否の検討も行っていない項目については、実施可能と回答していない場合がある。

(3)障害のある入学者数等(障害種別・学校種別)

○令和4年度入学者選抜における障害のある入学者について見ると、大学及び短期大学においては「病弱・虚弱」が、高等専門学校では「発達障害」がそれぞれ最も多い。

表9-4 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (総表)

(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計	5,871	9,639	9,229	6,226	5,154	5,263	2,424
視覚障害	234	253	242	155	122	186	103
盲	39	36	33	19	17	28	16
弱視	195	217	209	136	105	158	87
聴覚・言語障害	976	1,105	1,063	588	412	949	499
聾	96	162	157	108	98	148	104
難聴	867	932	895	473	309	790	388
言語障害のみ	13	11	11	7	5	11	7
肢体不自由	461	524	504	349	285	370	220
上肢機能障害	39	54	52	41	30	30	20
下肢機能障害	180	214	207	140	108	151	85
上下肢機能障害	136	137	134	92	78	111	71
他の機能障害	106	119	111	76	69	78	44
病弱・虚弱	841	2,156	2,059	1,571	1,445	743	281
内部障害等	658	1,339	1,288	900	790	608	235
他の慢性疾患	183	817	771	671	655	135	46
重複	108	125	119	67	57	94	43
発達障害	747	1,402	1,335	1,017	879	558	265
SLD	37	51	49	38	33	22	12
ADHD	222	417	405	307	261	166	84
ASD	296	633	597	466	408	228	102
発達障害の重複	192	301	284	206	177	142	67
精神障害	1,304	2,183	2,085	1,390	1,112	1,179	529
統合失調症等	33	66	63	50	47	19	7
気分障害	100	316	303	249	217	90	46
神経症性障害等	584	960	925	576	414	601	266
摂食障害・睡眠障害等	25	81	79	67	66	17	7
他の精神障害	562	760	715	448	368	452	203
その他の障害	1,200	1,891	1,822	1,089	842	1,184	484

表9-5 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (大学)

(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
	相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計	5,669	8,627	8,229	5,248	4,192	5,147	2,324
視覚障害	225	231	220	134	102	182	100
盲	39	36	33	19	17	28	16
弱視	186	195	187	115	85	154	84
聴覚・言語障害	941	1,052	1,011	538	365	923	473
聾	91	157	152	103	93	143	99
難聴	838	885	849	429	268	770	368
言語障害のみ	12	10	10	6	4	10	6
肢体不自由	446	501	483	329	266	361	212
上肢機能障害	39	53	51	40	29	30	20
下肢機能障害	173	203	196	129	97	147	81
上下肢機能障害	131	132	129	88	74	109	70
他の機能障害	103	113	107	72	66	75	41
病弱・虚弱	813	1,839	1,745	1,261	1,135	733	274
内部障害等	642	1,177	1,126	741	631	601	230
他の慢性疾患	171	662	619	520	504	132	44
重複	104	119	113	62	52	92	42
発達障害	704	1,167	1,105	792	659	540	250
SLD	35	45	43	32	28	21	11
ADHD	210	345	333	235	190	162	80
ASD	273	511	480	353	297	219	95
発達障害の重複	186	266	249	172	144	138	64
精神障害	1,268	2,026	1,928	1,237	961	1,157	510
統合失調症等	32	64	61	48	45	19	7
気分障害	97	292	279	225	193	90	46
神経症性障害等	573	906	871	523	363	592	257
摂食障害・睡眠障害等	23	68	66	54	53	17	7
他の精神障害	543	696	651	387	307	439	193
その他の障害	1,168	1,692	1,624	895	652	1,159	463

(注) 相談者、志願者、受験者、合格者は延べ数、入学者は実数である。

表9-6 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (短期大学)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計		134	552	551	542	528	75	67
視覚障害		7	12	12	11	10	4	3
盲		0	0	0	0	0	0	0
弱視		7	12	12	11	10	4	3
聴覚・言語障害		25	33	32	31	28	17	17
聾		5	5	5	5	5	5	5
難聴		19	27	26	25	22	11	11
言語障害のみ		1	1	1	1	1	1	1
肢体不自由		11	17	17	17	16	6	6
上肢機能障害		0	1	1	1	1	0	0
下肢機能障害		6	9	9	9	9	3	3
上下肢機能障害		3	4	4	4	4	1	1
他の機能障害		2	3	3	3	2	2	2
病弱・虚弱		25	193	193	191	191	9	7
内部障害等		15	103	103	102	102	6	5
他の慢性疾患		10	90	90	89	89	3	2
重複		2	4	4	4	4	0	0
発達障害		26	73	73	71	68	13	11
SLD		2	3	3	3	2	1	1
ADHD		5	18	18	18	17	2	2
ASD		17	41	41	39	38	9	7
発達障害の重複		2	11	11	11	11	1	1
精神障害		22	116	116	115	113	12	11
統合失調症等		1	2	2	2	2	0	0
気分障害		3	23	23	23	23	0	0
神経症性障害等		9	43	43	43	41	8	8
摂食障害・睡眠障害等		2	8	8	8	8	0	0
他の精神障害		7	40	40	39	39	4	3
その他の障害		16	104	104	102	98	14	12

表9-7 障害のある相談者・志願者・受験者・合格者・入学者数 [障害種別・学校種別] (高等専門学校)

	(人)	※の内で受験上の配慮を実施した数						
		相談者	志願者	受験者※	合格者※	入学者	受験者	合格者
計		68	460	449	436	434	41	33
視覚障害		2	10	10	10	10	0	0
盲		0	0	0	0	0	0	0
弱視		2	10	10	10	10	0	0
聴覚・言語障害		10	20	20	19	19	9	9
聾		0	0	0	0	0	0	0
難聴		10	20	20	19	19	9	9
言語障害のみ		0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由		4	6	4	3	3	3	2
上肢機能障害		0	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害		1	2	2	2	2	1	1
上下肢機能障害		2	1	1	0	0	1	0
他の機能障害		1	3	1	1	1	1	1
病弱・虚弱		3	124	121	119	119	1	0
内部障害等		1	59	59	57	57	1	0
他の慢性疾患		2	65	62	62	62	0	0
重複		2	2	2	1	1	2	1
発達障害		17	162	157	154	152	5	4
SLD		0	3	3	3	3	0	0
ADHD		7	54	54	54	54	2	2
ASD		6	81	76	74	73	0	0
発達障害の重複		4	24	24	23	22	3	2
精神障害		14	41	41	38	38	10	8
統合失調症等		0	0	0	0	0	0	0
気分障害		0	1	1	1	1	0	0
神経症性障害等		2	11	11	10	10	1	1
摂食障害・睡眠障害等		0	5	5	5	5	0	0
他の精神障害		12	24	24	22	22	9	7
その他の障害		16	95	94	92	92	11	9

(注) 相談者、志願者、受験者、合格者は延べ数、入学者は実数である。

(4)受験上の配慮を行なった受験者数(障害種別・学校種別)

○令和4年度入学者選抜において受験上の配慮を行なった受験者数について見ると、大学においては「精神障害」が、短期大学では「聴覚・言語障害」が、高等専門学校では「精神障害」がそれぞれ最も多い。

表9-8 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](総表)

	学部・学科(通学)							学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外				
計	5,263	5,108	1,017	403	608	6	4,091	32	118	2	3
視覚障害	186	176	81	36	43	2	95	0	10	0	0
盲	28	28	16	8	8	0	12	0	0	0	0
弱視	158	148	65	28	35	2	83	0	10	0	0
聴覚・言語障害	949	917	280	101	178	1	637	5	25	2	0
聾	148	146	89	28	61	0	57	0	2	0	0
難聴	790	762	185	72	112	1	577	5	21	2	0
言語障害のみ	11	9	6	1	5	0	3	0	2	0	0
肢体不自由	370	342	132	63	67	2	210	3	24	0	1
上肢機能障害	30	28	8	2	6	0	20	0	2	0	0
下肢機能障害	151	146	44	20	22	2	102	1	4	0	0
上下肢機能障害	111	97	52	30	22	0	45	2	11	0	1
他の機能障害	78	71	28	11	17	0	43	0	7	0	0
病弱・虚弱	743	730	123	40	82	1	607	6	7	0	0
内部障害等	608	601	95	32	62	1	506	2	5	0	0
他の慢性疾患	135	129	28	8	20	0	101	4	2	0	0
重複	94	91	23	10	13	0	68	0	2	0	1
発達障害	558	531	95	44	51	0	436	4	23	0	0
SLD	22	22	7	6	1	0	15	0	0	0	0
ADHD	166	164	21	9	12	0	143	1	1	0	0
ASD	228	217	50	22	28	0	167	3	8	0	0
発達障害の重複	142	128	17	7	10	0	111	0	14	0	0
精神障害	1,179	1,150	151	55	96	0	999	6	22	0	1
統合失調症等	19	16	2	1	1	0	14	0	3	0	0
気分障害	90	85	2	2	0	0	83	1	4	0	0
神経症性障害等	601	595	61	24	37	0	534	2	3	0	1
摂食障害・睡眠障害等	17	17	0	0	0	0	17	0	0	0	0
他の精神障害	452	437	86	28	58	0	351	3	12	0	0
その他の障害	1,184	1,171	132	54	78	0	1,039	8	5	0	0

表9-9 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](大学)

	学部・学科(通学)							学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外				
計	5,147	4,993	949	388	555	6	4,044	32	118	2	2
視覚障害	182	172	78	35	41	2	94	0	10	0	0
盲	28	28	16	8	8	0	12	0	0	0	0
弱視	154	144	62	27	33	2	82	0	10	0	0
聴覚・言語障害	923	891	268	98	169	1	623	5	25	2	0
聾	143	141	86	26	60	0	55	0	2	0	0
難聴	770	742	176	71	104	1	566	5	21	2	0
言語障害のみ	10	8	6	1	5	0	2	0	2	0	0
肢体不自由	361	333	126	62	62	2	207	3	24	0	1
上肢機能障害	30	28	8	2	6	0	20	0	2	0	0
下肢機能障害	147	142	41	19	20	2	101	1	4	0	0
上下肢機能障害	109	95	51	30	21	0	44	2	11	0	1
他の機能障害	75	68	26	11	15	0	42	0	7	0	0
病弱・虚弱	733	720	114	38	75	1	606	6	7	0	0
内部障害等	601	594	89	30	58	1	505	2	5	0	0
他の慢性疾患	132	126	25	8	17	0	101	4	2	0	0
重複	92	89	22	10	12	0	67	0	2	0	1
発達障害	540	513	85	40	45	0	428	4	23	0	0
SLD	21	21	6	6	0	0	15	0	0	0	0
ADHD	162	160	18	9	9	0	142	1	1	0	0
ASD	219	208	44	18	26	0	164	3	8	0	0
発達障害の重複	138	124	17	7	10	0	107	0	14	0	0
精神障害	1,157	1,129	137	52	85	0	992	6	22	0	0
統合失調症等	19	16	2	1	1	0	14	0	3	0	0
気分障害	90	85	2	2	0	0	83	1	4	0	0
神経症性障害等	592	587	56	23	33	0	531	2	3	0	0
摂食障害・睡眠障害等	17	17	0	0	0	0	17	0	0	0	0
他の精神障害	439	424	77	26	51	0	347	3	12	0	0
その他の障害	1,159	1,146	119	53	66	0	1,027	8	5	0	0

(注) 昨年度との変更点: 特別入試→特別選抜、AO入試→総合型選抜、推薦入試→学校推薦型選抜、一般入試→一般選抜

表9-10 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](短期大学)

	学部・学科(通学)							学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外				
計	75	74	47	15	32	0	27	0	-	-	1
視覚障害	4	4	3	1	2	0	1	0	-	-	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
弱視	4	4	3	1	2	0	1	0	-	-	0
聴覚・言語障害	17	17	8	3	5	0	9	0	-	-	0
聾	5	5	3	2	1	0	2	0	-	-	0
難聴	11	11	5	1	4	0	6	0	-	-	0
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
肢体不自由	6	6	4	1	3	0	2	0	-	-	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
下肢機能障害	3	3	2	1	1	0	1	0	-	-	0
上下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	0	0	-	-	0
他の機能障害	2	2	1	0	1	0	1	0	-	-	0
病弱・虚弱	9	9	9	2	7	0	0	0	-	-	0
内部障害等	6	6	6	2	4	0	0	0	-	-	0
他の慢性疾患	3	3	3	0	3	0	0	0	-	-	0
重複	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
発達障害	13	13	9	4	5	0	4	0	-	-	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	-	-	0
ADHD	2	2	2	0	2	0	0	0	-	-	0
ASD	9	9	6	4	2	0	3	0	-	-	0
発達障害の重複	1	1	0	0	0	0	1	0	-	-	0
精神障害	12	11	8	3	5	0	3	0	-	-	1
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
神経症性障害等	8	7	5	1	4	0	2	0	-	-	1
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0
他の精神障害	4	4	3	2	1	0	1	0	-	-	0
その他の障害	14	14	6	1	5	0	8	0	-	-	0

表9-11 受験上の配慮を行なった受験者数 [障害種別・学校種別](高等専門学校)

	学部・学科(通学)							学部・学科(通信)	大学院(通学)	大学院(通信)	専攻科
	(人)	計	特別選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜	障害者特別選抜	特別選抜以外				
計	41	41	21	0	21	0	20	-	-	-	0
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
弱視	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
聴覚・言語障害	9	9	4	0	4	0	5	-	-	-	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
難聴	9	9	4	0	4	0	5	-	-	-	0
言語障害のみ	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
肢体不自由	3	3	2	0	2	0	1	-	-	-	0
上肢機能障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
下肢機能障害	1	1	1	0	1	0	0	-	-	-	0
上下肢機能障害	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
他の機能障害	1	1	1	0	1	0	0	-	-	-	0
病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
内部障害等	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
他の慢性疾患	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
重複	2	2	1	0	1	0	1	-	-	-	0
発達障害	5	5	1	0	1	0	4	-	-	-	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
ADHD	2	2	1	0	1	0	1	-	-	-	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	-	-	-	0
精神障害	10	10	6	0	6	0	4	-	-	-	0
統合失調症等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
気分障害	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
神経症性障害等	1	1	0	0	0	0	1	-	-	-	0
摂食障害・睡眠障害等	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0
他の精神障害	9	9	6	0	6	0	3	-	-	-	0
その他の障害	11	11	7	0	7	0	4	-	-	-	0

(注) 昨年度との変更点: 特別入試→特別選抜、AO入試→総合型選抜、推薦入試→学校推薦型選抜、一般入試→一般選抜

(5)入学者選抜において実施した配慮の内容(障害種別)

○令和4年度入学者選抜において実施した配慮の内容について見ると、「別室を設定」324校、「補聴器の持参使用」225校、「トイレに近接する試験室に指定」204校などとなっている。

表9-12 入学者選抜において実施した配慮の内容 [障害種別]

	実施 (校) 校数	点 字 問 題 を 点 字 で 解 答	拡 大 文 字 問 題 の 準 備	拡 大 解 答 用 紙 の 準 備	音 声 で 出 題 し 音 声 で 解 答	マ ー ク シ ー ト に 替 え て 文 字 で 解 答	チ ェ ッ ク 解 答	試 験 時 間 の 延 長	照 明 器 具 の 準 備	特 製 机 の 使 用	拡 大 鏡 等 の 持 参 使 用	補 聴 器 の 持 参 使 用	車 椅 子 等 の 持 参 使 用	松 葉 杖 の 持 参 使 用	パ ソ コ ン 等 の 持 参 使 用	手 話 通 訳 者 の 付 与	文 書 に よ る 伝 達	窓 側 の 明 る い 席 の 指 定	ト イ レ に 近 接 す る 試 験 室 に 指 定	別 室 を 設 定	試 験 室 を 一 階 に 設 定	介 助 者 の 付 与	試 験 場 へ の 車 で の 入 構 許 可	そ の 他
実施校数	504	14	106	91	2	8	54	189	5	82	89	225	150	62	19	20	192	14	204	324	80	74	175	372
視覚障害	105	12	53	36	0	6	6	62	3	16	64	0	0	1	6	0	6	3	2	59	5	16	21	53
盲	18	11	1	1	0	0	0	12	0	1	2	0	0	0	1	0	2	0	0	10	1	6	5	9
弱視	94	1	52	35	0	6	6	52	3	15	62	0	0	1	5	0	4	3	2	52	4	10	16	46
聴覚・言語障害	278	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	215	2	0	1	19	149	3	2	37	2	2	6	203
聾	42	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	30	0	0	0	11	31	1	0	4	0	1	2	24
難聴	259	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	204	2	0	0	8	126	3	2	33	2	1	4	192
言語障害のみ	10	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	7
肢体不自由	189	0	8	17	0	0	23	59	0	41	0	1	108	38	7	0	3	1	77	73	49	35	100	103
上肢機能障害	22	0	3	5	0	0	7	10	0	4	0	0	7	2	0	0	0	0	5	9	2	4	7	11
下肢機能障害	91	0	0	0	0	0	2	2	0	12	0	0	47	27	1	0	1	0	31	23	27	9	48	46
上下肢機能障害	73	0	2	6	0	0	10	31	0	19	0	0	49	5	3	0	1	1	32	33	17	19	41	38
他の機能障害	57	0	3	6	0	0	7	18	0	11	0	1	26	6	3	0	1	0	20	20	11	9	24	29
病弱・虚弱	211	0	11	9	1	1	11	31	1	23	10	6	53	18	2	0	6	0	86	144	31	29	79	155
内部障害等	184	0	11	9	1	1	11	29	1	21	10	6	47	14	2	0	5	0	74	123	27	26	72	143
他の慢性疾患	83	0	0	0	0	0	3	4	0	4	0	0	10	6	0	0	1	0	22	49	7	5	16	54
重複	48	0	8	7	1	1	2	15	0	4	6	7	10	2	1	2	7	0	18	26	3	4	11	26
発達障害	198	1	40	24	0	2	25	76	0	5	4	2	0	0	3	1	69	4	22	142	1	6	12	127
SLD	18	1	7	4	0	0	0	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	12	0	0	0	6
ADHD	71	0	10	4	0	2	17	25	0	1	0	1	0	0	0	17	1	8	51	0	0	0	2	39
ASD	122	0	9	1	0	0	4	26	0	1	2	0	0	0	1	1	30	1	12	85	1	5	7	72
発達障害の重複	74	0	17	16	0	0	5	32	0	3	1	1	0	0	2	0	28	1	4	53	0	2	5	45
精神障害	247	0	2	3	0	1	7	26	0	3	3	5	3	0	2	0	15	3	59	179	8	6	25	189
統合失調症等	15	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	2	2	9
気分障害	33	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	4	27	0	0	3	17
神経症性障害等	154	0	0	1	0	0	1	6	0	1	0	1	2	0	1	0	2	3	30	115	5	3	11	117
摂食障害・睡眠障害等	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	7	0	1	2	11
他の精神障害	168	0	1	2	0	1	5	20	0	2	2	4	1	0	1	0	11	0	40	97	3	1	7	126
その他の障害	217	1	14	8	0	3	9	24	1	12	12	3	6	16	1	0	10	1	101	112	13	4	29	182

(注) 複数回答あり

10. 障害学生の卒業後の進路

(1) 進路状況(学校種別・障害種別)

○通学の最高年次(※)に在籍していた障害学生は(令和3年5月1日現在)9,171人で、令和3年度の卒業生は6,929人。

○卒業生の進路状況は、「進学者」が808人で「就職者」が3,834人。また、「進学者」のうち就職している者26人を加えた全就職者数は3,860人。

(※)最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表10-1 進路状況 [学校種別・障害種別] (総表)

	(令和3年5月1日現在)	(令和3年度卒業の障害学生数)	令和3年度に卒業した障害学生の進路状況(令和4年5月1日まで)													
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	訓練機関等	専修学校・外国の学校・教育者	社会福祉施設・医療機関入所	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	9,171	6,929	808	525	190	27	52	14	26	3,834	59	119	101	287	1,136	585
視覚障害	119	102	12	9	2	0	1	0	0	55	0	5	1	6	17	6
盲	20	18	4	3	1	0	0	0	0	7	0	2	0	0	4	1
弱視	99	84	8	6	1	0	1	0	0	48	0	3	1	6	13	5
聴覚・言語障害	428	378	40	30	8	0	1	1	0	283	5	5	1	8	30	6
聾	125	104	2	1	1	0	0	0	0	79	0	1	1	4	13	4
難聴	295	268	38	29	7	0	1	1	0	198	5	4	0	4	17	2
言語障害のみ	8	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	361	311	33	25	8	0	0	0	0	196	1	7	5	6	52	11
上肢機能障害	69	62	10	7	3	0	0	0	0	40	0	1	0	3	4	4
下肢機能障害	122	104	13	10	3	0	0	0	0	68	0	0	1	1	19	2
上下肢機能障害	113	95	8	7	1	0	0	0	0	58	1	4	4	1	17	2
他の機能障害	57	50	2	1	1	0	0	0	0	30	0	2	0	1	12	3
病弱・虚弱	2,173	1,877	204	113	55	16	17	3	6	1,247	16	33	9	72	184	112
内部障害等	1,351	1,158	122	76	32	6	7	1	5	763	11	18	6	41	114	83
他の慢性疾患	822	719	82	37	23	10	10	2	1	484	5	15	3	31	70	29
重複	104	81	11	8	3	0	0	0	0	41	1	3	0	4	15	6
発達障害	2,166	1,548	204	127	50	3	19	5	2	674	5	39	59	68	349	150
SLD	52	42	6	2	3	0	0	1	0	19	0	2	0	1	9	5
ADHD	721	467	57	38	15	0	3	1	1	239	2	5	7	23	80	54
ASD	1,043	786	102	63	25	3	8	3	1	316	1	20	43	33	202	69
発達障害の重複	350	253	39	24	7	0	8	0	0	100	2	12	9	11	58	22
精神障害	3,177	2,097	216	172	29	3	8	4	1	996	28	21	25	111	439	261
統合失調症等	196	124	10	5	3	1	0	1	0	45	1	5	1	8	38	16
気分障害	998	615	68	56	8	1	2	1	0	279	6	4	8	32	131	87
神経性障害等	1,091	756	81	62	13	0	4	2	0	379	15	5	3	44	128	101
摂食障害・睡眠障害等	190	136	18	18	0	0	0	0	0	73	5	5	0	6	20	9
他の精神障害	702	466	39	31	5	1	2	0	1	220	1	2	13	21	122	48
その他の障害	643	535	88	41	35	5	6	1	17	342	3	6	1	12	50	33

(注) 進学者でかつ就職もしている者の数は、進学者の計に含まれる。

表10-2 進路状況 [学校種別・障害種別] (大学)

	令和3年度に卒業した障害学生の進路状況(令和4年5月1日までに)															
	(令和3年5月1日現在)	(令和3年3月31日まで)	進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	訓練機関等	専修学校・外国の学校・教育者	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	8,137	6,010	612	520	67	1	13	11	26	3,306	59	108	96	236	1,031	562
視覚障害	112	96	12	9	2	0	1	0	0	52	0	5	1	5	15	6
盲	19	17	4	3	1	0	0	0	0	6	0	2	0	0	4	1
弱視	93	79	8	6	1	0	1	0	0	46	0	3	1	5	11	5
聴覚・言語障害	390	341	35	30	4	0	0	1	0	257	5	3	1	7	27	6
聾	122	101	2	1	1	0	0	0	0	78	0	1	1	3	12	4
難聴	262	236	33	29	3	0	0	1	0	175	5	2	0	4	15	2
言語障害のみ	6	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	331	284	27	25	2	0	0	0	0	179	1	7	5	5	49	11
上肢機能障害	63	57	8	7	1	0	0	0	0	37	0	1	0	3	4	4
下肢機能障害	111	94	11	10	1	0	0	0	0	61	0	0	1	1	18	2
上下肢機能障害	106	89	7	7	0	0	0	0	0	54	1	4	4	1	16	2
他の機能障害	51	44	1	1	0	0	0	0	0	27	0	2	0	0	11	3
病弱・虚弱	1,823	1,550	136	112	17	0	5	2	6	1,037	16	28	6	56	166	105
内部障害等	1,164	984	91	76	12	0	2	1	5	646	11	16	3	36	103	78
他の慢性疾患	659	566	45	36	5	0	3	1	1	391	5	12	3	20	63	27
重複	98	76	10	8	2	0	0	0	0	39	1	2	0	4	14	6
発達障害	1,918	1,323	145	125	14	1	2	3	2	561	5	38	57	57	317	143
SLD	44	34	3	2	0	0	0	1	0	14	0	2	0	1	9	5
ADHD	653	413	47	38	7	0	1	1	1	203	2	5	7	20	77	52
ASD	911	662	68	61	5	1	0	1	1	262	1	20	41	25	181	64
発達障害の重複	310	214	27	24	2	0	1	0	0	82	2	11	9	11	50	22
精神障害	2,938	1,907	188	172	7	0	5	4	1	903	28	20	25	91	400	252
統合失調症等	180	111	8	5	2	0	0	1	0	40	1	5	1	5	36	15
気分障害	938	570	60	56	2	0	1	1	0	261	6	4	8	25	120	86
神経症性障害等	1,014	695	69	62	1	0	4	2	0	351	15	4	3	38	117	98
摂食障害・睡眠障害等	173	122	18	18	0	0	0	0	0	64	5	5	0	6	15	9
他の精神障害	633	409	33	31	2	0	0	0	1	187	1	2	13	17	112	44
その他の障害	527	433	59	39	19	0	0	1	17	278	3	5	1	11	43	33

(注) 進学者でかつ就職もしている者の数は、進学者の計に含まれる。

表10-3 進路状況 [学校種別・障害種別] (短期大学)

	令和3年度に卒業した障害学生の進路状況 (令和4年5月1日まで)															
	(令和3年度卒業した障害学生数)	(令和3年度卒業した障害学生数)	進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	訓練機関等	専修学校・外国の学校・教育者	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	720	617	106	1	71	26	6	2	0	342	0	9	4	46	91	19
視覚障害	6	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0
盲	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
弱視	5	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0
聴覚・言語障害	21	20	0	0	0	0	0	0	0	14	0	2	0	1	3	0
聾	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
難聴	17	16	0	0	0	0	0	0	0	12	0	2	0	0	2	0
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	23	20	5	0	5	0	0	0	0	11	0	0	0	1	3	0
上肢機能障害	5	4	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	9	8	2	0	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0
上下肢機能障害	4	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0
他の機能障害	5	5	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0
病弱・虚弱	270	251	41	0	23	16	1	1	0	164	0	5	3	15	17	6
内部障害等	144	132	17	0	11	6	0	0	0	89	0	2	3	5	11	5
他の慢性疾患	126	119	24	0	12	10	1	1	0	75	0	3	0	10	6	1
重複	5	4	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
発達障害	116	98	23	1	17	2	2	1	0	37	0	0	1	8	24	5
SLD	5	5	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
ADHD	31	20	4	0	4	0	0	0	0	9	0	0	0	3	2	2
ASD	67	60	14	1	8	2	2	1	0	19	0	0	1	5	18	3
発達障害の重複	13	13	4	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	0
精神障害	200	154	21	0	17	3	1	0	0	71	0	0	0	19	35	8
統合失調症等	13	10	1	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	3	2	0
気分障害	48	36	6	0	4	1	1	0	0	11	0	0	0	7	11	1
神経性障害等	67	51	11	0	11	0	0	0	0	23	0	0	0	5	9	3
摂食障害・睡眠障害等	13	10	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	4	0
他の精神障害	59	47	3	0	2	1	0	0	0	27	0	0	0	4	9	4
その他の障害	79	65	15	0	8	5	2	0	0	41	0	1	0	1	7	0

(注) 進学者でかつ就職もしている者の数は、進学者の計に含まれる。

表10-4 進路状況 [学校種別・障害種別] (高等専門学校)

	令和3年度に卒業した障害学生の進路状況(令和4年5月1日まで)															
	(令和3年度卒業した障害学生数)	(令和3年度卒業した障害学生数)	進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	訓練機関等	専門学校・外国の学校・教育者	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者
計	314	302	90	4	52	0	33	1	0	186	0	2	1	5	14	4
視覚障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
盲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
弱視	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚・言語障害	17	17	5	0	4	0	1	0	0	12	0	0	0	0	0	0
聾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
難聴	16	16	5	0	4	0	1	0	0	11	0	0	0	0	0	0
言語障害のみ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	7	7	1	0	1	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0
上肢機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
下肢機能障害	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
上下肢機能障害	3	3	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
他の機能障害	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
病弱・虚弱	80	76	27	1	15	0	11	0	0	46	0	0	0	1	1	1
内部障害等	43	42	14	0	9	0	5	0	0	28	0	0	0	0	0	0
他の慢性疾患	37	34	13	1	6	0	6	0	0	18	0	0	0	1	1	1
重複	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
発達障害	132	127	36	1	19	0	15	1	0	76	0	1	1	3	8	2
SLD	3	3	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	37	34	6	0	4	0	2	0	0	27	0	0	0	0	1	0
ASD	65	64	20	1	12	0	6	1	0	35	0	0	1	3	3	2
発達障害の重複	27	26	8	0	1	0	7	0	0	13	0	1	0	0	4	0
精神障害	39	36	7	0	5	0	2	0	0	22	0	1	0	1	4	1
統合失調症等	3	3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
気分障害	12	9	2	0	2	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0
神経症性障害等	10	10	1	0	1	0	0	0	0	5	0	1	0	1	2	0
摂食障害・睡眠障害等	4	4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0
他の精神障害	10	10	3	0	1	0	2	0	0	6	0	0	0	0	1	0
その他の障害	37	37	14	2	8	0	4	0	0	23	0	0	0	0	0	0

(注) 進学者でかつ就職もしている者の数は、進学者の計に含まれる。

表10-5 障害学生の卒業率と就職率 [障害種別]

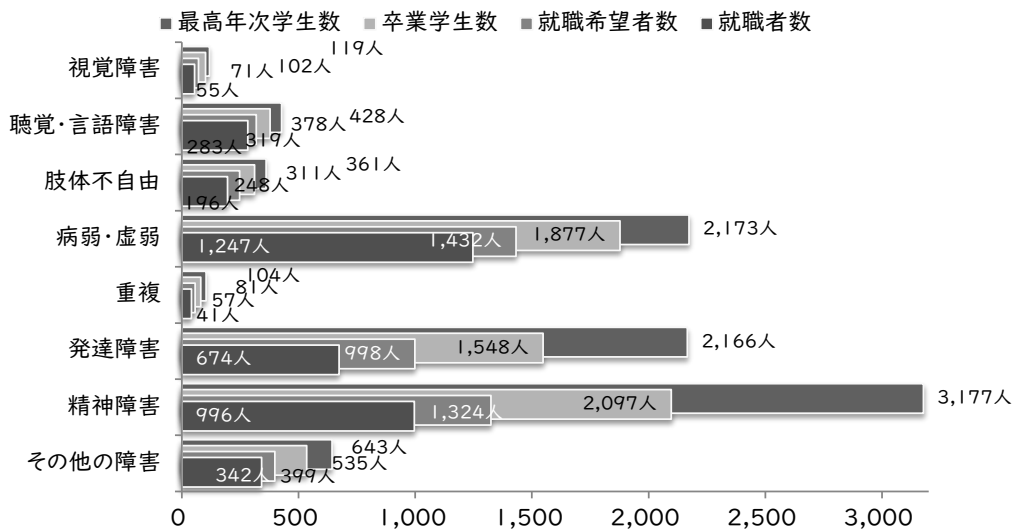
	最高年次 (人) 学生数	卒業学生 数	就職希望 者数	就職者数	卒業率 (%)	就職希望 率(%)	就職率 (%)
計	9,171	6,929	4,848	3,834	75.6	70.0	79.1
視覚障害	119	102	71	55	85.7	69.6	77.5
盲	20	18	9	7	90.0	50.0	77.8
弱視	99	84	62	48	84.8	73.8	77.4
聴覚・言語障害	428	378	319	283	88.3	84.4	88.7
聾	125	104	91	79	83.2	87.5	86.8
難聴	295	268	222	198	90.8	82.8	89.2
言語障害のみ	8	6	6	6	75.0	100.0	100.0
肢体不自由	361	311	248	196	86.1	79.7	79.0
上肢機能障害	69	62	50	40	89.9	80.6	80.0
下肢機能障害	122	104	81	68	85.2	77.9	84.0
上下肢機能障害	113	95	78	58	84.1	82.1	74.4
他の機能障害	57	50	39	30	87.7	78.0	76.9
病弱・虚弱	2,173	1,877	1,432	1,247	86.4	76.3	87.1
内部障害等	1,351	1,158	877	763	85.7	75.7	87.0
他の慢性疾患	822	719	555	484	87.5	77.2	87.2
重複	104	81	57	41	77.9	70.4	71.9
発達障害	2,166	1,548	998	674	71.5	64.5	67.5
SLD	52	42	26	19	80.8	61.9	73.1
ADHD	721	467	314	239	64.8	67.2	76.1
ASD	1,043	786	497	316	75.4	63.2	63.6
発達障害の重複	350	253	161	100	72.3	63.6	62.1
精神障害	3,177	2,097	1,324	996	66.0	63.1	75.2
統合失調症等	196	124	79	45	63.3	63.7	57.0
気分障害	998	615	367	279	61.6	59.7	76.0
神経症性障害等	1,091	756	476	379	69.3	63.0	79.6
摂食障害・睡眠障害等	190	136	88	73	71.6	64.7	83.0
他の精神障害	702	466	314	220	66.4	67.4	70.1
その他の障害	643	535	399	342	83.2	74.6	85.7

(注1) 卒業率: 卒業学生数÷最高年次学生数×100(%)

(注2) 就職希望率: 就職希望者数÷卒業学生数×100(%)

(注3) 就職率: 就職者数÷就職希望者数×100(%)

図10-1 障害学生の卒業及び就職の状況



11. 発達障害学生支援状況(一部再掲)

発達障害のある障害学生(以下「発達障害学生」という。)及び発達障害のある支援障害学生(以下「支援発達障害学生」という。)に関しては、診断書のある発達障害学生に加え、診断書はないものの発達障害があることが推察され教育上の配慮を行なっている者(特別な支援を行なっていない者は除く。)についても調査した。

(1) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学校種別)

○発達障害学生(診断書有)は10,288人で、このうち支援障害学生は7,164人。

○支援発達障害学生(診断書無・配慮有)は2,561人。支援発達障害学生(診断書有)と合わせると9,725人。

表11-1 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学校種別]

	発達障害学生数				支援発達障害学生数			
	(人)	大学	短期大学	高等 専門学校	大学	短期大学	高等 専門学校	
計					9,725	8,679	361	685
診断書有(再掲)	10,288	8,811	317	1,160	7,164	6,483	220	461
SLD	254	220	13	21	181	162	7	12
ADHD	3,421	2,955	105	361	2,346	2,161	62	123
ASD	4,640	3,911	148	581	3,151	2,828	110	213
重複	1,973	1,725	51	197	1,486	1,332	41	113
診断書無・配慮有	—	—	—	—	2,561	2,196	141	224
SLD	—	—	—	—	56	37	13	6
ADHD	—	—	—	—	764	660	31	73
ASD	—	—	—	—	1,126	1,012	37	77
区分不明	—	—	—	—	615	487	60	68

(2) 発達障害学生数及び支援発達障害学生数(学科(専攻)別)

○支援発達障害学生数(①+②)を学科(専攻)別に見ると、大学では、多い順に「人文科学」2,143人、「社会科学」1,835人。短期大学では、多い順に「教育」80人、「社会」65人。高等専門学校では、ほとんどの障害学生(674人)が「工業」に在籍している。

表11-2 発達障害学生数及び支援発達障害学生数 [学科(専攻)別]

	発達障害学生数				支援発達障害学生数								区分不明			
	診断書有(再掲)	①+②			①診断書有(再掲)				②診断書無・配慮有							
(人)	S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D H D	A S D	発達障害の重複	S L D	A D H D	A S D	
計	10,288	254	3,421	4,640	1,973	9,725	7,164	181	2,346	3,151	1,486	2,561	56	764	1,126	615
大学	8,811	220	2,955	3,911	1,725	8,679	6,483	162	2,161	2,828	1,332	2,196	37	660	1,012	487
人文科学	2,006	43	688	907	368	2,143	1,564	37	551	687	289	579	13	161	248	157
社会科学	1,863	51	618	845	349	1,835	1,340	39	435	602	264	495	5	146	237	107
理学	583	8	166	267	142	586	465	5	131	208	121	121	0	31	77	13
工学	1,723	36	526	806	355	1,666	1,240	20	363	580	277	426	6	132	213	75
農学	445	13	141	182	109	425	356	10	114	139	93	69	0	23	37	9
保健(医・歯学)	76	0	29	38	9	98	51	0	20	24	7	47	0	17	15	15
保健(医・歯学を除く)	366	9	150	149	58	318	243	7	100	96	40	75	4	17	37	17
商船	6	0	5	1	0	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0
家政	121	1	53	48	19	129	85	0	38	34	13	44	1	9	9	25
教育	376	16	175	129	56	384	280	13	130	97	40	104	5	36	38	25
芸術	633	15	212	277	129	472	382	8	135	157	82	90	2	40	34	14
その他	613	28	192	262	131	620	474	23	142	203	106	146	1	48	67	30
短期大学	317	13	105	148	51	361	220	7	62	110	41	141	13	31	37	60
人文	53	0	13	29	11	53	39	0	5	24	10	14	1	2	7	4
社会	51	4	17	23	7	65	39	2	10	20	7	26	1	6	5	14
教養	4	0	2	2	0	12	3	0	1	2	0	9	0	4	4	1
工業	15	0	3	6	6	16	15	0	3	6	6	1	0	0	1	0
農業	6	0	3	2	1	4	4	0	2	1	1	0	0	0	0	0
保健	7	0	6	1	0	11	5	0	4	1	0	6	0	2	2	2
家政	67	4	19	32	12	62	43	2	13	21	7	19	4	4	4	7
教育	48	2	27	15	4	80	28	1	16	8	3	52	7	10	12	23
芸術	39	1	12	19	7	37	29	1	6	16	6	8	0	3	1	4
その他	27	2	3	19	3	21	15	1	2	11	1	6	0	0	1	5
高等専門学校	1,160	21	361	581	197	685	461	12	123	213	113	224	6	73	77	68
社会	2	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
工業	1,147	21	356	578	192	674	456	12	122	212	110	218	6	72	77	63
商船	8	0	4	0	4	9	3	0	1	0	2	6	0	1	0	5
芸術	3	0	0	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0

(3) 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数(学校種別)

- 「発達障害学生(診断書有)又は発達障害学生(診断書無・配慮有)が1人以上在籍する学校」は810校で、全学校数(1,174校)に占めるその在籍校の割合は69.0%。
- 「支援発達障害学生(診断書有)又は発達障害学生(診断書無・配慮有)が1人以上在籍する学校」は734校で、全学校数(1,174校)に占めるその在籍校の割合は62.5%。

表11-3 発達障害学生在籍学校数及び支援発達障害学生在籍学校数 [学校種別]

	(校)	計	大学	短期大学	高等専門学校
発達障害学生(診断書有)又は発達障害学生(診断書無・配慮有)が1人以上在籍する学校数		810	609	145	56
発達障害学生(診断書有)が1人以上在籍する学校数		770	592	124	54
SLD		173	147	12	14
ADHD		603	485	68	50
ASD		643	510	81	52
発達障害の重複		440	362	34	44
支援発達障害学生(診断書有)又は発達障害学生(診断書無・配慮有)が1人以上在籍する学校数		734	555	125	54
支援発達障害学生(診断書有)が1人以上在籍する学校数		679	527	100	52
SLD		138	120	7	11
ADHD		494	412	43	39
ASD		548	437	65	46
発達障害の重複		376	309	28	39
発達障害学生(診断書無・配慮有)が1人以上在籍する学校数		384	288	65	31
SLD		44	33	6	5
ADHD		199	158	22	19
ASD		222	190	18	14
区分不明		191	139	35	17
全体の学校数		1,174	813	304	57

(4) 発達障害のある学生への支援（支援内容別）

○「支援発達障害学生（診断書有）又は発達障害学生（診断書無・配慮有）が在籍する学校」734校で行なわれている支援内容については、授業支援では、多い順に「配慮依頼文書の配付」495校、「授業内容の代替、提出期限延長等」365校、「出席に関する配慮」345校。授業以外の支援では、多い順に「専門家によるカウンセリング」432校、「自己管理指導」296校、「対人関係配慮」262校。

表11-4 支援発達障害学生への主な支援内容〔授業支援及び授業以外の支援〕

	(校)	計	大学	短期大学	高等 専門学校
授業支援		680	524	107	49
配慮依頼文書の配付		495	413	55	27
授業内容の代替、提出期限延長等		365	314	29	22
出席に関する配慮		345	307	24	14
講義に関する配慮		343	292	35	16
学習指導		287	223	32	32
教室内座席配慮		281	228	33	20
注意事項等文書伝達		273	235	23	15
履修支援		234	208	24	2
試験時間延長・別室受験		181	154	12	15
実技・実習配慮		171	127	23	21
授業以外の支援		589	452	88	49
専門家によるカウンセリング		432	343	48	41
自己管理指導		296	246	23	27
対人関係配慮		262	201	31	30
就職支援情報の提供、支援機関の紹介		224	190	26	8
医療機関との連携		183	154	10	19
キャリア教育		174	148	18	8
就職先の開拓、就職活動支援		169	136	24	9
居場所の確保		164	128	17	19
障害学生向け求人情報の提供		142	126	11	5
情報取得支援		135	117	9	9

(5)発達障害を理由とする受験上の配慮(学校種別)

○令和4年度入学者選抜における発達障害を理由とする受験上の配慮については、「診断書有」の受験者は558人で、多い順に学部・学科(通学)の「特別選抜以外」の受験者436人、「特別選抜」の受験者95人、「特別選抜」の中では、「学校推薦型選抜」の受験者51人、「総合型選抜」の44人。「診断書無・配慮有」の受験者は29人で、学部・学科(通学)の「特別選抜以外」の受験者17人、「特別選抜」の「総合型選抜」及び「学校推薦型選抜」の受験者がそれぞれ5人となっている。

表11-5 発達障害を理由とする受験上の配慮を行なった受験者数 [学校種別]

	学部・学科(通学)							学部・ 学科 (通信)	大学院 (通学)	大学院 (通信)	専攻科
	(人)	計	特別選抜	総合型選 抜	学校推薦 型選抜	障害者 特別選抜	特別選 抜以外				
診断書有(再掲)	558	531	95	44	51	0	436	4	23	0	0
大学	540	513	85	40	45	0	428	4	23	0	0
SLD	21	21	6	6	0	0	15	0	0	0	0
ADHD	162	160	18	9	9	0	142	1	1	0	0
ASD	219	208	44	18	26	0	164	3	8	0	0
発達障害の重複	138	124	17	7	10	0	107	0	14	0	0
短期大学	13	13	9	4	5	0	4	0	—	—	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	0	—	—	0
ADHD	2	2	2	0	2	0	0	0	—	—	0
ASD	9	9	6	4	2	0	3	0	—	—	0
発達障害の重複	1	1	0	0	0	0	1	0	—	—	0
高等専門学校	5	5	1	0	1	0	4	—	—	—	0
SLD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
ADHD	2	2	1	0	1	0	1	—	—	—	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	—	—	—	0
発達障害の重複	3	3	0	0	0	0	3	—	—	—	0
診断書無・配慮有	29	27	10	5	5	0	17	1	0	0	1
大学	21	20	7	4	3	0	13	1	0	0	0
SLD	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0
ADHD	4	4	2	0	2	0	2	0	0	0	0
ASD	9	9	1	1	0	0	8	0	0	0	0
区分不明	6	5	2	2	0	0	3	1	0	0	0
短期大学	2	1	1	0	1	0	0	0	—	—	1
SLD	1	0	0	0	0	0	0	0	—	—	1
ADHD	1	1	1	0	1	0	0	0	—	—	0
ASD	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
区分不明	0	0	0	0	0	0	0	0	—	—	0
高等専門学校	6	6	2	1	1	0	4	—	—	—	0
SLD	1	1	1	0	1	0	0	—	—	—	0
ADHD	3	3	0	0	0	0	3	—	—	—	0
ASD	1	1	0	0	0	0	1	—	—	—	0
区分不明	1	1	1	1	0	0	0	—	—	—	0

(注) 昨年度との変更点:特別入試→特別選抜、AO入試→総合型選抜、推薦入試→学校推薦型選抜、一般入試→一般選抜

(6)発達障害学生の卒業後の進路状況(学校種別)

○「診断書有」の学生について、通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書有」の学生は、(令和3年5月1日現在)2,166人。令和3年度卒業生は1,548人。卒業生の進路状況は、進学が204人、就職が674人。

○「診断書無・配慮有」の学生について、通学制の最高年次(※)に在籍していた「診断書無・配慮有」の学生は、(令和3年5月1日現在)840人。令和3年度卒業生は652人。卒業後の進路状況は、進学が69人、就職が313人。

(※)最高年次とは「大学:4年次及び6年次、短期大学:2年次(3年制の場合は3年次)、高等専門学校:5年次」をいう。

表11-6 発達障害学生の卒業後の進路状況 [学校種別]

	(最高年次障害学生数現在)	(令和3年度卒業障害学生数)	令和3年度に卒業した障害学生の進路状況(令和4年5月1日まで)							(進学者でかつ就職もしている者)	就職者(左記を除く)	臨床研修医(予定者を含む)	訓練機関等	専修学校・外国の学校・教育者	社会福祉施設・医療機関入所者	一時的な職に就いた者	左記以外の者	死亡・不詳の者
			進学者	大学院研究科	大学学部	短期大学本科	専攻科	別科	別科									
計	3,006	2,200	273	174	64	6	24	5	3	987	7	49	66	104	475	239		
診断書有(再掲)	2,166	1,548	204	127	50	3	19	5	2	674	5	39	59	68	349	150		
大学	1,918	1,323	145	125	14	1	2	3	2	561	5	38	57	57	317	143		
SLD	44	34	3	2	0	0	0	1	0	14	0	2	0	1	9	5		
ADHD	653	413	47	38	7	0	1	1	1	203	2	5	7	20	77	52		
ASD	911	662	68	61	5	1	0	1	1	262	1	20	41	25	181	64		
発達障害の重複	310	214	27	24	2	0	1	0	0	82	2	11	9	11	50	22		
短期大学	116	98	23	1	17	2	2	1	0	37	0	0	1	8	24	5		
SLD	5	5	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		
ADHD	31	20	4	0	4	0	0	0	0	9	0	0	0	3	2	2		
ASD	67	60	14	1	8	2	2	1	0	19	0	0	1	5	18	3		
発達障害の重複	13	13	4	0	4	0	0	0	0	5	0	0	0	0	4	0		
高等専門学校	132	127	36	1	19	0	15	1	0	76	0	1	1	3	8	2		
SLD	3	3	2	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
ADHD	37	34	6	0	4	0	2	0	0	27	0	0	0	0	1	0		
ASD	65	64	20	1	12	0	6	1	0	35	0	0	1	3	3	2		
発達障害の重複	27	26	8	0	1	0	7	0	0	13	0	1	0	0	4	0		
診断書無・配慮有	840	652	69	47	14	3	5	0	1	313	2	10	7	36	126	89		
大学	746	567	52	47	5	0	0	0	0	271	2	9	6	25	116	86		
SLD	17	14	0	0	0	0	0	0	0	10	0	1	0	1	2	0		
ADHD	195	148	14	10	4	0	0	0	0	78	1	2	0	6	24	23		
ASD	338	258	28	27	1	0	0	0	0	118	0	4	3	9	50	46		
区分不明	196	147	10	10	0	0	0	0	0	65	1	2	3	9	40	17		
短期大学	68	61	9	0	3	3	3	0	1	32	0	1	1	11	7	0		
SLD	4	4	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0		
ADHD	27	22	1	0	1	0	0	0	0	14	0	1	0	5	1	0		
ASD	15	14	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	2	2	0		
区分不明	22	21	6	0	2	3	1	0	1	6	0	0	1	4	4	0		
高等専門学校	26	24	8	0	6	0	2	0	0	10	0	0	0	0	3	3		
SLD	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
ADHD	6	6	2	0	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0		
ASD	6	6	3	0	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0		
区分不明	13	11	3	0	1	0	2	0	0	3	0	0	0	0	2	3		

(注) 進学者でかつ就職もしている者の数は、進学者の計に含まれる。

< IV. 参考資料 >

調査の手引

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2021.html

令和 4 年度 (2022 年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における
障害のある学生の修学支援に関する実態調査

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点	4
III. 各シートについて	8
IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定	14
V. 本調査における用語の定義	15
FAQ よくある質問集	22

調査の手引

I. 調査の概要

本調査は、全国すべての大学、短期大学、高等専門学校を対象とし、障害のある学生の状況および修学支援に関する基本的事項を明らかにし、修学支援のより一層の充実を図ることを目的とした、悉皆統計調査であり、独立行政法人日本学生支援機構(以下JASSO)が毎年実施しています。

調査は、統計的に処理を行ない、個々の学校の状況は公表しません。

学校単位の個別情報や個人情報保護・管理については十分な配慮を行います。収集した情報は、研究及び政策立案のために使用しますが、学校及び個人が特定できる分析は行ないません。

〔1〕調査の期日 令和4年5月1日現在

支援体制、活動や取組、支援の実施については、令和4年度中を対象とする

〔2〕調査の内容

1. 学校基本情報(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 学校名と主たる所在地
 - (2) 学校全体の学生数
 - (3) 本調査の担当部署(者)
 - (4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)
2. 支援体制(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
 - (2) 障害学生支援に関する委員会等
 - (3) 紛争解決のための第三者組織
 - (4) 障害学生支援担当部署(者)
 - (5) 障害学生の相談受付窓口
 - (6) 支援の申し出等に関する対応手順
 - (7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
 - (8) 支援学生(ノートテイカー等)
3. 活動や取組(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
4. 受入に関する配慮(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 - (2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 - (3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
5. 入学者数等(障害のある学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)
 - (1) 障害のある入学者数等
 - (2) 受験上の配慮の内容
6. 令和3年度卒業生(令和3年度の学部(通学課程)最高年に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)
 - (1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

(2) 状況別卒業障害学生数(令和4年5月1日現在)

7. 障害学生数(令和4年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)

学校種別に以下の課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

■大学・大学院(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)大学院(通学課程)、(4)大学院(通信教育課程)、(5)専攻科

■短期大学(1)学部(通学課程)、(2)学部(通信教育課程)、(3)専攻科

■高等専門学校(1)学部(通学課程)、(2)専攻科

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援(令和4年度に障害のある学生が在籍する場合にご回答ください)

学校種別に全課程の表があります。障害のある学生が在籍する課程全てに記入してください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援(診断書はないか)発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援における課題

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生数

支援している学生の数、実施している支援内容(授業支援及び授業以外の支援を記入してください。)

13. 意見・要望(障害学生の在籍の有無に関わらずご回答ください)

〔3〕提出の期限 令和4年12月20日(火)

〔4〕調査結果の公表

報告書:令和5年夏頃

調査結果はJASSOウェブサイト「障害のある学生の修学支援に関する実態調査

(https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/index.html)で閲覧できます。

〔5〕調査票の配付

調査票は、「大学・大学院用」「短期大学用」「高等専門学校用」の3種類を用意しています。JASSOウェブサイトからダウンロードしてご利用ください。

なお、この「調査の手引」(PDF)はウェブサイトに掲載しています。

令和4年度(2022年度)障害のある学生の修学支援に関する実態調査

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2021.html

II. 調査票に係る取扱上の注意及び作成上の留意点

[1] 調査票(回答)の取扱上の注意

情報保護のため、メールに添付する調査票(回答)ファイルには、読み取りパスワードを設定してください。パスワードは、JASSOよりお送りした調査依頼文書(令和4年9月1日付)に記載してあります。パスワードを設定したファイルは、再度開いて、パスワードでロックを解除できることを確認の上、メールに添付して送信してください。
読み取りパスワードの設定方法については、14ページをご参照ください。

[2] 調査票(回答)の作成上の留意点

①セル、シート、ブックの編集はできません。

本調査票では、記入欄以外のところには記入できないようになっております。また、シートやセル、行、列の移動、削除、挿入等の編集もできません。ただし、行の高さは編集できます。入力内容が多く、そのままでは表示できない場合は、行の高さを広げてご対応ください。

なお、自由記述欄の結合してあるセルを分割する等、一部編集できしてしまう箇所もありますので、ご記入の際にはご注意ください。

また、セル内容をコピーして他のセルに貼り付ける場合には、必ず貼り付けオプションの「値の貼り付け」を選択してください。セル内容の全てをコピーしてしまうと、エラーチェック機能に誤動作が発生することがあります。

記入欄が足りない場合は、回答を添付するメール本文に記載するか、別表を作成して調査票(回答)とともにメールに添付してください。

②黄色のセル

本調査票には、記入すると黄色になるセルがあります。

回答が必須である設問では、セルが黄色で表示されています。回答の記入があれば白地に戻ります。また、同じ表の中で不整合が起きると、セルが黄色に表示されます。(例:委員会がある)と回答しているのに、名称等の記載がない)不整合を修正すると、白地に戻ります。

回答後のご確認の際に、各設問の右側にある【記入上の注意】を参考に、黄色のセルが残っていないかご確認ください。

③記入内容の反映

黄色のセル表示が再記入内容をすぐに反映しない場合があります。その場合は、ファイルのオプションにある「計算方法」が「手動」になっておりますので、「自動」に変更してください。

④学校名の記入

「学校名」には法人名は不要です。法人名を加えて記入(例:国立大学法人〇〇大学)すると「学校コード」にエラー表示が出ます。大学名のみを、略さず「〇〇大学」と記入してください。「学校名」を記入すると、その右上の黒帯の欄に「学校コード」が表示され、「主となる所在地の都道府県名」と都道府県番号「No.」が表示されます。「学校コード」は回答ファイルのファイル名に使用します。

○キャンパスが複数ある場合も1校1回答にまとめてください。

○大学内に短期大学部を有している場合は、大学(大学院を含む)と短期大学部の各1回答をお願いします。

○統合された学校で、旧校名での在籍学生がいる場合は、統合先の学校と合算せず、旧校名での回答をお願いします。

[6] 回答の提出

回答を記入した調査票データファイル(Excel)をメールに添付し、JASSOまで送信してください。

【回答のファイル名】

学校コード(13桁)_(アンダーバー)学校名_(アンダーバー)実態調査

(例:F123456789012_JASSO大学_実態調査)

※学校コードとは、文部科学省が各学校の識別用に割り当てているコードで、アルファベットのF(大学、短期大学)またはG(高等専門学校)で始まり、その後に12桁の数字が入っているものです。調査票の「1. 学校基本情報」シートの(1)に学校名を記入すると、上の黒帯の右端に白い文字で表示されますのでご確認ください。

【メールのタイトル】学校名

【メールの送信先】kaitou@jasso.go.jp

事情によりメールでデータファイルを送ることができない場合は、JASSO 学生生活部障害学生支援課までご相談ください。

[7] 調査に関するお問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課障害学生調査・分析係

電話:03-5520-6176 E-Mail:shienka02@jasso.go.jp

⑤「記入上の注意」

調査票各シートの記入欄の右側には、本手引の内容を含む、より具体的な「記入上の注意」を掲載しています。回答を記入する際の参考にしてください。なお、調査票を印刷する際には、この「記入上の注意」は印刷されない設定となっています。

[3] 入力支援ツールの活用について

昨年度より、ご回答内容を作成するための「入力支援ツール」を配布しています。調査のご回答は、調査票に直接入力することもできますし、以下のシートの回答を「入力支援ツール」で作成し、コピー&ペーストすることもできます。

「入力支援ツール」は、JASSO ウェブサイトの調査票と同じページからダウンロードしてください。

【入力支援ツール対応シート】

5. 入学者数等
6. 令和3年度卒業生
7. 障害学生数
8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
10. その他の障害の内訳
11. 授業支援と授業以外の支援
12. 発達障害が疑われる学生への支援

【入力支援ツールの構成】

- 診断名検索
- 障害学生情報入力シート
- 卒業生情報入力シート
- 発達障害（診断書無・配慮有）情報入力シート
- 発達障害（診断書無・配慮有）卒業生情報入力シート
- 5. 入学者数等
- 6. 令和3年度卒業生
- 7. 障害学生数
- 8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
- 9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
- 10. その他の障害の内訳
- 11. 授業支援と授業以外の支援
- 12. 発達障害が疑われる学生への支援

情報入力シートで、貴学の障害学生の情報を、学生別に記入していただくと、その集計結果が、「入力支援ツール」内のシート5～12 の回答欄に表示されるようになっていきます。ここに表された回答データをコピーし、調査票回答欄に貼り付けしてください。

※入力シート等のメリット※

- 診断名を充実させた診断名リストで診断名検索を行なうことで、障害区分がわかりやすくなりました。また、それともわからない場合は、次のメールアドレスにお問合せ下さい。
shienka02@jasso.go.jp
- 学生別に1人の情報を受験から支援内容まで1行に続けて入力できるため、学内各部署の情報集約がしやすく、支援内容と支援障害学生数の不一致等の照合が不要です。
- 学生別の情報のみ入力すれば良く、学校全体の集計作業をする必要がありません。
- 昨年度の情報入力シートの情報を、今年度の「入力支援ツール」の情報入力シートにコピー&ペーストすることができ、入学者の追加、卒業生の削除、在籍学生の支援内容の変更等を加筆修正すればよく、回答作業の負担が軽減します。

【回答作成の流れ】

1. 調査票の入手
JASSO ウェブサイトからダウンロードする

2. 回答の入力

- 1) 以下のシートには、例年同様、回答を直接入力してください。
 1. 学校基本情報
 2. 支援体制
 3. 活動や取組
 4. 受入に関する配慮
12. 発達障害が疑われる学生への支援 の(1)
13. 意見、要望
- 2) 障害学生の情報は、直接入力するか、「入力支援ツール」の以下の入力シートに、学生別に入力してください。「入力支援ツール」の詳しい使い方は、JASSO ウェブサイトに公開されている「入力支援ツールの使い方」を参照してください。
 - 障害学生情報入力シート
 - 卒業生情報入力シート
 - 発達障害（診断書無・配慮有）情報入力シート
 - 発達障害（診断書無・配慮有）卒業生情報入力シート

入力シート内の情報が反映されるシート

5. 入学者数等
6. 令和3年度卒業生
7. 障害学生数
8. 病弱・虚弱（他の慢性疾患）の内訳
9. 精神障害（他の精神障害）の内訳
10. その他の障害の内訳

11. 授業支援と授業以外の支援

12. 発達障害が疑われる学生への支援

※入力した情報の反映結果をご確認の上、回答欄をコピーし、調査票の該当シートの回答欄に、値貼り付けてください。

3. 回答の提出

作成した調査票にパスワードをかけ、メールに添付して送信してください。「入力支援ツール」は提出せず、貴学の控えとして保存してください。

[4] 昨年度との主な相違点

1. シート3.活動や取組に、以下の設問を追加しました。

⑦ 発達障害、精神障害の傾向がある学生を把握するための取組

⑧ 前項⑦の取組で実態を把握した後のフォローアップ

2. 入学者選抜の形態表記を以下のように改めました。

特別入試→特別選抜

AO入試→総合型選抜

推薦入試→学校推薦型選抜

一般入試→一般選抜

3. シート7.障害学生数及びシート12.発達障害が疑われる学生への支援において、以下の設問を削除しました。

・入学者数

・休学者数

・最低在学年限超過数

Ⅲ. 各シートについて

1. 学校基本情報

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 学校名と主となる所在地

学校名の欄に学校の名称を記入してください。法人名は不要です。学校名にアルファベットを含む場合は全角で入力してください。学校名を記入すると、13桁の学校コード、主となる所在地の欄に都道府県名、その右のNo.欄に都道府県番号が表示されます。

(2) 学校全体の学生数

令和4年5月1日現在の在籍学生数、入学者数及び令和3年度卒業生数を回答してください。対象となる学生の定義については、15ページをご参照ください。

・全学生数

学部………通学課程、通信教育課程／大学院……通学課程、通信教育課程／専攻科

・全入学者数(1年次のみ)

学部………通学課程、通信教育課程／大学院……通学課程、通信教育課程／専攻科

・令和3年度全卒業生数

学部………通学課程

(3) 本調査の担当部署(者)

本調査の担当部署名、担当者(記入者)の役職・氏名(フリガナ)・連絡先(郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-Mail アドレス)を記入してください。回答内容に関する確認等で、連絡させていただく場合がありますので、E-Mail アドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

障害学生支援の担当部署と担当者について記入してください。担当部署が複数存在する場合には、いずれか1部署を代表で記入してください。本機構の障害学生支援事業に関するご案内等をさせていただく場合がありますので、E-Mail アドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

2. 支援体制

(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等

障害者差別解消法の施行に伴い、これに適切に対応するための対応要領の策定は大学等においても国公立は義務となり、私立においては文部科学省の定める対応指針に準じた対応を行うこととされました。対応要領またはこれに準じる規程等があるかどうかについて回答してください。

(2) 障害学生支援に関する専門委員会等

障害学生支援について協議・検討する委員会等の有無について回答してください。委員会の名称及び代表者の役職等（副学長、学部長等）についても記入してください。

(3) 紛争解決のための第三者組織
障害を理由とする差別及び合理的配慮の不提供に関する紛争の防止、解決等に関する調整機関の有無について回答してください。

(4) 障害学生支援担当部署（者）
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関の有無、名称について回答してください。

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数について回答してください。兼任スタッフについては、障害学生支援に関する決まった担当者がなく関連部署・機関の全員が対応している場合は、人数は記入不要です。

(5) 障害学生の相談受付窓口
支援の申し出等、障害のある学生からの相談に対応する窓口の有無及びその周知について回答してください。

(6) 支援の申し出等に関する対応手順
支援の申し出等に関する対応手順を定めた文書について回答してください。対応手順とは、障害学生から支援の申し出を受けた際に、どのような手順で対応するかの業務の流れを指します。

対応手順の例：手順1. 関係部署・機関が対応を協議 手順2. 障害学生との面談実施 手順3. 障害学生とともに使用する施設・設備を視察……等

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
障害のある学生が学生生活を送る上で必要となる施設・設備（屋外、屋内、支援機器）について、その整備状況を記入してください。キャンパスごとに整備状況が異なる場合も学校全体の状況にまとめて回答してください。

(8) 支援学生（ノートテイカー等）
障害のある学生を支援する学生（支援学生）について、支援学生組織の有無、支援を実施した場合の待遇（有償、無償等）、組織に所属する学生数等を回答してください。

3. 活動や取組
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

令和4年度に実施する（予定含む）障害学生支援に関する活動や取組について回答してください。各項目の定義については、17ページをご参照ください。

① 不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組

② 社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組

③ 支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）

④ 障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

⑤ 他大学等との連携

⑥ 学外機関との連携

- ⑦ 相談対応・懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）
- ⑧ 障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）
- ⑨ 障害学生支援に関する（学内）職員研修（SD等）
- ⑩ 障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣
- ⑪ 障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイカー養成等）
- ⑫ 支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬ オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
- ⑭ 入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知
- ⑮ 障害学生支援に関する講座・講演等イベント
- ⑯ 障害学生支援または障害者支援に関する講義（ポランティア論等）
- ⑰ 発達障害、精神障害の傾向がある学生を把握するための取組
- ⑱ 前項⑰の取組で実態を把握した後のフォローアップ

4. 受入に関する配慮
(障害学生在籍の有無に関わらずご回答ください)

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
入学者選抜における受験上の配慮を周知している方法とその内容について回答してください。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮について、事前相談の受付方法
令和4年度入学者選抜において、実際に事前相談があったかどうかに関わらず、どのような受付方法をとっていたかを回答してください。

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮
令和4年度入学者選抜において準備していた、または受験者から申請があった場合に対応が可能であった配慮について回答してください（申請の有無は問いません）。

5. 入学者数等
(令和4年度入学者選抜において障害のある受験者がいた場合にご回答ください)

(1) 障害のある入学者数等
令和4年度入学者選抜における、障害のある相談者数、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数について回答してください。相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を、入学者数は実数を記入してください。入学後に障害のあることがわかった学生は含みません。

また、障害のある入学希望者のうち、受験者数、合格者数、入学者数について、受験上の配慮を行なった数を、課程ごと（学部（通学課程）の場合は、入学者選抜方式ごと）に回答してください。入学者選抜の方式については、18ページをご参照ください。

(2) 受験上の配慮の内容

(1)で計上した受験上の配慮の内容について回答してください。配慮の内容A～Vまでに該当しない場合は、下にある表に、該当する障害種別と具体的な内容を記入してください。

6. 令和3年度卒業生
(令和3年度、学部(通学課程)最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください)

大学は学部(通学課程)、短期大学は学科(通学制)、高等専門学校は本科の令和3年度の最高年次に障害学生が在籍していた場合にご回答ください。最高年次及び進路の定義については、18ページをご参照ください。

なお、令和3年度最高年次に在籍している留年、休学等で卒業しなかった学生は、「7. 障害学生数」にも計上してください。

- (1) 学部(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数
- ① 昨年度調査時(令和3年5月1日現在)に最高年次に在籍していた障害学生数を記入してください。
 - ② 令和3年5月2日から令和4年3月31日までに卒業した障害学生数を記入してください。
 - ③ 上記②のうち就職希望者数を記入してください。

- (2) 状況別卒業障害学生数(令和4年5月1日現在)
- (1)の②で回答した卒業生の、令和4年5月1日現在の状況を記入してください。
- ※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行っていた卒業生の進路についても別表で回答してください。

7. 障害学生数
(令和4年度に障害のある学生が在籍している場合にご回答ください)

学校種別に、それぞれ次のように表が分かれています。障害のある学生が在籍するすべての課程の表に記入してください。

- 大学・大学院
(1) 学部(通学課程)、(2) 学部(通信教育課程)、(3) 大学院(通学課程)、(4) 大学院(通信教育課程)、(5) 専攻科
- 短期大学
(1) 学部(通学課程)、(2) 学部(通信教育課程)、(3) 専攻科
- 高等専門学校
(1) 学部(通学課程)、(2) 専攻科

○障害学生数について
学科(専攻)別の該当する障害種の欄に、障害学生数と支援障害学生数を記入してください。障

害学生、支援障害学生及び各障害種の定義については、15ページをご参照ください。
※学科(専攻)の分類は学校ごとに違います。詳しくは文部科学省「学校基本調査」付属資料の「学科系統分類表」をご確認ください。

記入した学生数の障害種別の合計は、表の最上段の「全体の障害学生数」及び「支援障害学生数」の欄に反映されます。

令和4年度より、障害のある入学者数、休学者数(令和4年5月1日現在)、最低在学年を超え数については、回答欄を削除しました。ご回答は不要です。

身体障害と発達障害、精神障害が重複している場合は、身体障害の該当欄に数を入力し、最下段にある「発達障害との重複」「精神障害との重複」の該当欄にも記入してください。

発達障害と精神障害が重複している場合は、学校で把握している主たる障害の欄に学生数を記入し、副となる障害については、「発達障害との重複」または「精神障害との重複」の該当欄に記入してください。いずれが主たる障害かが明らかでない場合は「発達障害」にも「精神障害」にも記入せず、「その他の障害」に計上してください。

8. 病弱・虚弱(他の慢性疾患)の内訳
(「7. 障害学生数」で「病弱・虚弱 他の慢性疾患」に計上した場合にご回答ください)

「病弱・虚弱」の「他の慢性疾患」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳
(「7. 障害学生数」で「精神障害 他の精神障害」に計上した場合にご回答ください)

「精神障害」の「他の精神障害」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

10. その他の障害の内訳
(「7. 障害学生数」で「その他の障害」に計上した場合にご回答ください)

「その他の障害」に計上した学生の課程、学科(専攻)、診断名と、障害学生数、支援障害学生数、現況を記入してください。

11. 授業支援と授業以外の支援
(「7. 障害学生数」で支援障害学生数を計上した場合にご回答ください)

課程別に授業支援の表と授業以外の支援の表があります。「7. 障害学生数」に計上した支援障害学生数への支援について、該当する支援内容を回答してください。

障害種別に、実施している支援の欄に「1」を記入してください。発達障害については、診断書の

ある学生に対する支援について回答してください。診断書のない学生への支援については「2. 発達障害が疑われる学生への支援」に回答欄があります。

実施している支援が各項目に当てはまらない場合には、「その他の授業支援」または「その他の授業以外の支援」に「1」を記入し、下にある表に障害種と具体的な内容を記入してください。支援内容の定義については、19ページをご参照ください。

12. 発達障害が疑われる学生への支援
(発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生が在籍する場合にご回答ください)

(1) 発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。
発達障害のある学生への支援について、課題と感じていることがあれば該当欄に「1」を記入してください。

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生数
課程ごとに、学生数と授業支援の表、授業以外の支援の表があります。なお、ページの都合上、学科(専攻)別の「人文科学」～「保健(医・歯学)」までと、「保健(医・歯学を除く)」～「その他」までの表に分かれています。

発達障害が疑われ、何らかの支援を行なっている学生の数を記入してください。「発達障害(診断書無・配慮有)」の定義については、17ページをご参照ください。

なお、このシートで計上した学生数は、「7. 障害学生数」の障害学生数、支援障害学生数には含みません。

○支援内容
実施している支援内容について、該当する区分の欄に「1」を記入してください。「その他の授業支援」「その他の授業以外の支援」を選択した場合は、学科(専攻)、障害種別(下位区分)、具体的な内容を下にある別表に記入してください。支援内容の定義については、19ページをご参照ください。

13. 意見・要望
(障害のある学生のある学生の有無に関わらずご回答ください)

- (1) 障害学生支援の課題について
- (2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等の課題について
- (3) JASSOの障害学生支援の取組について

IV. 調査票記入後の確認事項、パスワードの設定

調査票記入後の確認事項

1. 全般的な確認事項

- (1) 学校名、学校コード、所在地の都道府県名とNo.は正しく表示されていますか。
- (2) 連絡先(電話・FAX 番号)、担当部課室名、担当者の役職、氏名(フリガナ)・E-Mail アドレスに誤りはありませんか。
- (3) 前年度調査でご回答いただいた内容と比較して、各項目の数値に著しい差はありませんか。
- (4) 記入漏れシートはありませんか。

2. 項目別の確認事項

各シートに、黄色のセルは残っていませんか。セルが黄で表示される場合は、同じ表内の別の数値と不整合がないかご確認ください。

読み取りパスワードの設定について

まず、回答を記入した調査票ファイルのコピーを作成してください。元のファイルにいきなりパスワードを設定しようと、パスワードを紛失した場合に、ファイルが開けなくなります。コピーしたファイルに、ファイル名(3 ページ[6] 参照)をつけます。パスワードの設定方法は、以下のとおりです。

■Excel2010・2013・2016

- ① [ファイル]タブをクリックします。
- ② [情報]をクリックします。
- ③ [ブックの保護]をクリックします。
- ④ [パスワードを使用して暗号化]をクリックし、パスワードを設定してください。

V. 本調査における用語の定義

対象となる学生について

- 【学生数】研究生、科目等履修生、聴講生及び別科生は含みません。
- 【入学者数】1年次の入学者の数(2年次以上の編入者は含みません)。
- 【障害学生】「身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳」を有している学生または健康診断等において障害があることが明らかになった学生(重複する場合は実数)
※令和4年5月1日現在、在籍していた全ての障害学生(障害があること)についての申請が令和4年5月2日以降の場合を含む)を計上してください。
- ※各障害種の定義(15～17ページ)もご参照ください。
- 【支援障害学生】学校に支援の申し出があり、それに対して学校が何らかの支援を行なっている障害学生(今年度中の支援予定を含む)
- 支援については、19ページ以降の各支援内容の定義をご参照ください。
- 【最低在学年超過数】各課程の最低在学年限(4年制ならば4年、6年制ならば6年)を超えて在学している障害学生数(休学者数は含みません)

障害について

- 【視覚障害】
盲……視覚による教育が不可能または著しく困難で、主として触覚及び聴覚など、視覚以外の感覚を利用した教育が必要な程度
弱視……視覚による教育は可能であるが、文字の拡大など教育上特別の配慮が必要な程度(視野障害や、明るいと暗いところがまぶしく感じる差明や暗いところが見えにくい夜盲等の明暗順応の障害を含む)
※色覚異常、片目の失明や弱視については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(色覚異常、片目の失明等)を記入する。
- 【聴覚・言語障害】
聾……両耳の聴力損失 60 デシベル以上、または補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能、または著しく困難な程度
難聴……両耳の聴力損失 60 デシベル未満、または補聴器を使用すれば通常の話し声を解することが可能な程度
言語障害のみ……発声、発語に関する機能障害(構音障害、音声障害、口蓋裂)
※片耳の聾や難聴については、「その他の障害」に計上し、診断名欄にその旨(片耳の難聴等)を記入する。

【肢体不自由】

- 上肢機能障害……腕、手、指および各関節に関する機能障害
- 下肢機能障害……脚、足指および各関節に関する機能障害
- 上下肢機能障害……上肢、下肢の両方に関する機能障害
- 他の機能障害……体幹(胴体)に関する機能障害、体幹と上肢の機能障害、体幹と下肢の機能障害、体幹と上下肢の機能障害および運動の障害

- 【病弱・虚弱】「学校教育法施行令 障害の程度」における「病弱者」に該当する者
内部障害等(※1)……心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、ぼうこうまたは直腸の機能障害、小腸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害、肝臓機能障害及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者
※1:「身体障害者障害程度等級表」または「小児慢性特定疾病」に該当する者の慢性疾患(※2)……身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者(てんかん、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、アナフィラキシー等で、身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする者はここに計上する)

※2:これに当てはまらない疾患等については、「その他の障害」に計上する。

【重複】以下の通り、障害が重複している者

○2つの身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害、視覚障害と肢体不自由、視覚障害と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由、聴覚・言語障害と病弱・虚弱、肢体不自由と病弱・虚弱

○3つ以上の身体障害の重複

視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由、視覚障害と聴覚・言語障害と病弱・虚弱、視覚障害と聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱、聴覚・言語障害と肢体不自由と病弱・虚弱

【発達障害(診断書有)】発達障害に関する医師の診断書がある者

- SLD……限局性学習症/限局性学習障害(旧LD:学習障害)
- ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害(旧注意欠陥/多動性障害)
- ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害(旧高機能自閉症等:高機能自閉症及びアスペルガー症候群)

発達障害の重複……上記の3つのいずれかが重複している者

【精神障害】以下の疾患が継続して医療または生活規制を必要とする程度のもので、医師の診断書がある者 または、健康診断等において下記の障害があることが明らかになった者
統合失調症等……統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害(ICD-10 F20-F29に該当する疾患)

気分障害……躁病エピソード、双極性感情障害、うつ病エピソード、反復性うつ病性障害、持続性気分(感情)障害等(ICD-10 F30-F39に該当する疾患)

神経症性障害等……不安障害、強迫性障害(強迫神経症)、重度ストレスへの反応及び適応

障害、解離性（転換性）障害、身体表現性障害、神経衰弱等（ICD-10 F40-F48 に該当する疾患）

摂食障害、睡眠障害等……摂食障害、睡眠障害、依存を生じない物質の乱用等（ICD-10 F50-F59 に該当する疾患）

※ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群はここに計上する。

他の精神障害……上記に当てはまらない精神障害。高次脳機能障害、依存症候群、人格障害、トレット症候群、緘黙症、知的障害、診断名が確定していない抑うつ状態等。

【その他の障害】視覚障害、聴覚・言語障害、肢体不自由、病弱・虚弱、重複、発達障害及び精神障害に該当しない障害があり、医師の診断書がある者、または、健康診断等において上記の障害があることが明らかになった者のうち、生活規制を必要とする程度のもの。

※多汗症、原因の特定できない過敏性腸症候群、頻尿等はここに計上する。
【発達障害（診断書無・配慮有）】発達障害であるとの医師の診断書はないが、発達障害があることが推察されることにより、学校が何らかの支援（教育上の配慮等）を行なっている者

※何らかの支援（教育上の配慮等）とは、学内の組織、部署等の業務として行なっているもので、一部の教職員が個人的に行なっているものは含まない。

SLD……限局性学習症/限局性学習障害（ILD：学習障害）

ADHD……注意欠如・多動症/注意欠如・多動性障害（旧注意欠陥/多動性障害）

ASD……自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害（旧高機能自閉症等・高機能自閉症及びアスペルガー症候群）

区分不明……上記の3つのいずれに該当するか不明の者

※ICD は世界保健機関による疾病及び関連保健問題の国際統計分類で、国際的に広く用いられている統計分類基準です。令和4年5月1日時点での最新版がICD-11となります。

活動や取組について

【障害学生支援に関する講義】カリキュラムに含まれる講義（資格取得等に要するものを除く）、単位与の有無は問わない。

【障害学生支援に関する学生向け研修】支援方法、支援技術等の習得を目的として実施するもの。

【障害学生支援に関する講座・講演等イベント】支援についての意識啓発、情報提供等を目的として実施するもの。

入学者選抜及び受験上の配慮について

【受験上の配慮】入学者選抜において行なった、障害を理由とする合理的配慮（別室受験、時間延

長等）

※急性の疾病（インフルエンザ等）やけが（骨折、捻挫等）等、一過性のもの、その後回復の見込みのある者に対して行なった配慮は含みません。

【特別選抜】以下の3つに分類される入学者選抜の方式

総合型……学校独自の選抜基準（アドミッション・ポリシー）による選抜

学校推薦型……出身学校長の推薦に基づく、公募制、指定校対象、付属高等学校対象等の推薦型選抜

障害者特別選抜……障害者を対象とする一般入試とは異なる選抜方式による選抜（選抜形態が総合型、学校推薦型であった場合を含む）

【特別選抜以外の選抜】上記に当てはまらない選抜 一般選抜、社会人選抜、海外からの帰国生徒を対象とする選抜、外国人を対象とする選抜等

卒業生及び卒業後の進路について

【最髙年次】

大学……4年次または6年次（4年制、6年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

短期大学……2年次または3年次（2年制、3年制の両方が設置されている場合は、その学生数の合計）

高等専門学校……5年次

【就職希望者】令和4年3月31日現在卒業した障害学生のうち就職を希望していた者

【就職者】給料、賃金、報酬その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いた者 正社員または雇用期間が一年以上で、勤務形態が正社員に準ずるものであれば「イ.就職者」、それ以外または雇用期間、勤務形態等が不明の場合は「カ.一時的な仕事に従事」に計上してください。自家・自営業に就いた者（継続的に本業として家業に従事する場合）も、「イ.就職者」の欄に計上してください。家事の手伝いに就いた者は「ア～カ以外」の欄に計上してください。夜間部の学生のうち在学中すでに職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある場合は「イ.就職者」の欄に計上してください。「ア.進学者」のうちで職に就いている者については、「イ.就職者」に含めず、「②就職数」の欄に計上してください。

【臨床研修医】医師法第16条の2及び歯科医師法第16条の2に基づく臨床研修を受ける者または5月1日現在、臨床研修医となることが予定される者も含みます。

【専修学校、外国の学校、教育訓練機関等入学者】「ア.進学者」以外で、学校等に入学（在籍）している者 専修学校、各種学校、外国の学校、職業能力開発学校等への入学者、研究生として入学した者等

【社会福祉施設、医療機関入所者】社会福祉施設に入所、または医療機関に入院した者 社会福祉施設、医療機関に就職した者は「イ.就職者」に計上してください。

【一時的な仕事に従事】臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者 例えばアルバイト、パート等

- 【使用教室配慮】授業で使用する教室を、移動しやすい教室や修学に適した広さ・設備のある教室にすること。
- 【実技・実習配慮】いわゆる座学中心の講義以外の授業（体育等の実技、専門教育での実習、学外実習等）において、障害の状況に応じて配慮すること。
- 【教室内座席配慮】教室内での座席を障害学生が受講しやすい位置に配慮すること。
- 【FM補聴器/マイク使用】講義者の声を、専用のマイクを通じて補聴器を装着した学生に伝える支援技術の活用。またはその器材の貸し出し等を行うこと。
- 【専用机・イス・スペース確保】車いす用の机の配置やスペースの確保等、受講や学生生活を円滑にするために、障害の状況や特性に合わせた設備またはそれに関連する配慮を行うこと。
- 【読み上げソフト・音声認識ソフト使用】電子データを音声に変換して読み上げたり、音声データを電子データに変換するソフトの活用。またはその貸し出し等を行うこと。
- 【講義に関する配慮】講義内容の録音、板書の撮影等を許可すること。
- 【授業内容の代替、提出期限延長等】実技やリスニング等、障害学生にとって困難のある授業を別の内容に代替する、レポートや課題の提出期限を延長する等、評価方法を配慮すること。ただし評価基準はダブルスタンダードを設けず、障害のない学生との公平性を保つことが必要です。
- 【履修登録の補助や支援、優先的な履修登録等の配慮をすること。
- 【学外実習・フィールドワーク配慮】実習先での情報保障や移動支援、実習先機関との連携等を行うこと。
- 【居場所の確保】学内で1人になれるスペースを確保したり、孤立しないための仲間作り支援を行うこと。
- 【通学支援】スクールバスの乗降や自動車通学の許可、専用駐車場の確保等を行うこと。
- 【個別支援情報の収集】出身校や保護者と連携し、必要な支援や入学以前に受けていた支援に関する情報を収集すること。
- 【情報取得支援】学内行事の案内や休講情報等、学生生活に必要な情報を取得できるよう支援すること。
- 【自己管理指導】スケジュール管理に関する指導や、自主学習への支援を行うこと。
- 【対人関係支援】対人スキル指導や対人関係に関するトラブルへの対応を行うこと。
- 【日常生活支援】食事、洗濯、清掃、入浴、睡眠等、日常生活に関する指導を行うこと。
- 【専門家によるカウンセリング】臨床心理士等の専門家によるカウンセリング。
- 【医療機関との連携】主治医や障害に関する専門医療機関等と連携すること。
- 【医療機器、薬剤の保管等】透析用機器や人工呼吸器等の医療機器や、発作等の緊急用薬剤等を預かり、保管すること。
- 【休憩室・治療室の確保】休み時間、空き時間に利用できる休憩室や透析等の医療行為を行なうための部屋を確保すること。
- 【生活介助】体位変換、更衣、食事、トイレ等の介助を行なうこと。
- 【介助者の入構、入室許可】生活介助等を行なう介助者が学内や教室に入ることの許可すること。
- 【キャリア教育】学生が自身の障害についての理解を深め、必要な支援や職業適性を把握できる

- で一時的な仕事に就いた者を計上してください。
 - 【ア〜カ以外】進学でも就職でもないことが明らかなる 家事手伝いなどがここに含まれます。学校で具体的な状況を把握していない者であっても、進学でも就職でもないことが明らかなる者であれば計上してください。
 - 【不詳・死亡の者】不詳は、各欄のいずれに該当するかを学校で把握していない者 死亡は、令和4年5月1日までに死亡した者
- | |
|--------|
| 支援について |
|--------|
- 【点訳・墨訳】点訳……教材、配布資料などを点字に訳すこと。
墨訳（すみやく）……試験の点字解答を出題者が採点する際等、点字を墨字、活字に訳すこと。
 - 【教材のテキストデータ化】教材、配付資料等をテキストデータにすること。音声認識ソフトや点訳ソフトを利用するために行ないます。
 - 【教材の拡大】教材、配付資料等を拡大読書器でモニターに拡大表示したり、大きな文字で印刷したりすること。
 - 【ガイドヘルプ】移動の際に、歩行介助及び誘導を行なうこと。主として講義と講義の間の教室移動のサポートをいいます。
 - 【リーディングサービス】教材や配布資料などを音声で読み上げる（文字を音声に訳す）こと。主として、講義中に板書されたものをその場で口頭で伝える「代読」と、利用者と支援者が対面して資料等を読み上げる「対面朗読」があります。
 - 【手話通訳（触手話を含む）】講義内容や周りの様子等を手話で伝えること、盲聾者のための触手話を含みます。
 - 【ノートテイク】講義内容や周りの様子等を筆記し、文字で伝えること。
 - 【パソコンテイク】講義内容や周りの様子等をパソコンに入力し、文字で伝えること。
 - 【ビデオ教材字幕付け・文字起こし】教材等として使用される映像メディアの台詞やナレーションをテキスト化し、字幕として挿入する、または紙面に記すこと。
 - 【チューターまたはティーチング・アシスタントの活用】大学院の学生や担当教員等が学部学生等に対し、生活や講義、実験・実習、演習等の補助や助言等を行なう学内制度を活用した支援のこと。
 - 【試験時間延長・別室受験】定期試験の際に、通常の試験時間を延長したり他の学生とは別室で試験を実施すること。点字の読み取りや筆記、代筆等で通常に比べて時間を要する場合、他の学生と同室では支障がある場合等に実施します。
 - 【解答方法配慮】障害の状況に応じて、試験時の解答方法を変更すること。
 - 【パソコンの持込使用許可】受講に利用するため、パソコンの持ち込みを許可すること。
 - 【注意事項等文書伝達】定期試験の際、通常は口頭で受験者に伝達する注意事項を文書にして配付あるいは板書すること。

FAQ よくある質問集

ように指導すること。

【障害学生向け求人情報の提供】障害学生を対象とする求人情報を収集し、学生に提供すること。

【就職支援情報の提供、支援機関の紹介】障害学生を対象とする就職ガイダンスやセミナー、就職支援サイト、就職支援機関等に関する情報を提供し、紹介すること。

【インターンシップ先の開拓】受け入れ先となる企業等を開拓し、障害学生のインターンシップ体験を支援すること。

【就職先の開拓、就職活動支援】障害学生の適性に合う就職先の開拓や、就職活動におけるエントリートメントの作成や面接を指導すること。

○一般的な質問

Q 障害学生が在籍していませんが、回答しなければいけませんか。

A 「1. 学校基本情報」「2. 支援体制」「3. 活動や取組」「4. 受入に関する配慮」「5. 入学者数等」「13. 意見・要望」シートにご回答ください。また、昨年度最髙年次に障害学生が在籍していた場合は「6. 令和3年度卒業生」に、診断書はないが発達障害が疑われる学生への支援を実施している場合は、「12. 発達障害が疑われる学生への支援」にもご回答ください。

Q 今年度から新入生の募集を停止しています。回答する必要がありますか。

A 学生が在籍している間は回答してください。まったく在籍学生がいない場合はその旨ご連絡ください。

Q キャンパスが分かれているので、キャンパスごとに回答してもいいですか。

A お手数ですが1校1回答をお願いします。それぞれのキャンパスの情報を集約し、学校全体の回答としてまとめてください。

Q 記入欄が足りません。行を追加してもいいですか。

A 行や列、セルやシートの追加、削除等はできません。記入欄が足りない場合は、回答ファイルを送信する際にメール本文に内容を記載するか、追加分についての別表を作成してメールに添付してください。

Q 5月1日現在と、現時点では学生数が変わっていますが、どの時点の数値を記入したらいいですか。

A 令和4年5月1日時点の数値を記入してください。

Q 研修生は対象となりますか。

A 研修生、研究生、科目等履修生、聴講生、別科生は調査対象外です。

Q 本学では、春入学の学生と秋入学の学生がいます。入学者数はどのように計上しますか。

A 調査期日（今年度5月1日）現在、1年生の入学者数を合算して計上してください。

Q 2年生から3年生に進級する時点で留年し、2年生が2回目の学生がいます。この学生は「最低在学年限超過数」に計上しますか。

A 最低在学年限は、4年制であれば4年、6年制であれば6年となります。問いの2年生は3年次以

降の課程のある学生で、最低在学年限には達していないため、計上の対象とはなりません。

- Q 令和3年度に入学し、留年したため現在1年生の場合、現況の欄は、入学者（1年生）と、在籍者（2年生以上）のどちらを選択すればいいですか。
- A 在籍者（2年生以上）を選択してください。

Q 令和4年5月1日現在、学費未納の学生は、学生数に計上しますか。

- A 学校に籍のある学生はすべて計上してください。除籍処分となった学生は計上の対象となりません。

○調査票の取得と回答方法について

Q 「調査票」「調査の手引」がダウンロードできません。どうしたらいいですか。

- A ご担当者のメールアドレス宛にファイルを送信しますので、日本学生支援機構障害学生支援課（E-Mail: shienka02@jasso.go.jp）までご連絡ください。

Q メールで回答を送りましたが、間違いないかどうかわかりません。どうしたらいいですか。

- A メール送信時に開封確認をつけてください。受信時に開封確認を返信します。

Q 先に送った回答に誤りがありました。どうしたらいいですか。

- A 修正後、回答ファイル名の学校名の後に（再提出）と追記したファイルをメールに添付し、「学校名（再提出）」というメールタイトルで再送信してください。

Q 具体的な内容欄を記入したところ、欄の大きさに対して文字数が多すぎて全文が表示されません。どうしたらいいですか。

- A 本調査票は集計上の都合によりセルに保護をかけていますが、行の高さは編集できます。該当セルのある行を選択し、全文が表示されるまで高さを広げてください。

○障害についての質問

Q 学校では障害があることを把握していますが、本人の希望で障害者手帳を取得していない学生がいます。障害学生に計上しますか。

- A 実態調査では学校や個人を特定できるような結果は公表しません。学校として障害があることを把握している場合には、障害学生数に計上してください。

Q 障害があるらしいが、手帳や診断書があるかどうかを把握していない学生がいます。学生に確認しなければいけませんか。

- A 本調査の回答のために学生に確認する必要はありません。「障害があるらしい」と推察されるが

把握していない学生については障害学生に計上しません。ただし推察される障害が発達障害で何らかの支援を行っている場合は、この後のFAQもご参照ください。

Q 視覚障害の盲、弱視、聴覚障害の聾、難聴を区別して把握していません。調査票にはどのように記入したらいいですか。

- A 15 ページの各障害の定義を参考に、いずれかを判断して該当する欄に計上してください。

Q 発達障害（診断書有）で、SLD、ADHD、ASDの重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。

- A 発達障害の中に「発達障害の重複」という小区分があります。この区分で回答してください。

Q 精神障害で、神経症性障害等と摂食障害・睡眠障害等の重複している学生がいます。調査票にはどのように記入したらいいですか。

- A 精神障害の中に「他の精神障害」という小区分があります。この区分で回答してください。

Q 発達障害らしい学生がいて、対応に気がついています。この場合、発達障害（診断書無・配慮有）情報入力シートに計上しますか。

- A 「発達障害らしい」という推察が、複数の教職員によって共有されていて、組織的な配慮、対応が行なわれている場合は計上してください。ただし、教職員個人が「発達障害らしい」と思い、個人的に配慮している場合は含みません。

Q 身体障害と発達障害の両方のある学生がいます。障害種別はどのように計上しますか。

- A 身体障害と発達障害または精神障害が重複している場合は、障害種別は身体障害とし、重複する発達障害または重複する精神障害の該当欄に、その学生の発達障害または精神障害の情報を入力してください。

Q 最近、障害があることがわかった学生がいて、5月1日現在にはそのことを把握していませんが、この学生は障害学生数に含めますか？

- A 5月2日以降に障害のあることを把握した学生が、5月1日現在に在籍していた場合には、障害学生数に含めてください。

Q 令和元年度から「性別違和」が調査対象外となりましたが、これは、性別違和の学生への支援は、障害学生支援関連部署の担当ではなくなっていますか？

- A 性別違和は障害とは捉えない方向へ進んでいくものと考えられることを受けて、本調査の対象外としました。性別違和の学生への支援担当部署について等、それぞれの大学等での取り扱いに影響を及ぼすものではありません。

○活動や取組、支援について

□「3.障害学生支援に関する活動や取組」において「演習」は⑩の「講義」、⑪の「研修」のどちらに当てはまりますか？

□カリキュラムに含まれている「演習」ならば⑩の「講義」、カリキュラム外で支援方法、支援技術等の習得を目的とする内容であれば⑪の「研修」、カリキュラム外で意識啓発、情報提供を目的とする内容であれば⑫の「講座・講演等イベント」となります。

□学生組織が障害学生支援を行なっています。この場合、支援を受けている障害学生は支援内容のどこに計上しますか。

□学校が学生組織に依頼している等、学校が関与している場合には計上してください。学校が関与していない場合は、その支援内容は計上しません。

□一般学生が自主的に障害学生を支援しています。この場合、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。

□学校に申し出がなく、学校が支援していない場合は、計上しません。

□自主的に障害学生を支援している学生から、ノートメイクのための入室許可の申し出があり、許可しました。この場合は、支援を受けている障害学生は支援障害学生に計上しますか。また、支援している学生は支援学生に計上しますか。

□支援のための入室許可は、学校の支援として「その他の授業支援」として計上してください。ただし、この場合のノートメイクは学校が実施している支援としての計上には含まれません。

□ハンコンテイクや点字のサークルがあり、このサークルの学生に支援活動を依頼しています。この場合は、支援学生のどこに計上したらいいですか。

□「学生が運営する組織に参加する学生がいる」に計上してください。

□ボランティア活動を行なう学生組織が障害学生支援を行なっています。当該学生組織は障害学生支援のみならず、学内外の様々なボランティア活動を行なっているため、所属している学生が必ずしも全員、障害学生支援に携わっている訳ではありません。この場合、支援学生の人数のカウンとはどのような言い方がいいでしょうか。

□支援学生の数については、現在実際に障害学生支援を行なっている学生数、または本年度中に障害学生支援に携わる予定の概数を実数で計上してください。

□授業の一環として障害学生支援に携わっている学生は支援学生として計上しますか。

□「その他」に計上し、どのような支援学生なのかを記入する欄に、その旨(○の授業の一環として障害学生支援をしている等)を記入してください。また、単位取得や成績評価の対象としている場合は、「C、その他」を選択し「C、その他の具体的な内容」にその旨を記入してください。

□学内にスロープ等のバリアフリー設備を設けます。これは支援として計上しますか。

□「2.支援体制」の(7)「障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況」に、該当の設問がありますので、そちらに記入してください。授業支援と授業以外の支援には計上しません。

【お問い合わせ】

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部障害学生支援課

障害学生調査・分析係

電話：03-5520-6176

E-Mail:shienka02@jasso.go.jp

調査票

(大学・大学院用)

※課程別の調査票については学部(通学課程)のみを掲載しています。

※短期大学用、高等専門学校用は、以下の2点を除き同様です。

1. 課程数

短期大学:学部(通学課程)、学部(通信教育課程)、専攻科

高等専門学校:学部(通学課程)、専攻科

2. 学科(専攻)数

短期大学:人文、社会、教養、工業、農業、保健、家政、教育、芸術、その他

高等専門学校:社会、工業、商船、芸術

※日本学生支援機構のウェブサイトからダウンロードできます。

https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2022.html

1. 学校基本情報

令和4年度(2022年度) 大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 (大学・大学院用)	
1. 学校基本情報	
学校コード表示欄	
学校名	主となる所在地の都道府県名
No.	

(1) 学校名と主となる所在地

学校名	主となる所在地の都道府県名
No.	

(2) 学校全体の学生数 ※課程のないところ、学生数のないところには0を入力してください。

課程	令和4年度 全学生数	令和4年度 全入学者数	令和3年度 全卒業者数
学部			
通学課程			
通信教育課程			
大学院			
専攻科			
計	0	0	0

全入学者数又は全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

<input type="checkbox"/>	年より募集停止しているため、入学者はいない。
<input type="checkbox"/>	年開学のため、卒業者はまだいない。
<input type="checkbox"/>	その他

部課室名	担当者
役職	フリガナ
氏名	
郵便番号	所在地
電話番号	
FAX番号	E-Mail

(4) 障害学生支援の主たる担当部署(者)

※ご担当者が異動しても連絡がとれるよう、E-Mailはできるだけ組織アドレスをご記入ください。

部課室名	担当者
役職	フリガナ
氏名	
郵便番号	所在地
電話番号	
FAX番号	E-Mail

次に「2. 支援体制」シートを記入してください。

2. 支援体制

2. 支援体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等
障害者差別解消法に関する対応要領(基本方針(ガイドライン))等、又は障害学生支援に関する規程等(明)入学者選抜、修学支援に関する委員会、部署、担当者等に関する規程(規定等))について、該当する欄に「J」を記入してください。なお、学生支援に関する規程のうち、障害学生に関する具体的な表記がないものは、下記①に該当しません。

<input type="checkbox"/>	①対応要領又は基本方針、規程等がある。
<input type="checkbox"/>	①をホームページに掲載している。 URL: <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②令和4年度中に策定予定である。
<input type="checkbox"/>	③対応要領又は基本方針、規程等はない。

(2) 障害学生支援に関する委員会等
障害学生支援について協議・検討する委員会について、該当する欄に「J」を記入し、下欄に代表者について記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門委員会がある(障害学生委員会、バリアフリー委員会、支援担当者会議等)。
<input type="checkbox"/>	委員会名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	代表者(委員長等)の役職等 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	(副学長、学部長等)
<input type="checkbox"/>	②専門委員会はないが、他の委員会で対応している(学生委員会等)。
<input type="checkbox"/>	委員会名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	代表者(委員長等)の役職等 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	(副学長、学部長等)
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会はない。

(3) 紛争解決のための第三者組織
障害学生に関する紛争の防止、解決等に関し、障害学生支援部署とは別に、第三者的視点で調整を行なう学内機関について、該当する欄に「J」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①第三者的視点で調整を行なう専門機関がある。
<input type="checkbox"/>	②他の機関(ハラスメント委員会等)で対応している。 機関 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③第三者的視点で調整を行なう機関はない。

(4) 障害学生支援担当部署(者)
1) 障害学生支援業務を行なう部署、機関について、該当する欄に「J」を記入してください。

<input type="checkbox"/>	①専門部署・機関がある(障害学生支援センター、バリアフリー支援室等)
<input type="checkbox"/>	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している(学生課、保健室等)
<input type="checkbox"/>	部署・機関名 <input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	③障害学生支援業務を行なう部署・機関はない

2. 支援体制

2) 障害学生支援業務を行なう担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ (担当者から記入する場合、左の欄に「」を記入し、右の欄に人数を記入してください)	人数
ア. 障害学生支援を専門に担当するコーディネーター	
イ. 障害学生を専門に担当するカウンセラー	
ウ. 障害学生を専門に担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持つ教職員	
オ. 障害学生支援を専門に担当する職員	
カ. 障害学生支援を専門に担当する教員	
キ. その他	
②兼任スタッフ (障害学生支援担当者が決まっている場合のみ人数を計上してください。決まった担当者がなく、部署・機関の委員が随時対応する場合は左の欄のみ「」を記入し、人数は記入不要です)	人数
ア. 他の業務と兼任して障害学生支援を担当するコーディネーター	
イ. 他の業務と兼任して障害学生を担当するカウンセラー	
ウ. 他の業務と兼任して障害学生を担当する医師	
エ. 専門の支援技術(手話通訳、点訳等)を持ち他の業務と兼任して支援を行なう教職員	
オ. 他の業務と兼任して障害学生支援を担当する職員	
カ. 他の業務と兼任して障害学生支援を担当する教員	
キ. その他	
③外部スタッフ	人数
ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等	
イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技能者(手話通訳、ノートタイカー等)	
ウ. その他	

(5) 障害学生の相談受付窓口
障害学生が支援の申し出等をしたときに、学生にとってわかりやすい窓口がありますか。窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「」を記入してください。

①支援の申し出等の相談に対応する窓口がある。	
ア. 窓口について、要職、パンフレット、ホームページ等で学生に周知している。	
イ. 窓口は設けているが、特に周知はしていない。	
②支援の申し出等の相談に対応する窓口はない。	
ア. 特に窓口は設けず、各部署で相談に対応していることを周知している。	
イ. 窓口はなく、相談対応について特に周知はしていない。	

(6) 支援の申し出等に関する対応手順
障害学生から支援の申し出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「」を記入してください。

①対応手順を規定した文書がある。
②対応要領等に対応手順が記載されている。
③対応手順を規定する文書はない。

2. 支援体制

(7) 障害のある学生を受け入れるための施設・設備の整備状況
学生生活において必要となる施設・設備の整備状況について、該当する欄に「」を記入してください。

①屋外	ア. 道路の舗装、段差の解消等 イ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 ウ. 点字ブロック、標識シール等 エ. 専用駐車場	現在必要な箇所に整備しているが、特に整備していない	部分的に整備しているが、特に整備していない	整備中又は年度内に整備予定
②屋内	ア. 自動扉等出入り口の整備 イ. エレベーター ウ. 手すり、スロープ、階段昇降機等 エ. 車椅子移動等に必要スペース確保 オ. 点字プレート等教室表示 カ. 聴覚障害者用屋内信号装置 キ. 障害者用トイレ ク. 自習室、独習室 ケ. 磁気誘導ループ	現在必要な箇所に整備しているが、特に整備していない	部分的に整備しているが、特に整備していない	整備中又は年度内に整備予定
③支援機器	ア. 点字プリンタ イ. 立体コピー機 ウ. 拡大読書機 エ. 点字携帯端末 オ. 筆談器等 カ. 車椅子、簡易ベッド等	現在必要な箇所に整備しているが、特に整備していない	部分的に整備しているが、特に整備していない	整備中又は年度内に整備予定
その他				

※以下に、その他の具体的な内容を記入してください。

2. 支援体制

(8) 支援学生（ノートテイカー等）
 支援学生（障害学生を支援する学生）の人数、所属する組織、処遇について回答してください。
 支援学生（障害学生）の数は、現在支援に携わっている、又は本年度中に支援に携わる予定の人数を、延べ数ではなく実数で計上してください。支援学生が個人的に依頼した学生が個人的に支援している、学校が関わっていない場合を含みません。

1) 支援学生の数 ※正確な人数が不明の場合は概数で回答してください。
 人
 ①支援学生がいる（支援学生に支援を依頼している）。
 支援学生が行っている具体的な支援内容 ※複数ある場合は、複数記入してください。

②支援学生はいない（支援学生による支援は行っていない）。

2) 支援学生の組織 ※複数回答可
 ①学校が運営する組織に登録している支援学生がいる。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

②上記①以外の支援学生がいる。
 i) 学生が自立的に運営する組織に参加する支援学生がいる。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

ii) 他校の協力により支援学生を派遣してもらっている。
 A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

iii) その他 上記 i) ii) に該当しない支援学生がいる

※授業の一例として障害学生支援を行なっている場合等はこちらを選択してください。また、その中で単位取得、成績評価等に反映している場合は、下の C. その他 を選択して具体的な内容を記入してください。
 以下にどのような支援学生なのかを記入してください。（例：ゼミの課題として行なっている等）

A. 有償 人
 B. 無償 人
 C. その他 人
 C. その他の具体的な内容

3. 活動や取組

3. 活動や取組

以下の活動や取組を実施している場合は、実施の欄に「1」を記入してください。

①不当な差別的取扱いや、障害を理由とするハラスメントを防止するための取組
 ア. 教職員向けの研修会等の実施
 イ. 学生向けの研修会等の実施
 ウ. ハンフレット等の配布
 エ. その他

②社会的障壁について理解し、合理的配慮の提供を推進するための取組
 ア. 教職員向けの研修会等の実施
 イ. 学生向けの研修会等の実施
 ウ. ハンフレット等の配布
 エ. その他

③支援情報の公開（学外者が見られるホームページで公開している）
 ア. 相談窓口について
 イ. 支援の申し出方法について
 ウ. 支援内容決定のプロセスについて
 エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明
 オ. 在籍障害学生数
 カ. 在籍支援障害学生数
 キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示
 ク. その他

④障害学生に対する就職支援やキャリア教育支援

ア. 学外機関との連携、支援情報の提供

イ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施

ウ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施

エ. インターンシップ先、就職先の開拓、企業との連携

オ. その他

⑤他大学等との連携

連携している学校名と連携内容、又は参加している（大学等による）ネットワーク名と活動内容を記入してください。

⑥学外機関との連携

相談・支援機関、訓練機関、企業等、連携機関の名称と連携内容を記入してください。

⑦相談対応、懇談会等（障害学生・支援スタッフ向け）

--	--

⑧障害学生支援に関する（学内）教員研修（FD等）

3. 活動や取組

⑨障害学生支援に関する(学内)職員研修(SD等)		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数

⑩障害学生支援に関する学外研修への教職員派遣		対象
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数
名称/内容		派遣した人数

3. 活動や取組

⑪障害学生支援に関する学生向け研修(ノートテイカー養成等)		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数
名称/内容		回数

- ⑫支援マニュアル、パンフレット等の配布
- ⑬オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントでの情報提供
- ⑭入学後のガイダンス等における、障害学生支援の手続きなどに関する学内規程や支援事例等の周知

⑮障害学生支援に関する講座・講演等イベント		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象
名称/内容		対象

⑯障害学生支援又は障害者支援に関する講義(ポランティア論等)	
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別
名称/内容	種別

⑰発達障害、精神障害の傾向がある学生を把握するための取組

ア. 全学生に対して又は学生単位で(例えばは新入生全員を対象にするなど)、心理検査やメンタルヘルスに関するアンケートを実施し、把握を行っている。

イ. 教職員が発達障害等の可能性に気づいた場合、支援担当部署等に相談したり、情報共有したりすることができる。

ウ. 教職員を対象に、学生の困りごとを把握するために必要なスキル等に関する研修等を実施している。

⑱前項⑰の取組で実態を把握した後のフォローアップ

ア. 把握した学生との面談を実施している。

イ. 必要に応じて、学生に医療機関(学内の保健管理センター含む)を紹介している。

ウ. 希望する学生に心理検査等を実施している。

次に「4. 受入に関する配慮」シートをご記入ください。

4. 受入に関する配慮

(1) 入学者選抜における受験上の配慮の周知
 入学者選抜における受験上の配慮の周知について、①~③のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、①②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記載してください。

①入試要項(募集要項)に、受験上の配慮に関する記載がある。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している

ウ. その他

②ホームページに、受験上の配慮に関する記載がある。または、記載のある入試要項を掲載している。

ア. 「障害のある方は事前にご相談ください」等の文言を記載している

イ. 個々の困難の程度に応じた配慮内容を記載している

ウ. その他

③入試要項にも、ホームページにも記載していない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法
 入学者選抜における受験上の配慮についての事前相談の受付方法について、①~④のうち該当する欄に「1」を記入してください。なお、②については、具体的な内容についても、該当する欄に「1」を記入してください。また、「その他」を選択した場合には、その具体的な内容を記載してください。

①随時、受け付けている。

② 全学共通のルールで期間を設けている。
※ルールは同じだが試験日が違うので実施の期日は違うという場合もこちらを選択してください。

ア. 出願受付締切まで

イ. 試験前日まで

ウ. その他

③学部、学科等や入試形態によって違う。

④特に告知はしていないが、相談があれば対応する。

6. 令和3年度卒業生

(1) 学部(通学課程) 最学年次及び卒業障害学生数

障害種別	R3 最学年次		R4 卒業生	
	① R3 5月1日現在数	② R3 5月1日現在数	③ R4 3月31日現在数	④ R4 3月31日現在数
視覚障害				
聴覚・言語障害				
言語障害のみ				
上肢機能障害				
下肢機能障害				
身体不自由				
他の機能障害				
弱視・遠視				
内視鏡検査等				
他の慢性疾患				
重複				
発達障害				
SLD				
ADHD				
ADHD (診断書有)				
発達障害の重複				
統合失調症等				
気分障害				
神経症性障害等				
精神障害				
摂食障害・睡眠障害等				
他の精神障害				
その他の障害				
計	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、支援を行なった卒業生の数

発達障害				
SLD				
ADHD				
ADHD (診断書有)				
無・配慮				
ASD				
区分不明				
計	0	0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数(令和4年5月1日現在)

障害種別	卒業生		進学希望者		就職希望者		就職している者数	就職していない者数	不詳・死亡の者
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計			
視覚障害						0	0		
聴覚・言語障害						0	0		
言語障害のみ						0	0		
上肢機能障害						0	0		
下肢機能障害						0	0		
身体不自由						0	0		
他の機能障害						0	0		
弱視・遠視						0	0		
内視鏡検査等						0	0		
他の慢性疾患						0	0		
重複						0	0		
発達障害						0	0		
SLD						0	0		
ADHD						0	0		
ADHD (診断書有)						0	0		
発達障害の重複						0	0		
統合失調症等						0	0		
気分障害						0	0		
神経症性障害等						0	0		
精神障害						0	0		
摂食障害・睡眠障害等						0	0		
他の精神障害						0	0		
その他の障害						0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※診断書はないが、発達障害が疑われ、学校が支援を行なった卒業生の数

障害種別	卒業生		進学希望者		就職希望者		就職している者数	就職していない者数	不詳・死亡の者
	A 大学院研究科	B 大学学部	C 短期大学本科	D 専攻科	E 別科	① 進学者の計			
発達障害						0	0		
SLD						0	0		
ADHD						0	0		
ADHD (診断書有)						0	0		
無・配慮						0	0		
ASD						0	0		
区分不明						0	0		
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9. 精神障害(他の精神障害)の内訳

内訳(診断名)欄に、診断名を記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳(診断名)を記入してください。

※1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる障害名を区分してください。いずれが主とせず重複している場合は、1つずつ入力して障害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。

《複数の診断名があり、障害区分がまたがる場合の区分の仕方》

- ・「病弱・虚弱(内部障害等)」と、「病弱・虚弱(他の慢性疾患)」または「その他の障害」に該当する診断名がある→病弱・虚弱(内部障害等)
- ・「その他の障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「その他の障害」以外の障害区分
- ・「精神障害」で2つ以上の小区分に該当する複数の診断名がある→「精神障害(他の精神障害)」
- ・「精神障害」と「発達障害」が重複している→「その他の障害」

課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア 障害学生 数	イ アのうち 発達障害 学生数	現況
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					

10. その他の障害の内訳

内訳(診断名)欄に、診断名を記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳(診断名)を記入してください。

※1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる障害名を区分してください。いずれが主とせず重複している場合は、1つずつ入力して障害区分を確認した後、内訳(診断名)欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。

《複数の診断名があり、障害区分がまたがる場合の区分の仕方》

- ・「病弱・虚弱(内部障害等)」と、「病弱・虚弱(他の慢性疾患)」または「その他の障害」に該当する診断名がある→病弱・虚弱(内部障害等)
- ・「その他の障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「その他の障害」以外の障害区分
- ・「精神障害」で2つ以上の小区分に該当する複数の診断名がある→「精神障害(他の精神障害)」
- ・「精神障害」と「発達障害」が重複している→「その他の障害」

課程	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア 障害学生 数	イ アのうち 発達障害 学生数	現況
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					
41					
42					
43					
44					
45					
46					
47					
48					
49					
50					

11. 授業支援と授業以外の支援

11. 授業支援と授業以外の支援
(1) 学部(運営課程)の支援内容

区分	視覚障害	聴覚障害・言語障害	身体不自由	精神障害	その他の障害	実施の有無	
						有(発達障害)	無
支援障学生数	0	0	0	0	0	0	0
1 施設要訳							
2 教材のテキストデータ化							
3 教材の転写							
4 教材の転写							
5 リーディングサポート							
6 筆跡読み(漢字読みを含む)							
7 ノートテイク							
8 ノンコネクティブ							
9 ビデオ教材字幕付け・文字起こし							
10 チューナー又はチャイニング・アシスタントの活用							
11 試験時間延長・別室受験							
12 解答方法配座							
13 授業事項等文書化							
14 授業時間延長							
15 授業内容確認							
16 授業内容確認							
17 授業内容確認							
18 授業内容確認							
19 授業内容確認							
20 授業内容確認							
21 授業内容確認							
22 授業内容確認							
23 授業内容確認							
24 授業内容確認							
25 授業内容確認							
26 授業内容確認							
27 授業内容確認							
28 授業内容確認							
29 授業内容確認							
30 授業内容確認							
31 授業内容確認							
32 授業内容確認							
33 授業内容確認							
34 授業内容確認							
35 授業内容確認							
36 授業内容確認							
37 授業内容確認							
38 授業内容確認							
39 授業内容確認							
40 授業内容確認							
41 授業内容確認							
42 授業内容確認							
43 授業内容確認							
44 授業内容確認							
45 授業内容確認							
46 授業内容確認							
47 授業内容確認							
48 授業内容確認							
49 授業内容確認							
50 授業内容確認							
51 授業内容確認							
52 授業内容確認							
53 授業内容確認							
54 授業内容確認							
55 授業内容確認							
56 授業内容確認							
57 授業内容確認							
58 授業内容確認							
59 授業内容確認							
60 授業内容確認							
61 授業内容確認							
62 授業内容確認							
63 授業内容確認							
64 授業内容確認							
65 授業内容確認							
66 授業内容確認							
67 授業内容確認							
68 授業内容確認							
69 授業内容確認							
70 授業内容確認							
71 授業内容確認							
72 授業内容確認							
73 授業内容確認							
74 授業内容確認							
75 授業内容確認							
76 授業内容確認							
77 授業内容確認							
78 授業内容確認							
79 授業内容確認							
80 授業内容確認							
81 授業内容確認							
82 授業内容確認							
83 授業内容確認							
84 授業内容確認							
85 授業内容確認							
86 授業内容確認							
87 授業内容確認							
88 授業内容確認							
89 授業内容確認							
90 授業内容確認							
91 授業内容確認							
92 授業内容確認							
93 授業内容確認							
94 授業内容確認							
95 授業内容確認							
96 授業内容確認							
97 授業内容確認							
98 授業内容確認							
99 授業内容確認							
100 授業内容確認							

11. 授業支援と授業以外の支援

区分	視覚障害	聴覚障害・言語障害	身体不自由	精神障害	その他の障害	実施の有無	
						有(発達障害)	無
支援障学生数	0	0	0	0	0	0	0
1 施設要訳							
2 施設要訳							
3 施設要訳							
4 施設要訳							
5 施設要訳							
6 施設要訳							
7 施設要訳							
8 施設要訳							
9 施設要訳							
10 施設要訳							
11 施設要訳							
12 施設要訳							
13 施設要訳							
14 施設要訳							
15 施設要訳							
16 施設要訳							
17 施設要訳							
18 施設要訳							
19 施設要訳							
20 施設要訳							
21 施設要訳							
22 施設要訳							
23 施設要訳							
24 施設要訳							
25 施設要訳							
26 施設要訳							
27 施設要訳							
28 施設要訳							
29 施設要訳							
30 施設要訳							
31 施設要訳							
32 施設要訳							
33 施設要訳							
34 施設要訳							
35 施設要訳							
36 施設要訳							
37 施設要訳							
38 施設要訳							
39 施設要訳							
40 施設要訳							
41 施設要訳							
42 施設要訳							
43 施設要訳							
44 施設要訳							
45 施設要訳							
46 施設要訳							
47 施設要訳							
48 施設要訳							
49 施設要訳							
50 施設要訳							
51 施設要訳							
52 施設要訳							
53 施設要訳							
54 施設要訳							
55 施設要訳							
56 施設要訳							
57 施設要訳							
58 施設要訳							
59 施設要訳							
60 施設要訳							
61 施設要訳							
62 施設要訳							
63 施設要訳							
64 施設要訳							
65 施設要訳							
66 施設要訳							
67 施設要訳							
68 施設要訳							
69 施設要訳							
70 施設要訳							
71 施設要訳							
72 施設要訳							
73 施設要訳							
74 施設要訳							
75 施設要訳							
76 施設要訳							
77 施設要訳							
78 施設要訳							
79 施設要訳							
80 施設要訳							
81 施設要訳							
82 施設要訳							
83 施設要訳							
84 施設要訳							
85 施設要訳							
86 施設要訳							
87 施設要訳							
88 施設要訳							
89 施設要訳							
90 施設要訳							
91 施設要訳							
92 施設要訳							
93 施設要訳							
94 施設要訳							
95 施設要訳							
96 施設要訳							
97 施設要訳							
98 施設要訳							
99 施設要訳							
100 施設要訳							

11. 授業支援と授業以外の支援

その他の授業支援の具体的な内容		障害大区分	障害小区分	具体的な内容
障害	課程			
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

11. 授業支援と授業以外の支援

その他の授業以外の支援の具体的な内容		障害大区分	障害小区分	具体的な内容
障害	課程			
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

12. 発達障害が疑われる学生への支援

(1) 発達障害のある学生への支援に関する取組

発達障害のある学生への支援は、高等教育機関にとっても喫緊の課題の一つと問われています。課題を感じられている事項に1を記入してください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	学生の専攻上の困難が発達障害によるものかどうかの把握
<input type="checkbox"/>	教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	職員・教員の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	周囲の学生の発達障害のある学生への理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の自己理解
<input type="checkbox"/>	発達障害のある学生の保護者の理解
<input type="checkbox"/>	支援体制・世帯・関係者
<input type="checkbox"/>	個人情報の取扱い
<input type="checkbox"/>	その他

(2) 発達障害が疑われ、何らかの支援を行っている学生数

(1) 学部(通学課程) 学科(専攻)①人文学部～保健(医・歯学)

学部(専攻)別/ 障害種別	人文学部				社会科学部				工学部				保健(医・歯学)			
	S	A	D	D	S	A	D	D	S	A	D	D	S	A	D	D
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																

学部(専攻)別/ 障害種別	人文学部				社会科学部				工学部				保健(医・歯学)			
	S	A	D	D	S	A	D	D	S	A	D	D	S	A	D	D
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																
26																
27																
28																

※その他の授業表欄の具体的な内容

No.	項目	履修区分	履修した年度の履修状況の概要
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

※その他の授業表欄の具体的な内容

学号(専攻)別/ 障害種別	履修した年度の履修状況の概要	履修区分	履修した年度の履修状況の概要
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

※本学の授業以外の支援		実施した支援の具体的な内容	
No.	課程	障害区分	
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

13. 意見、要望

(1) 障害学生支援について、課題と感じられていること、お困りになっていることがありましたら、ご記入ください。

(2) 障害学生の進路、就労、キャリア教育等に関して、課題と感じられていることがありましたら、ご記入ください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について、ご意見、ご要望をご記入ください。

◆ご協力ありがとうございました◆

ご記入内容を再度ご確認ください。「調査の手引」をご参照の上、読み取りパスワードでロックしたファイルを JASSOまでメールにてご送付ください。

令和4年度(2022年度)

大学、短期大学及び高等専門学校における

障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書

令和5年8月

独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部 障害学生支援課

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

TEL 03-5520-6176 FAX 03-5520-6051

E-mail:shienka02@jasso.go.jp